日滿提携成る

運動見事奏功して 遂に意見一致

固く手を握り同一步調で 滿洲國參加へ邁進

【東京特電三日發】滿洲國の極東大會參加問題に關し滿洲國支持各團體と日本體協との間に連日折衝が續けられたが二日體協主事と久保田滿體主事とが膝を交へ好轉策を講じた結果午後五時半より丸ノ內中央亭で體協と滿洲國及び民間各團體代表者の懇談會を開催した、體協より平沼、高島、松澤、田畑、澤田、大島の諸氏滿洲國より久保田、茂木、岡部の諸氏文部省より岩原氏、アジア聯盟山口大尉、至誠會森中佐、愛國學生聯盟岩田會長、日本學聯山本會長出席先づ體協及び滿體より今日までの經過と立場を說明した後圓滿解決を決定すべく意見の交換を行つた結果目的は唯一つであるといふことが判然として來り當然日滿手を握つて支那の反省を促すべく總ゆる努力をすることゝなつたかくして滿體の久保田、茂木兩氏の岡部諸氏が上京以來二旬に亘る努力は報いられ滿洲國の意見が通り日本體協と完全に意見の一致を見るに至つたゝめ直に歸滿しこの旨を傳へることゝなつた、體協では同夜山本博士の同意を得たので近く支那、比島に同氏を特派すべく滿洲國でも久保田氏か茂木氏が同道し支那、比島の說服につとめることに決定した、二旬に亘りスポーツ界に漂つた暗雲も一掃され滿洲國參加問題も急テンポで進行することゝなつた

形勢逆轉するまで 滿洲側三代表の功勞

【東京特電三日發】極東大會問題が日、滿兩體協の完全なる一致をみるまでの間には、多くの重大な危機があつた、卽ち日本體協は二日までは日本のスポーツ界學生の全般に亘る滿洲國支持の熱烈な決意を悟らず依然として滿洲國參加問題を現地において解決せんとする方針をとり二十八日の理事會の如きは三十餘名のうち一名の反對者を除いてすべては現地解決を主張したのである、この情勢をみて滿洲國體協は最後の肚を決め日本體協及びこれを構成する運動團體に敢然挑戰するとともに日本のスポーツ界を縱斷して學生青年團を中心に新たに團體を結成するまでの準備が出來てゐた、この空氣を悟つた日本體協は二日夜にいたつて始めて二十八日の決議を覆へし完全に滿洲國の意見に聽從するにいたり日本スポーツ界の危機は救はれたのであつてこれまでの間において滿洲國體協代表の眞劍なる努力とゝもに革新聯盟の岡部氏が多年スポーツ界における潛勢力によつて側面から援助した功勞を見逃せない

滿洲國からも比支へ派遣

委員人選は歸滿してから 久保田滿體主事語る

【東京特電三日發】滿洲國體協久保田主事は語る

滿洲國の極東大會參加問題については之迄日本の體協との間に色々の誤解や行き違ひがあつたが各方面の熱烈な御援助に依つて我々の眞意も充分に了解されこゝに日滿兩國の體協が完全に意見一致し提携を固くして參加問題に努力することゝなつたのは喜ばしいことである、日本體協から特派される山本博士は勿論我々の心情が總て諒解されてゐる、又滿洲國からも一、二名同行することになつてゐるが何れ私が新京に歸つてから具體的に人選することになるであらう、支那フイリツピンが日滿兩國の主張を容れぬ場合はどうかなどゝいふことは今更云ふまでもないので日滿兩國は完全に肚が一致してゐるといふことで總てが判るであらう、之で我々の任務の第一段の使命が終つたから近く歸滿する、色々御援助を得たことを深く感謝します

革新聯盟の任務を果す 岡部平太氏談

【東京特電三日發】岡部平太氏談 日滿兩國の體協が完全に一致を見るに至つた事は兩國スポーツ界のため慶賀に堪へない、我々は最後の努力をなして徐ろに日本體協のなすところを見てゐたが、二十八日の理事會には一般の空氣を知らずに我々の希望に反する決議をなしたのでその通告を受けた上は蹶然起つて日本スポーツ界革新の運動に着手するつもりで聲明書まで作り一切の用意をしてゐたのだ、この間にあつて體協の郷主事がこの決議を二日間自分の手に握つて發表しなかつた事は日本體協のために誠に天祐であつて郷君の苦心を誠に尊しとせねばならぬ、革新聯盟としての任務は之で一先づ果されたから僕は明日出發歸連する

紛爭解決し 二週間內に出發

日滿兩體協が仲良く

【東京三日發國通】日滿兩國體協代表者並に日滿兩國側の第三者を交へた二日夜の懇談會は滿洲國側の正當なる主張と強固なる決意の結果午後十時に至り漸く日本體協側をして之迄強硬に主張し來つた態度を一變せしめ滿洲國側の主旨に從つて今後兩體協は行掛りを一掃して提攜し滿洲國參加を飽迄貫徹するために直に極力努力する事を決議した、その結果日本體協は山本博士其他を理事會報告後支那比島其他三ケ國に派遣する事になり滿洲國側も久保田氏其他を派遣するとの申合せをなし二週間以內に出發する事になつた、從つて三週間揉み拔いた參加問題は茂木、久保田、岡部三氏の決死的努力と滿洲國側委員の後援によつて一先づ平和裡に解決を見出すことを得、懸念された紛爭も起らなくて濟み郷主事の辭任問題も解消した、なほ同夜の會合においては兩體協の今後とるべき各種の具體的方策並に最後の決意をも決議するところあつたがこれ等は實行委員の今後の行動によつて漸次表面に現はれる筈である

極東大會對策 最後の肚は決つた

【東京特電三日發】極東大會問題は遂に別項の如く歸結した卽ち今年の大會前に日滿兩國が提攜して滿洲國參加に對する最後的努力をなすといふのであつて、若し兩國の主張が容れられぬ場合はどうするかといふことは豫め表示してゐないが、日本體協の最後の肚は滿洲國と完全に一致してゐるので事前に豫めそれを示す必要はないといふのであつて滿洲國側もその眞意が充分に理解されたことに滿足してゐる

岸田旅順市助役 米岡市長に辭表提出

旅順市助役岸田愛文氏は留任當時各方面からの切なる希望により承諾今日に至り或る時期において退職の意があつたが二日米岡市長まで辭表を提出するに至つた、右に關し某議員との間に面白からぬ事情が伏在しある如く噂さるゝもこの點は全く一部の臆測に過ぎず岸田氏の辭任に對しては米岡市長及び關係各方面も極力慰撫留任を懇願してゐる、右に關し岸田助役は語る

未だ自分の口から何とも言へぬ……併し自分は御承知の通り老齡でもあり最近非常に疲勞してゐるので將來の激務を完了することはどうかと懸念され長く現職に留ることは本意ではない

と明言を避けてゐたが暗にその心情を語つてゐた

勇士の慰靈祭

故陸軍航空兵特務曹長相馬善井氏以下四勇士の遺骨は四日午前七時大連臨着、同日午前十時出帆ばいかる丸にて凱旋するが、その慰靈祭は從來午前八時半開催の例を破り九時埠頭待合所にて開かれるので參列者は注意されたしと

林滿鐵總裁 四日海路上京

林滿鐵總裁は議會出席のため四日大連發のばいかる丸にて夫人同伴、西脇秘書役、島崎秘書役心得を隨へ上京する、滯京約一ケ月の豫定である

適材適所主義で 警察官大異動

早くも下馬評傳はる

滿洲における警察機構改革の結果關東廳の警察機構は近く小範圍に縮小されるものと見られてゐるがこれが豫備的人事異動及び新設警務部に配置される人員の補充等により大場警務局長就任初めての大異動が近く行はれるものと觀測されてゐる、卽ち機構改革に伴ふ必然的異動としては今回新設の警務部第三課には今井課長（關東廳事務官）の下に監察官警視一名、警部二名警部補一名が配置されるに決定してなり、監察官には現秘書山奧長泉警視の就任は動かぬところと見られ、警部二名は目下東京警官練習所に講習中の下田、大津、吉岡、坂本四警部補が任官のうへ拔擢されるものと觀測されてゐる、警部補一名は關東廳內勤者より任命するに決定しこれが人事配置に伴ふ人事異動は確定的なものであるが警察機構改革の第二期的なものとして近く滿鐵沿線以外、卽ち領事館警察に屬する熱河其他地方にして現在關東廳警務局が掌轄してゐる警察署は關東廳と分離して外務省に屬せしめる方針にありこれはこの結果豫想外廣範圍に亘る人事入替の異動が斷行される模樣である、更に滿洲國帝制實施によつて對外關係に一變化を來した今日從來の人事配置では事情の許されざる點からぬものあり、所謂適材適所主義によつて警視、警部級署長の大異動は免れぬものと觀測され、既に關東廳警務局では人事政策の御膳立に忙殺されてをりその時期は三月末頃と見られてゐる

カップを盜む

二日午前一時半頃市內惠比須町百五十二番先を徘徊中の滿人を小崗子署刑事が擧動不審で本署に連行取調べたところ右は原籍金州管內城內西街番地不詳住所不定無職梁德興（三）と云ひ去る八月十五日夜壹岐町福本稅關長方を襲ひ銀製カップ時價四十圓を手始めに市內各名家を荒してゐた旨自白したが餘罪多數の見込で嚴重取調べ中

七日の市會

第八一回大連市會は七日午後開會の筈、近藤前收入役退職死亡給與金支給の件その他が提案される

常安寺坐禪會

市內天神町常安寺では常例の坐禪會を來る四日午前六時半より開坐する

大典の式場爆破の陰謀を抱き潛入

奉天で檢擧の不逞團

【奉天特電三日發】旣報奉天驛において擧動不審の一支那人を憲兵隊員が逮捕し取調べの結果、右は吉林省扶餘縣生れ馬占山義勇軍第十師第百五團第三營方十二連長大尉崔雲章（三〇）で馬占山の密令を受け二月十二日暗殺團二班を組織し河南省の開封を出發、行商人に變裝しモーゼル拳銃を各自一挺所持して潛入したところを發見逮捕されたもので、彼等の目的とするところは日滿要人を暗殺、主要都市の主要建物を爆破し大典當日式場に爆彈を投ずる等の陰謀を授けられたもので第二暗殺團と別個に後方連絡に當るため第一班とともに新京に潛入、大典當日式場に爆彈を投じ混亂に陷らしめんとしたもので第二班は奉天の主要箇所の破壞、後方攪亂を行はんとして發見され遂に逮捕されたもので二班とも合計十一名である彼等のこの行動を未然に防いだ附屬地憲兵隊の手柄は稱揚されてゐる

天氣予報

四日 西の風（晴）時々曇

各地溫度（三日）

	午前五時	午前十一時
大連	零下四	零度
旅順	零下三	零下一
營口	零下七	零下一
奉天	零下一〇	零下四
新京	零下一五	零下七
新義州	零下一〇	零度

今日の小洋相場（十一時半） 金百圓につき百十七圓八十錢

田村辯護士に宛てた河村の轉向聲明書

前略 昭和九年二月二十六日限り私は日本共產黨を脫黨し一切の政治的行動を斷念した事を聲明します [illegible] 入獄以來 [illegible] 貴方に依賴人として [illegible] 非常識な行動を [illegible] 貴方に第一に御知らせする [illegible] 先日 [illegible] の請求書を [illegible]

可愛いお雛祭り けふ大連幼稚園で

國民的感激に更生し 共產黨の陣營を去る

遂に河村丙午も轉向

"日本人だ"この意識が凡てに打ち勝つた 田村辯護士と劇的會見

皇太子殿下御降誕、この全國民的歡喜と感激とは遂に獄中に呻吟する世にすれた共產黨員の魂にまで更生の光りを強く投げかけた——第二次滿洲共產黨の非轉向派獄中被告五名中、四名までは轉向を聲明し、或ひは轉向の意向を示してゐたが、たゞ河村丙午のみは第二次滿洲共產黨の牌を守る最後のものとして飽く迄轉向を肯ぜず、遂には一黨の爲に利害を離れて盡力してゐる田村辯護士まで忌避した程であつたが、この頑固な河村丙午も皇太子殿下御降誕遊ばされたことを傳へ聞いた日より、翻然と湧き起つて來た國民精神と今まで奉じた共產思想との板挾みとなつて眠るに眠られぬ幾十夜かを續けた結果、河村の心に起つた思想の嵐——傳統的な日本人の血潮は病的な共產主義を完全に打ち勝して去る二十六日共產陣營の最後を守つた河村丙午も遂に轉向を決意、こゝに第二次滿洲共產黨陣は全く潰滅することゝなつた

二十六日轉向を決意した河村丙午は、一度忌避した田村辯護士に會見したき旨を申し込んだので、田村辯護士は大內辯護士と共に二日午後關東廳刑務所に河村を訪問した所、河村は田村辯護士の顏を見るよりハラ〳〵と涙を流し、同辯護士の手を固く握つて唯一言

「先生御迷惑をかけて濟みません」

と云つただけで、後の言葉に窮してゐたが、田村、大內兩辯護士も河村がこゝ幾十日間の精神爭鬪を考へ、河村に答へる言葉もなかつたとのことで、河村はしばらくして次の如く轉向に到るまでの事情を物語つた

私は昭和九年二月二十六日限り日本共產黨を脫黨し、一切の政治的行動を斷念したことを聲明します、顧みれば昨年末までの私の行動は、私の思想は、全く暗中模索でした、共產黨に私が入黨したこと……これは決して止むに止まれぬ良心のためでは決してなかつたのでした、變質的な、病的な共產主義は丁度阿片のやうなものでした、少しも民族的なうるほひを持つてゐないことに今初めて氣がついたのです、皇太子殿下御降誕の御慶事を、獄中ながら洩れ承はつたときの私は、阿片中毒患者が反對藥液を注射されたときの氣持と同じでせう、私も日本人だとの意識が凡ての思想を屈伏させました、二十六日に私が轉向を決意した時、偶然父百平が訪れてくれましたが、私が、お父さん轉向しますと云ふと、父の兩眼からハラ〳〵と涙が落ちました、私も生れて初めて泣きました、私は現在私の魂の中に生れた新生命——國民的感情の下に今後の行動をとり、今迄の行動を否定する考へです、佐野鍋山諸氏の如く轉向しつゝも勞働運動に執着する意志は毛頭ありません

首領松崎も近く轉向を聲明

獄中に心境を語る

二日大內辯護士と共に獄中の河村を訪れ、河村の辯護を引き受けた田村辯護士は續いて第二次滿洲共產黨の首領松崎簡を同じく獄中に訪れ、河村の轉向を傳へたが、松崎は意外の面持ちで次の如く語つた

河村が轉向したとは意外です、と同時に、また轉向を聲明してゐない私がいふのは變ですが河村のために心より喜びます、現在の私の心境は、三つの考へを中心として、從來の日本共產黨の行動を否定したいと云ふにあります第一に日本共產黨は國際共產黨の雛形を脫しなければならぬ、第二に日本共產黨は君主政體を否定することは絕對に避け民族精神に歸るべきである第三に將來の社會主義運動は一國社會主義たるべきこと、この三つの考へは從來日本共產黨を否定し、同時に我々自身の第二次滿洲共產黨をも否定するものです、私の轉向——時機を得ることに努めてゐます

右の言葉によつても明白なる如く松崎は首領として黨員に先立つて轉向することに責任を感じ、未だ轉向を聲明せぬものであるが、來る十日の準備手續に於て獄中被告（河村も出廷する筈）と會見の上直に聲明するものと見られてゐる

ラグビー戰

昭和九年度ラグビー・シーズンは四日午後二時より大連運動場に於いて擧行する大連滿俱對大連商業戰を以て蓋を開けることゝなつたが、引き續き午後三時十分大連俱樂部對南滿電氣及び國際運輸對大連俱樂部の兩戰も同所に於いて擧行する

新講談

丹下左膳 (34)

林不忘作
小田富彌畫

文珠の智恵（五）

「いや、只今使をやりましたから、程なく參りませう」

忠相は、かう言つて、その下ぶくれの柔和な顔を綻ばせて、客を見た。

櫻田門外の、江戸南町奉行大岡越前守忠相のお役宅だ。

その奥座敷――。

前の庭は闇に閉ざされて、植込みの影が黒く默してゐる。

が、室内には……。

燭台の灯が明るくみなぎつて、磨きぬいた床柱と、刀架けの蠟鞘と、大岡樣の顔とを、てらてらと照らし出す。

「壺の騒ぎは、以前お話のありましたとほり、それとなく看視はしてなりますが――」

と言ひかけて、忠相はまた、相手へ眼をやつた。

客は。

七八つの子供のやうな、小さな身體に、六十あまりの分別くさい顔――それが、如何にもグロテスクな、大きく見える顔で、おまけに、これだけは一生の荷の瘤を、背中にしよつてゐるのは、言はずと知れた傴僂の愚樂老人である。

千代田の三助……垢すり旗本。

お風呂番といふ、將軍家直屬の隠密の總帥。

八代吉宗公の陰の最高顧問である。

白髪を、根の太い茶筌に結ひ、柿いろの十徳を着て、厚い褥のうへにチヨコナンとすわつたところは、さながら、猿芝居の御隠居のやうだ。

額部に幾本もの深い皺を刻み、白い長い眉毛の下から、ぢつと忠相を見つめて、

「上様にも、一方ならぬ御心痛でなう」

と言つた。

野太い、よく通る聲だ。ものを言ふ度びに、背中の瘤がヒクヒク動くのは、なにか奇體な動物が、着ものゝ下に潜りこんでゐるやうに見える。

「知つての通り、日光御修繕は、日一日と近づく。柳生は、そのこけ猿の壺とやらを手に入れぬ限り、ほかに金の出どころは絶對にないのぢやから、イヤモウ、一藩をあげて今は必死のありさまぢや」

「すると、上様は」と忠相は、ちよつと頭を下げて「柳生に御同情を垂れ給うて、柳生のために、それほど御心配になつてならるゝのて」

「うむ。それもある。劍をもつて立つ天下の名家を、斯樣なことで、むざむざと潰すにも當らぬからなう」

「御尤も」

「第一、柳生を苦しめるのは、上様の本意ではない。然るに、このまゝで捨て置いて、柳生がこけ猿を手に入れて財産を掘り出す前に、日光御造營の日を迎へることになれば、柳生藩一統は苦しさのあまり、何をしでかさうも知れぬ。そこは、劍術はお手の物の連中だ。例の伊賀の暴れン坊とやらをはじめ、手強いやつが揃つてをることだから……上様の御憂慮なさるのは、この點ぢや」

「成程。つまり、天下を騒がし度うない――」

「と言うて、こけ猿の秘める財寶のすべてが、柳生の手に還入るのも、これまた困りものぢやて。いくら日光でも、さうは貰らぬのぢやから、餘つた金が柳生の手にあつては、今度は又それが、何かと間違ひの因になりやすい――」

「さう度びたび金魚を捨てゝやることも、出來ますまいからな、はゝはゝゝ」

「さうぢや。きまつて柳生の金魚ばかり死なすわけにも――あつはつは」

愚樂老人が、全身を揺すぶつて笑つた時、庭の奥から闇黒の中を、こつちへ近づいてくる跫音が……。

キネマと演藝

常盤座でお雛祭

西村不二氏指導で連鎖街に新しく生れたサカエ少女會の第一回童踊發表會は三月四日の日曜午前九時半から常盤座でお雛祭として開催される、番組左の如くで入場料子供十錢附添の大人二十錢

（一）童謠舞踊「あがり目さがり目」（二）童謠舞踊「今晩は」（三）新舞踊「濱千鳥」（四）童謠舞踊「てるてる坊主」（五）小品「兎と龜」（六）舞踊「紅屋の娘」（七）童謠舞踊「兎のダンス」（八）舞踊「雨ふりお月さん」（九）童謠舞踊「足柄山」（十）新舞踊「荒城の月」（休憩）（十一）「ミッキーマウス怪物屋敷」線畫一卷（十二）「突貫ガラクタ列車」喜劇一卷（十三）「青い鳥」教育映畫四卷

うわさ話

東公木氏が昨年久し振りで京都の撮影所に歸つた時の土産話にカメラマンが多數失職して▲ひどいのになると魚の行商をして映畫人の家庭を訪問してゐると悲慘な生活難が傳へられてゐたが▲最近滿鐵弘報係が記錄映畫の大々的撮影のため日本カメラマン協會へ十名近くのカメラマン招聘を申込んだといふので▲果然就職戰線に福音來ると許り大騒ぎをしてゐるらしいが之は全くのデマで▲目下大典記錄映畫をサウンド版化するために上京中の芥川光藏氏が撮影班充實の意向の一端を洩らしたところから出たものらしい▲すべてこの調子で映畫界に關する滿洲景氣が放送されてゐるものと見られてゐる

直木氏を憶ふ（上）

小田富彌

直木三十五氏が危篤だといふので二十四日の午後病院へ駈つけるまで、私は、亡くなるやうな事はないと信じてゐた。しかし、一目病床の直木さんを見た時、あゝいけないなと何となしにハツと思つたが、たうとう、その夜亡くなられてしまつた。

直木さんは私にとつて生涯忘れる事の出來ぬ恩人だ、直木さんが大阪で「苦樂」の編輯をしてゐた時、寶塚の料亭から電話で呼ばれて行つて、初めてそこで私は直木さんに會つたのだつた。

「菓子を喰ひ給へ」とブッキラ棒に云つたきりで三十分程も默つてゐる。それから「岩田專太郎が病氣で描けなくなつたから、君サシヱを描いてくれ」といふ用件はもの、一分か二分で片づけたが、全く變な人だと思つた。その時から私はサシヱを描くことになり、ずつと今まで續けて來た譯である。

直木さんは世間に知られてゐる通り、變人で無口で、誰しも一寸つきあひ難い、對座して二三時間も默つてゐる事があるが、別に話がすんだのでもなく、それがさつてイヤなのでもない、默つて相對して味がある、こゝが面白いところだ。

口に出してはいはぬが、他人のためには隨分思ひやりがあり世話をした。賴みにならぬやうに見えて賴み甲斐のある人だつた、ズボラな樣に見えて決してさうではなかつた。

大阪時代には常に行つたり來たりしたもので、直木さんは金がなくても贅澤だつた。煙草はスリイキヤッスルを愛用してゐたが、よくよくの時は遊びに來ると默つてバットを抛り出す、ハハアと思つてゐ、煙草を買つて來て出すといふやうな事もあつた。

八年度土建工事 總額一億圓突破
中滿鐵關係は五割五分

滿洲土建協會調査＝昭和八年度に於ける滿洲の土木建築工事總金額は一億五十三萬二千圓にして前年度の二千八百八十六萬七千圓と比較すれば實に四倍に垂んとする激増振りを示してゐる、これは滿洲國經濟工作の躍進的發展を如實に物語るもので、殊に新京を中心としての建築工事の殷盛、拉濱線を筆頭としての鐵道建設工作、全滿に亘る國道局による道路工事の進展によるものである、今これ等工事の企業別を示せば(單位千圓)

滿鐵	五五、六〇九
關東廳	一、三三七
滿洲國	九、〇三五
民間其他	三四、五五〇
合計	一〇〇、五三二

であつて、滿鐵關係の工事が總額の過半數を占めてゐる、又これが地區別金額を示せば新京方面の一千六百二十萬圓を筆頭に奉天、大連夫々一千萬圓以上の金額に上つてゐる百萬圓以上の地區別、統計數を擧げれば左の如し(單位千圓)

大連方面	一三、二三九
奉天方面	一四、四一二
新京方面	一六、二〇九
鞍山方面	三、六二七
撫順方面	一、二九一
安東方面	一、四四七
哈爾濱方面	三、六六五
齊々哈爾	二、四七六
北黒線	二、五八八
圖寧線	五、〇二〇
拉濱線	八、九一一
熱河線	七、九二一
京圖線	三、五五三
天圖線	二、八四八
安奉線	二、〇六七
瀋海線	一、〇四六
四洮々昂線	一、六九〇
濱北線	一、八八七
齊北線	一、七二三
南滿本線	一、二一九

次に八年度における主要建築工事を見るに化學工業會社の三十一萬圓、中央銀行奉天分行新築費の三十五萬圓、國都建設局の第一廳舍新築費の三十萬圓、昭和製鋼所分塊工場四十一萬圓等にして土木においては拉濱線の松花江橋梁その他國道局の道路工事が主なるものである

農相讓歩せず
外地米統制案重大化
鐵相の仲裁も甲斐なし

【東京三日發國通】外地米統制案を繞り、農、拓兩省の調停に乘出した三土鐵相の意見は全く拓務側の意向を支持し農林省案は孤立の立場であり、然も農相は徹底的案は寧ろ實施の必要なしと極論し三土鐵相の態度に不滿を有しなり容易に讓歩するものと見えず、後藤農相が飽迄自說を讓らぬ限りは恐らく決裂免れぬ情勢であり問題は重大化する模樣である

更に藏相が調停に乘出す

【東京三日發國通】外地米統制問題に關する農林拓務兩省間の對立關係は依然解けず目下大藏省が中間に立つて兩者事務當局と折衝を續けてゐるが、容易に妥協を見出し得ず一方衆議院では該問題の解決を見ない限り、追加豫算の審議は不可能なりとし、その解決を督促してゐる實情に鑑み、政府においてもこれ以上徒らに事務的折衝に日を送る譯には行かないため高橋藏相が調停に乘出し高橋藏相、後藤農相、永井拓相の三相間で政事的解決を圖ることになる模樣である

天津棉花輸出 甚しく不振

【天津三日發國通】二月中の天津棉花輸出總數は一萬千六十俵に過ぎず、一年中の集散期とはいへ昨年の一萬八千俵に比して甚だしい不振である、これが理由は米國の弗價切下による米棉の纖騰に伴つて當地棉花も昂騰し神戸沖値五十六圓となつた上にストックが二千俵に及んだため一向に買氣なく、加へるに印棉數回輸入あり、この間外商筋の四十四ドル又は三ドル七十セントで買付けるあり、相…

主席代表から 明確な態度決定を要求
代表引揚げは不可避

【大阪三日發國通】前後三回に亘つて行はれた日英綿業會商は遂に決裂の危機に直面するの外なき憂慮すべき情勢にあるが、一日岡田主席代表からこの儘推移せば結局決裂のみ紡績聯合會の明確なる態度決定の上訓電ありたしとの入電あり、愈々事態は重大決意を要するに至つたので紡績聯合會、輸出綿糸布同業會の外に、日本綿工業組合聯合會、日本人絹織物輸出組合聯合會、人絹織物通商對策委員會も參加し、三日午後二時大阪綿業會館に日英會商合同協議會を開催、重大協議をなすこととなつたが、現在の情勢を以てしては代表引揚げ決行は不可避となつた

東京高につれ 地場株暴騰

三日前場内地株市場における主力株は新東、日産を首め諸株共不引立の商狀を示したが、東京定期の五品先物二十八圓三十錢と昂騰を入れ、當市もこれに刺戟されて延の五品は六七十錢高、新豆は一圓三十錢高

錢鈔一圓三十錢高、現物の商取信二圓高と暴騰滿鐵二新は撲込決定の好感から十八圓二三十錢と新高値に躍進し其他滿洲關係株はいづれも強調を辿つた

ラサ島燐鑛 減資に決定

【大阪特電三日發】ラサ島燐鑛株式會社では來る三月二十四日の臨時株主總會に於て資本金七百五十萬圓を二百八十五萬圓に減資同時に社名をラサ鑛業株式會社と改稱

二月中不渡手形

二月中の不渡手形は枚數四枚、金額四百六十一圓四十二錢で前月の枚數五枚、金額一千九十八圓、前年二月の枚數六枚、金額三千七百

近海は軟調 遠洋不振に推移
◇……二月中海運狀況

大連港を中心とする二月中の海運市況を概觀すると先づ近海方面では月初は舊正を間近に控へ、一般の荷動きは捗々しくなく若松、横濱間の石炭運賃は一圓六十錢見當であつたが中旬には一圓八十錢となり、下旬には二圓と硬化するに至つた、カムチヤツカ行小型船の引合がぼつ〳〵開始せられ、北洋材も最近百三十五圓で大口の商談成立し、近海運賃は概れ先高見越してである、大連積特産運賃は月初 阪神行豆粕八錢、袋物十錢、伊勢灣、横濱行豆粕九錢袋物十一錢、九州行豆粕十錢、袋物十二錢、臺灣行豆粕十二錢、袋物十三錢見當であつたが下旬に至つて阪神、伊勢灣、横濱行は豆粕袋物共二錢方の昂騰、九州行は一錢方硬化し、臺灣行は保合狀態である、銑鐵運賃も下旬に至り阪神行一圓六十錢、伊勢灣、横濱行一圓八十錢となり、上旬に比し十錢乃至二十錢方上昇した、内地行豆粕は目先出廻期に當るを以て運賃も強調を辿るものと豫想されてゐる、次に遠洋方面にありては、歐州向大豆は引續き極度の不振を示し、大口引合全くなく、運賃も二十シル前後を低迷してゐる、既に二ケ月餘に亘る不振狀態を呈してゐるのは過去數ケ月間連續せる大…

朝鮮總督府 米穀部新設

【京城特電三日發】朝鮮總督府に米穀部を新設する件は稍確實となつたが、これに伴ふ官制は先年土地改良部並に山林部を臨時設置した例もあるので、今回も勅令を以て臨時米穀部設置に關する官制が公布される筈で公布期は三月末頃と見られてゐる

政府手持產金 現在三千五百貫

【東京特電三日發】昨年末における政府手持產金は三千四百九十八貫にして四月一日豫定の產金國內保有案の實施と共に政府は日銀をして買上げせしむる方針であるが現行の產金買上値段は同法の實施まで据置く模樣である

二月中の手形交換高

大連手形交換所における二月中の手形交換高は金勘定において枚數二萬八千六百二十三枚、金額九千九百九十萬六千四百四十四圓で、銀勘定では枚數八千二百五十六枚、金額四千六百八十一萬三千五百五十四圓であるが之を前月中の交換高に比較すると

	枚數	金額
金	一、八〇〇減	三〇、四五五、〇一四減
銀	一、三三三減	一三、八六五、〇五二減

右金銀兩手形とも減少は二月は舊正等ありて例年商取引不活潑である季節的現象であるが更にこれを昨年同月に比較すると

	枚數	金額
金	四、一六九増	一四、九五五、四〇六減
銀	一四六増	二六、三二一、四七減

右の通り枚數において增加せるも金額は金銀兩手形共減少をみせたのは本年は昨年に比し錢鈔市場及特產市場不活潑のため大口銀手形の流通が減少したゝめとみられてゐる

瓜哇

は二月二十五日以降大豆の輸入を禁止したが、同方面へは年額五萬噸見當の輸出をみてゐることとて相當の打撃は免れまい、歐洲行散油も引合活潑でなく二月積三千噸以下と推算され、蕎麥、小麻子、落花生等は小口ながら相當の取引をみてゐる、米國方面は小麻子稍好調を呈し、粉粕、落花生も引續き輸出をみてゐる

新京製粉界 依然不味商狀

【新京特電三日發】沈滯せる新京の製粉界は依然購買力撥はないため操業開始の見込なく、日本産及び濠洲產粉の侵入に委せてゐるが新京驛における最近の輸入數量は昨年に比し左の通り減少を示してゐる

	前年一月	本年一月	比較
	三〇、四九二瓩	二三、四六二瓩	一、八六九瓩

尚ほ相場は十二月上旬騰貴した後反落したが、一月中の平均は左の通りである

一等粉(寶船)	三圓三十五錢
二等粉(辨天)	三圓二十錢
三等粉(綠鈴)	二圓八十錢

八年度大連港 着埠船舶
前年度より五八〇隻增

滿鐵々道部庶務課統計係調査、昭和八年度中に於ける大連港着埠船舶總數は五千十七隻にして總噸數は千四百五十六萬五千六百四十八噸、前年度に比較すれば五百八十三隻、二百七萬三百二十二噸の增加を示してゐる、なほこれが國籍別を見れば日本船が壓倒的多數を占め、滿洲及び中國船、英國船がこれに次いでゐる左の如し

國籍別	隻數	噸數(單位百噸)
日本	三、四一九	九八、九〇五
滿洲及中國	九五〇	一一、七九八
英國	三四三	一五、八五〇
獨逸	九七	六、九七一
米國	五四	三、三八六
和蘭	四七	三、二六三
諾威	四一	一、九四四
其他	六六	三、五三二
合計	五、〇一七	一四五、六五六

國際運輸會社 重役改選で臨時總會
伊藤氏辭任、小川海運課長昇格

國際運輸會社では三日午前十時より臨時株主總會を開催、社業の擴大に伴ふ監査役一名增員、取締役伊藤太郎氏辭任による補缺選挙、取締役岡崎虎雄氏の任期滿了による改選を行つた、その結果監査役には滿鐵鐵道部營業課長山口十助氏が就任し、伊藤取締役の後任には海運課長小川亮一氏が昇任し岡崎氏は重任に決定した、尚役員の報酬及退任役員に對する慰勞金贈呈の件は專務に一任することになつた、しかして海運課長は從前通り小川氏が兼務する

重役に昇格した海運課長小川亮一氏は大正三年の東京高等商船出身で本年四十五歲、初め日本郵船に入り次いで大正七年から同十四年まで山下汽船に勤務、同十五年聘望されて國際運輸の神戸出張所長となり、昨年十二月本社の海運課長となつたものである、國際の海運關係の業務は概ね氏のプランになつたもの多く殊に今回の北鮮に於ける陸海運送の統制についても氏の獻策に負ふ所が多い【寫眞は小川新取締役】

黃塵

◇…〃米國の銀吊上げ策は支那政府に通貨政策の變通性を附與して、延いて在支外商は大に迷惑する、支那に及ぼす影響を考慮して銀法案を作る場合は世界銀價への影響を及ぼさぬ樣やつて貰ひたい〃。

◇…これは上海の外商等が近ごろ…

支那・銀保有に懸命
米國への流出阻止から

最近國民政府が銀の輸出を禁止するとか、せぬとか乃至昨年ロンドンで調印された國際銀協定に對する國民政府の批准が迫つてゐるとか、ゐぬとか色々の報道が入つて來る、孰れにしても支那の銀政策上に一轉機が迫りつゝある事を語りつゝある

◇……◇

その原因はアメリカの通貨政策である、アメリカはドルの平價を改定すると共に金の價格を吊り上げた、その結果金は滔々としてアメリカに流入しつゝある、これと同樣、アメリカの銀價が昂騰すれば銀も金と同樣アメリカへ流れ込む而もアメリカでは銀價吊上げ政策採用の氣配が濃厚である、議會における銀復位論者の主張は暫く措くとしても、ルーズヴエルト政府が昨年十二月下旬に出した銀貨鑄造令の結果は、本年一月一日から造幣局に提出される新産銀に對し一オンス六十四セント半で買上げると同樣の效果を擧げてゐる、更にニューヨークの銀塊手持筋の調査も行はれて政府の政策も銀價吊上げに一歩づゝ近づいてゐるかのやうである、これがもつと確實となつて銀が支那からアメリカへ續々流出するとなつては支那にとつては大打撃である、又アメリカの銀論者は銀の價格を上げて支那民衆の購買力を增進せしむることは自國貿易に好影響を齎すものだと信じてゐるが、それも程度の問題で、急激な銀價の昂騰は支那の物價下落を齎來してその財界に及ぼす打撃は大きい

◇……◇

此の狀勢に處するため銀輸出禁止の噂が立つのである、一說では輸出禁止を行ふ前に暫定的措置として現行二分二厘五毛の輸出稅をその倍額まで引上げるだらうといふ說もある、一方昨年の國際銀協定は本年四月一日以前に批准が行はれる事を條件として全部調印國の批准期を控へて支那もその對策を立てねばならぬが支那にとつてはアメリカの形勢がもつとハッキリするのを見た上でなければ漫然と批准をする譯には行かない、批准の準備は出來てゐるが銀行方面の希望もあつて政府はその批准を手控へてゐる

◇……◇

こゝで試みに昨年中に於ける支那の銀塊銀貨輸出入額を見ると、輸入約八千萬元に對して輸出約九千四百萬元、しかもその內七千餘萬元がアメリカへ行つてゐる、輸入額は一昨年の九千七百萬元に比し一割八分の減少なるに對して輸出額は一昨年の五千八百萬元に比し六割二分の激增である、本年になつてからの形勢は詳細不明であるが上海からだけの輸出額を見ても二月二十二日までの統計を昨年同期に比較すると銀元の輸出は減つたが銀塊兩銀の輸出は非常に增加してゐる、左の如し

	本年	昨年同期
銀塊(本)	六二七	二七二
兩銀(千兩)	四、七〇〇	—
銀元(千元)	一七三	三、〇七〇

なほ最近二ケ年の銀塊、銀貨輸出入額を左に掲げる

支那の銀塊銀貨輸出入額

上海總稅務司署發表(單位千元)

	輸入 一九三二年	輸入 一九三三年	輸出 一九三二年	輸出 一九三三年
英領インド	二六二	五九一	八、八七三	九
カナダ	—	一、三四三	—	—
セイロン	一七三	—	—	—
佛領印度支那	二八〇	一、二四六	一	一九六
イギリス	三、九三三	六、八九八	三一四	二一五
香港	五五、八二七	三七、九四二	一二、二三五	一八、二四二
日本	二八三	八一	五四	一一四
メキシコ	—	—	—	—
蘭領インド	二	三	一一五	四六
フイリッピン	—	—	—	一四
海峽植民地	九一	七三	三一八	一、六六三
アメリカ	三〇、五四九	二九、三七三	九六九	七〇、九五九
關東州	—	一、三八二	—	二、七九九
その他	五、一三九	一、一〇三	三四、七六七	三二
計	九六、五三九	八〇、一三五	五七、六四六	九四、二八九

市場電報(三日)

銀塊及爲替

神戸日米

棉花

大阪株式

東京株式

大阪期米

神戸期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

橫濱生糸

印度麻袋

市況(三日)

特產

邦商の買に 豆粕強調

豆

株

銀

錢鈔

材料變らず 鈔票保合

株式

內地保合乍ら 當市昂騰

滿鐵株(弱保合)

商品

麻袋氣乘薄 綿糸昂騰

上海爲替情報

手形交換高(三日)

上海標金

爲替相場

鮮銀

奧地相場

錢鈔

各地特產發送高

大連埠頭到着高

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價 一部 金五錢 一ケ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社 滿洲日報社 振替口座大連六〇番

鳩山三土兩氏等には綱紀紊亂の事實無し
岡本査問委員會の結果

【東京三日發國通】本日の岡本査問會は岡本氏の發言に關する査問報告を決定し査問會の結末を定めるべき最後の日であるが、委員會設置以來政民國各派の態度は複雑な利害關係によつて漸次離反對立を示し、各派交渉會の決裂、昨日の流會さへ經て來ただけに、その成行は頗る懸念され、果して議院の威信保持の目的を達するや、將又議會の轉落、政黨の沒落、更に又鳩山、三土兩相其他關係者に對する綱紀紊亂の烙印を捺すか、岡本一巳氏を處罰するか、總ては數によつてその黑白を決せねばならぬ事態に迄切迫してゐる、各黨とも今朝來幹部會又は總務會を開き各々獨自の態度を以てこの査問會及びその報告を受ける本會議に臨む作戰を立てゐるので開會前から近來稀にみる緊張を示した、斯くて一時三十八分開會

島田委員長 委員會に附託された調査事項は前回で質問終了したので今日は結果を決定する、岡本君の八日及び十五日の發言にして調査すべきことは
一、臺灣銀行の持株處分に關する件
二、鳩山、三土兩相がこれを斡旋した點
三、某大臣が百三十名に金錢を贈與した點
四、樺工事件に關し鳩山氏の金錢授受に關する件
の四點であるから此等の點を本會議に報告すべき範圍と思ふと諮り

牧野賤男氏(政友) 只今委員長のお諮りの點につき動議を提出すと前提し
一、臺銀所有株處分に關し林、米田兩氏が關與せる事實の根據無し
二、前項の處分に關し、鳩山、三土兩氏が斡旋したる事實の根據無し
三、某大臣が百三十名に金錢を贈與したる事實の根據無し
四、樺工事件に關し藤田、鳩山間の金錢授受に關し、鳩山、岡本兩氏が證據湮滅を圖つた事實無し

一松定吉氏(民政) も動機として政友側の本問題に對する態度を述べるとつゞいて
一、林、米田兩秘書官及び鳩山、三土兩相が臺銀株處分に關し斡旋したとの點については審議を盡さゞりしため事實の眞相調査し難し
二、某大臣が百三十名に金錢を贈與したる事實なし
三、鳩山文相と藤田某との間に金錢授受に關し鳩山、岡本兩氏が證據湮滅を圖りたるとの疑ひ充分有りと認む
と民政側の態度を述べ最後に

野田文一郎氏(國同) 八日十五日の岡本君の演説中に出た事實は本委員會の調査の結果、その事實あつたものと認む、依つて岡本君の發言は議員の職責上當然のことゝ認む
と動議を提出し、島田委員長之を一括採決する旨述べ採決の結果、一松、野田兩氏の提出動議は少數で否決、牧野氏の動議は多數で可決、よつて

委員長 本委員會は牧野氏の動議を以つて本委員會の報告とし直に之を本會議に報告する旨を宣し午後一時五十分さしも天下を衝動させた委員會も政友會の意向通り岡本氏の發言したる如き事實無しと決定して散會した

水掛論で賑はつた後委員會の報告を可決
岡本氏は懲罰【衆議院本會議】

【東京三日發國通】岡本一巳問題を解決せんとする本日の衆議院本會議は各黨利害關係對立のため議場の空氣にも之が反映し緊張裡に午後一時二十三分開會、劈頭議長より滿洲國國務總理よりの謝電を披露し、日程に入る
一、石油法案政府提出を上程松本商相提案理由を説明、十八名の委員附託
一、旭川市舊土人保護地處分法案森田委員長より委員會の結果を報告し可決確定
一、臺灣事業公債法中改正法律案
一、臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出)二案を一括上程、喜多委員長報告通り可決
一、滿洲事件に關する一時賜金として交附する公債發行に關する法律案
一、昭和九年法規第一號中改正法律案外二案(政府提出)を一括上程、小笠原理事より委員會の經過結果を報告、次いで討論に入り

野中徹也氏(國) 公債發行に關する法律案には反對である(と冒頭し)公債增發反對を述べ立てる、次いで民政の中亥歳男氏は赤字公債減少を希望して本案に贊成、採決の結果原案通り可決確定、次いで鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)を上程、原委員長委員會の結果を報告討論後可決確定、此時青木進行係から日程變更の緊急動議出で成立、問題の岡本一巳氏發言に對する事實調査の件を議とし議場殆ど空席なく緊張

島田委員長(登壇) 調査委員會の經過並に結果報告のため委員會はその權限内で
一、臺銀持株處分に關する不正の事實
二、某大臣が百三十名に金をバラ撒いた事實
三、樺工の藤田氏と鳩山文相の間に金錢授受の有無
を調査したとて政友は三點共事實なしと斷じ、民政は樺工事件のみは事實を認め國同は三點共事實なりとの斷案を採決の結果政友案が通過した旨報告、最後に
斯くの如き不祥事實を議場で審議せねばならぬは非常に遺憾である、委員長として委員會の採決が可決され疑雲の一時も早く一掃されんことを望む
と結べば、これに對し質疑ありて

杉山元治郎氏(第一) 我等の聞く處ではなほ多くの疑問發され政友會の結論が通過しても輿論は政友會と財閥の結託を信ずると思ふ

委員長 杉山君のは御意見だから答辯の限りでない

秋田議長 民政國同から委員長報告案に對する修正動議が提出された
と報告し討論に入り

谷原公氏(民)
第一、臺灣銀行持株處分の件は政府提出材料では岡本君の言を覆へす證據なく、當事者の辯明新聞雜誌に現はれた記録にも疑問の點多く、臺灣銀行の大藏省への報告書及び大藏省の監督書類を提出しなかつた、斯くて審査不充分で最後の結論を得なかつた
第二、某大臣が百三十名に金を分けた件は肯定出來ぬ
第三、藤田氏の檢事記録と岡本君の言とを對照しその眞僞を推定の必要あり、藤田氏と鳩山文相は懇意の間柄でありながら二、三萬圓渡したに過ぎず、關係のない岡本君に五萬圓渡すことは考へられぬ、殊に岡本君が五萬圓貰つた時期は鳩山文相が幹長で瀆職罪を構成する時だから岡本君の言は信ずべき點がある、又鳩山文相の答辯は少しもはつきりしない、査問委員會は政治的裁量で判決すべきもので修正案を至當とす
と述べれば議場水を打つたやうに傾聽す、代つて

濱田國松氏(政友) 臺灣銀行問題は岡本君の危險なる粉飾に過ぎず、江藤君の言は無責任な放言だ
と斷言し
鳩山文相の百三十名に金を與へた件及び樺工問題に關する證據湮滅問題についても岡本君の出鱈目だ
と鳩山文相、岡本君關係を持出して論難し、島田委員長の報告に贊成し、政友會の拍手を浴びて降壇
代つて

野田文一郎氏(國同) 濱田君とは根本的にその趣旨を異にする
と前提し
臺銀が帝人、神鋼株の如き有力な株を處分するに際しては島田頭取が獨斷でするとは考へられぬ、その背後に有力な人物があつたであらうといふ事は無理からぬ疑ひである、その他の事を綜合して見るとき、岡本君の言は荒唐無稽と斷する譯には行かぬ
更に樺工問題に移り
鳩山文相が證據湮滅を圖つた疑ひは充分にある、若しこれが事實無根なら鳩山文相は堂々これを否定すべきである、茲に政友會が多數を以て委員長報告を可決しても、政友會は自らを滿足せしむのみで天下を欺く事は出來ない
さて旺んに政友會に毒つけば、國同から拍手聲援あり政友から彌次亂れ飛ぶ、斯くて野田氏降壇すれば、青木雷三郎氏(政友)より討論終結の動議あり、大多數を以て可決採決に入る事とし

秋田議長 野田君提出の修正案に贊否を起立に問ひます
と述べたが、少數で否決、次ぎに細毋木君提出の修正動議成立しこの修正案と委員長報告との共通點を起立に問ひ大多數で可決、次ぎに共通せぬ點につき贊否を議場に問ひたるも少數で否決、斯くて修正案は何れも結局否決された、更に清瀨氏より無記名投票の動議あつたが少數で否決され、記名投票の動議成立してごう/\めぐりを行つた結果
投票總數三百廿六
贊成二百六
反對百廿
秋田議長より委員長報告通り可決の旨宣告す、この時砂田重政、工藤鐵男兩氏より岡本君の問題となつた發言取消し緊急動議あり、瀨一郎氏これに反對したが政友案多數で可決

岡本氏 濱田君は私の言が風説によるといふが、濱田君自身も風説により私を詰つてゐる、私は百三十名に金をくばつた事實だけは議員の權威のため取消すが、其他は斷じて承服しない
と斷言すれば民政拍手を送る

秋田議長 議長は遺憾ながら議院法第九十五條により岡本君を懲罰に附す
と宣言し、鳩山文相を葬り去つた綱紀問題の幕は閉ぢられ殘餘の日程を延期して同七時五分散會した

明鏡止水の心境で謹んで骸骨を乞ふ
鳩山前文相の聲明書

【東京三日發國通】鳩山前文相は三日夕刻大要左の如き聲明書を發表した

今般私の事に關して論議を生じ世上を騒がしたことは遺憾である、問題となつてゐる事柄は全部無根である事を茲に明言する、當初私は讒誣中傷による言議が一世の問題となりこれによつて進退を決する事は却つて世道人心を荼毒すること甚だしいと感じた、隨つて私は省みて疚しからざる今回の問題に超然たることが社會に對する務めと信じた、言ふ迄もなく神聖なる教育界は常に皓々たる明鏡でなくてはならず、誰が曇らしたかは必ず時が解決する、然し私は假りにも曇つた事實を一日も早く取除く責任を痛感する、故に私は潔く身を引き人心を新たにする事が同胞相愛の途と思ふに至つた、茲に私は明鏡止水の心境を以て謹みて骸骨を乞うた次第である、顧みれば曩に大命を拜してより在職二年有餘、私の方針に翼贊された各方面に多大の敬意を表する、願くは健全なる指導精神が教育界全般に横溢せん事を念願す(寫眞は鳩山氏)

議會風景

◇…【東京特電三日發】久しく議會を騒がせた査問委員會大團圓の日だが肝心の文相が投げ出したので各派とも稍氣乘薄ではあるが問題の締くゝりをつける形式で各派各樣の意見を提出し、結局多數で政友會案が委員長報告案となる
◇…本會議では各派入念に水掛論を闘はし、議場は近來の賑はしさを見せた、殊に議事が夜に入つたこともこの議會初めてゞあつて政策問題には不熱心な議員もこのやうな問題には案外熱心であることを示す
◇…この採決が極めてやゝこしく議員も何が何やら分らぬものが少くなかつたが、最後に委員長報告案に對する採決を無記名投票で行ひ政友會の仲間割れを期待した民、國兩派の動議は破れて、記名投票となりこれもこの議會最初の堂々廻りをなした結果を見れば政友會の中に故意の缺席が多かつたことが現れてゐる

文相辭任理由
世間を騒がせ申譯なし

【東京三日發國通】本日午前九時四十五分首相を訪問した鳩山文相は
査問委員會の結果、午後には私の受けた疑惑も一掃されたが、ついては文教の府にある身として世間を騒がせた點は申譯ないから辭表の執奏を願ひたい
と述べ、首相は文教の府に主たるものゝ責任者としての趣旨は諒とするから、今日中にその手續きをとる旨諒解を與へ、午前十時五分會見を終つたが、鳩山文相の辭表は正午から院内に開かれる閣議に正式に提出されることになり、査問委員會の決定次第直に首相は宮中に參内して辭表の執奏を請ふべく、鳩山文相は同時に辭任に伴ひ聲明書を發表することゝなつた、後任は豫定の如く首相兼攝として御裁可を仰いだ上、午後宮中において親任式が行はせられた

文部大臣親任式

【東京三日發國通】齋藤首相は三日午後三時半宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ、鳩山文相の辭表を闕下に捧呈し、後任は齋藤首相の兼攝とせられたき旨を内奏御裁可を仰ぎ一旦御前を退下した、斯くて午後四時、天皇陛下には鳳凰の間に出御、小山法相侍立の上文部大臣親任式を行はせられ、齋藤首相に文部大臣兼任の勅語を賜ひ、小山法相より既報の如き官記を授けて式を了へた

滿洲問題に關し何等か意思表示
貴族院各派の意見

【東京三日發國通】貴族院では滿洲問題を重視し、各派においては政府の滿洲問題に關する處置に不滿の意向多く、近く二月初旬會合せる研究會の山川、同和會倉知、石塚、交友竹越、同成會宮原、加藤氏らは各派の有能議員有志と共に對滿問題懇談會を開き、貴族院の綜合的意見を取纏める事になつたが、貴族院としては何等かの意思表示をなすべしとの議有力に擡頭してるので注目に値する

衆院豫算總會

【東京三日發國通】衆議院豫算總會は十時三十五分開會、米穀對策、土木事業、產馬問題につき大石倫治氏(政友)後藤農相相手に一問一答後青山憲三氏(政友)は漁村對策に關し農相に迫り午後零時十四分休憩、午後一時廿五分再開由谷義治氏(國同)は初問題で青木精一氏(政友)は蠶糸對策農村教育で最後に佐藤與一氏(民政)も農村教育問題で後藤農相とそれ/\一問一答を重ね二時三十分散會した

關税諸問題獨裁權
ル大統領が議會に要求

【ワシントン二日發國通】ル大統領は二日米國議會に對し關税率引下並びに互惠關税交渉に關する獨裁權附與を要求した特別教書を送つた、特別教書の要旨左の通りである

余は議會に對し余が諸外國と通商協定を締結しこれを愼重に定められた期限内において實行し現行關税並びに輸入制限を緩和する權限を附與すべきことを要求する、斯くの如き方法は米國の農工業に利益を與ふべきものと思惟する、今日國際貿易は一九二九年に比しその量において約七割の減少を示し、之に對し諸外國は相互に互惠通商協定を締結することによつて國際貿易における自國の分前を獲得しつゝあり、而もその數は漸次增加しつゝある、從つて若し米國の農工業上の利益が國際貿易において相當の地位を保持すべきものとすれば、米國政府は宜しく愼重に考慮されたる計畫に基き迅速にして且つ決定的な交渉を開始してその地位を獲得すると共に適當な機會を捉へて國產品の補足となる外國生產品に米國市場を提供し得るやうにしなければならぬ

獨裁權政府案
下院に提出さる

【ワシントン二日發國通】關税引下並びに諸外國との互惠通商條約締結權要求に關するル大統領の教書に引つゞいて右に關する政府案が下院に提出された、その内容は未だ公表されるに至らないがその内容は左の如きものと確聞する
一、大統領に對し諸外國と互惠關税協定締結の權限を附與する
一、右協定締結の期間は三ケ年以内とす、但しその後期限を定めずに之を延長するを得るものとす
一、一九三〇年の關税規定は之を廢止す
而して右法案は五月中旬頃までに兩院通過の見込みである

海軍比率の質問應答
貴院豫算分科會

【東京三日發國通】三日の貴族院豫算第四分科會は海軍比率問題につき左の如き質問應答があつた

阪本俊篤男(公正) 海軍大臣は「我海軍は從來の比率には甘んぜぬ」といひ、米國は「從來の比率を固執する」といはれるがその點を如何にせられるか
大角海相 國防の安全感といふ事を基礎として具體案を作つてゐる
阪本男 餘り數字に入れずに、何か譬へば國防權の平等といふが如きを指導原理として進む考へはないか
海相 それも考慮に入れてゐる
一條實孝公 國防のため必要な金を取るのもよいが、尨大な豫算を取つたからといつて濫費されては困る
海相 出來るだけ冗費を省くやう努力する

政策審議
五日から

【東京三日發國通】岡本一巳氏によつて投ぜられた一石は異常な波瀾を呼んで綱紀問題は今議會の重大問題となり多くの日數をこれに費したが、本日査問委員會の決定並びに同委員會報告が本會議で可決された結果、綱紀問題はこれで一段落し岡本、江藤兩代議士の懲罰問題のみを殘し、五日より愈々政策問題を中心とする審議が進められることゝなつた

西尾新參謀長
來十二日東京發赴任

【東京三日發國通】新關東軍參謀長に決定した西尾中將は來る十二日東京發赴任、新京において小磯中將と事務引繼をなす筈

欣喜雀躍の五族
滿洲旗人=滿族=漢族=原住各民族=白系露人

待望久しかりし滿洲帝國は遂に成立した、廣袤七萬七千方里の大滿洲國内に住む五族の歡喜今や頂天に達し北はアムール河の畔から南は萬里の長城の邊に到るまで山川草木、鯨波のうねりを作つて帝政の彌榮を絶叫してゐる、この榮ある協和のコーラスを聞くまでの五族の歴史的過程を展望して見よう

(1)滿洲旗人

全滿及び北支を通じ數十萬に及ぶ滿洲旗人は帝政成立を恰も桃源の夢園を現實に把握したかの喜びをもつて迎へてゐる、先に新皇帝が滿洲國執政に就任されてからも彼等は昔乍らの「皇上」の敬稱を用ひ崇敬の念を忘れなかつた、假令四百餘州に非ずとも清朝發祥の由緒ある滿洲の地に舊宣統帝が帝位に即位されたことは彼等にとつて無上の喜びでなくて何であらう、華やかなりし清朝が邪雲に閉されて以來これ等旗人も悉く顚落の憂目を見、加ふるに國民政府の重壓は彼等の生活まで剝奪し支那が民國である限り前途暗澹たるものであつたが滿洲國の國礎成るに及んで始めて蘇生の思ひをなしこの度帝政運動起るや眞ツ先に馳せ參じたものである

(2)滿漢民族

歴史的關係からいへば滿漢民族は曾ては征服民族と被征服民族の關係であつたが、清朝二百七十年の歴史は兩民族の融和混合を遂げしめ同化を防がんとした時の爲政者の努力を無爲に終らしめた、今日の兩民族の間に何等の差異を認めず新皇帝は滿洲國地域内における凡ゆる民族に君臨する皇帝である、過去二ケ年の僅かな歳月ではあるが滿洲國建國以來達成せる治績は政治的、社會的に康熙乾隆時代に優るとも劣らざるものあり民族の感情や歴史を超越して新帝の王道治下に馳せ參ぜんとする意欲は遂に新帝國を建設する大なる原動力たらしめたことは勿論である

(3)原住民族

滿洲國々境地方の原住民族たるブリヤート、ゴード、ビラール、オロチヨン、ラホール、チアトン、ソロン、ギリヤーク、チンバルク、エルト等の舊政權時代全く忘れられた數々の民族は過去に於て新皇帝の祖、愛親覺羅家の恩德を蒙つたことを想起し一視同仁、善政を以て臨む新帝の大御心に感激、尊崇の念は彌增し、この君の爲なら死をも惜まざるの決意を固めしめ原始民族の清純熾烈な感情を帝政運動に捧げ來つた彼等の念頭には曾に「仁愛道德を主旨とし種族の偏見を除く」の宣言にすがらんとする向上の希求あるのみである

(4)白系露人

帝政運動が擡頭せる頃當局を驚歎させたもの、一つにロシア語の歎願書が多かつたことが數へられてゐるが、それはいはずと知れた白系露人が憧れの帝政を祖國に求めんとして求め得ず王道國滿洲國に安住の地を見出さんとする努力の表現であつた、それだけに彼等の願ひは眞劍であつた、この宿願は天意の叶ふところとなり茲に滿洲帝國の誕生を見るに至つた、彼等の第二義的欲求は國籍法の制定を促進せしめ滿洲國人と變らぬ新帝の赤子として從來の無國籍者の悲哀から離脱せんとすることであることは言ふまでもない(寫眞一日鹵簿奉迎の白系露人)

滿洲國は順調に發展
外人記者の感想

【新京特電三日發】滿洲國大典報道の任務を帶びて世界各國から首都新京に集まつた外人記者は連日各方面に活躍して盛典の模樣及び帝制實施の滿洲國内における政治的反映等について報道してゐるが、大典の盛儀を親く拜觀したロンドンタイムス記者ミッケル氏はその感想を左の如く語つた
純東洋の古典的儀式を初めて見た吾々外人記者は實に莊重な感じを受けた、滿洲國に帝制が實施され、日滿兩國の熱誠なる協力支持の下に滿洲國政府が確立する樣を見れば、滿洲國の前途も順調に發展して行きその前途が吾々の目にも窺ひ知ることが出來る

宮脇代議士に反省を促す
全滿鄕軍聯合會

【奉天特電三日發】第五十六議會において宮脇代議士が在鄕軍人は烏合の衆であると侮蔑の言葉を發したので、在滿各地の在鄕軍人會では俄然これを重大視し安東では宮脇代議士糾彈の決議をなしたが奉天各分會では寄々これが處置につき愼重なる協議を重ねつゝあり全滿鄕軍聯合會では何等かの形式をもつて宮脇代議士の反省を促すことゝなる模樣である

大典警備無事了り安心
石井監察官談

【奉天特電三日發】石井關東廳警務局監察官は三日はさて歸旅したが、語る
大場局長は午前六時四十分旅順に歸任されたが、新京における大典の盛儀も日滿兩國軍警の十分な警備で聊かの心配もなく且つ大事件も發生せずして滑りなく終了したことは警備の任に當つたものとしてこれほど嬉しいことはない、これも三千萬民衆の赤誠から順天安民の實が示されたのであつて大滿洲國の治安は皇帝の登極を一期として大小の群匪は終熄し眞に平和鄕となるであらう

本紙夕刊共十六頁

家庭

質屋の"のれん"に大寫される世相
景氣好轉と大連婦人の着道樂
常盤質舖を打診する

すつかり春らしくなつたこの頃、無産階級の唯一の金融機關たる質屋さんの景氣はと羽衣町の市營質屋常盤質舖をのぞいて岡師主任のお話をうかがひました。

貸附 が増加して來ました今年もボツ〳〵貸附（預入）が多くなるのが例で秋から冬にかけては回收……受出し金額が大變多く三、四、五月と暖かになるにつれてあべこべに勿論入質品の大半が衣類でその中に洋服が約三分の一、あとは大抵婦人方の着物です。この頃景氣がよくなつたせいか派手な所謂流行ものが目立つ、銘仙なぞ極く尠く大ていやはらかい縮緬や大島、大連の婦人方は確に着道樂ですね。昨年の秋から師走にかけての回收成績は非常に良好で景氣恢復の兆かと思はれます、大晦日など一日に二千數百圓の回收でした。本年二月末現在の貸附額は五萬四千六百三十七圓にのぼり昨今の貸附額は大抵毎日五百圓前後です。

一年 を通じて見ますと貸附の一番多いのは五月で昨年の貸附高は一萬九千四百六十一圓餘で貸附の一番尠いのは十二月です。

回收は何といつても師走で昨年十二月の回收額は一萬八千五百三十二圓餘、年末のボーナスが永い間倉の中にあづけた晴着を引ぱり出してくれるわけです。お正月は流石に質屋ののれんをくゞらうといふ人は尠く貸附、回收とも閑散です。これから二月、三月とそろそろ人足がついて三月、四月ともなるともう冬物も當分用事がないとあつて比較的金目の衣類がどん〳〵運び込まれる結果貸附額は非常な勢ひで増して來ます。五月の競馬シーズンになると馬券に一攫千金を夢見る

競馬 ファンが、その一張羅を、裝身具を金に換へるために貸附額は俄然狂奔するわけです。七、八月の海水浴シーズンは無産者の平和郷、でも九月も過ぎ十月も半ばとなつて秋風が身に沁み初めると、そろ〳〵冬着が必要になつて俄に回收が殖えて來るのです。

敏感 に見えます、先づ目につくのは月給日直後二十六、七日の回收（受出し）の激増です。何といつてもサラリーマンの滿洲だけあつて毎日々々の數字にもサラリーマンらしい動きが日曜日の閑散さは流石にアットホームがしのばれて微笑ましくなるのです。

數日間で古代味が出る
『ウヰスキー』の醸造法

左黨の愛用するウヰスキーは、そのレッテルに書いてある通り七年とか、八年とか、長いのになると二十五年も三十年も時代が立たなければウヰスキーの本當の味が出ない事になつて居る。この譯は斯くの如き長い時代過れば、その中に含まれて居つたフーセル油だのエステルだのが取去らるゝからである。アメリカでは過去十四年間に渡つて禁酒法が實施された結果どの醸造家も酒を作る事をしなかつたので、急に解禁になつても、古い時代のウヰスキーがある筈がないので、どうにかして其の味を急に作らうといふ考へから種々研究中であつた處、近頃になつて名案を考へ出したらしい。その方法は内側を焦がした樽の中にウヰスキーを入れて置くと炭化した木片がウヰスキーの中のエステル、フーセル油、その他の味を悪くする含有料を急速に吸收するため、その目的に成功したものらしい。これは端なくも現れた秘密の醸造法である。

慶祝 "大滿洲帝國"
前島いづみ

破亂つひに大帝國はうち建ちぬ
乾德仁慈の君を戴き
三千民の翹望切に立ちましゝ
溥儀皇帝よ萬歳申す
大いなる我が友邦は滿家に
今曙の警鐘をつく
もろ〳〵の妖雲ひそみ醜さ
五色旗躍る康德の春
執政の登極まして長春の
都と共に榮ふ滿すくに

花壇の造り方【下】
滿鐵苗圃　伊佐義壽

彩色花壇 これは寄植花壇でありまして草丈が一樣で各種色の異つた同一期に開花するものを密植し地面を表はすことなく花壇一面を花で被はしめ、恰も彩色した樣にするのでありますから、これも色彩の配合に最も注意を要します、形には圓形、楕圓形又は方形等が普通であります。

境彩花壇 塀、窓下の際に設け建物とか他の花壇との調和を圖るものでありますが、この花壇は他の花壇と異なり開花期節等に關係せず後方に草丈の高い種類を配置し前方に至るに從つて漸次矮性のものを植ゑるのであります。

ピラミッド花壇 圓形に土を盛り上げ中央に草丈けの高いもの漸次周圍へ低いものを植ゑ付け四方から眺めるやうに造つたものであります。

簡易式花壇 最も手輕に花壇を造りますには木枠か煉瓦、玉石又はサイダーかビールの空瓶を倒して並べて種々の形を取ります。形が出來ましたら花壇の土はよくふるひ腐熟した馬糞、堆肥を入れてよく混ぜ草花を植付けるか、蒔きにするのであります。花も一年中絶えることのない樣になるべく數多く混植することが必要です。花の盛りが過ぎましたら根の處から清潔や球根類は根元から切り取り次に咲く花の邪魔にならない樣にし、種子を採るものは取り、終つたならば切り取るなり、根をぬき取ります。かうすれば四季花を眺めることが出來るのであります。

再生法　キハツ油の　無駄に捨てるなる

よごれ物を洗つて眞黒になつたキハツ油は、無駄に捨てないで淨化してお使ひなさい、瓶に入れて靜かに一晝夜ほど放置して置きますと、よごれや泥が沈澱して薄茶色を帶びた上澄が出來ます、濃い色物のお洗濯にはこの上澄でも結構ですが、白い物や淡色のものを洗ふにはこの上澄一合に對し苛性曹達を加へよくかきまはして更に一晩も靜かにして置きますと、脂肪やその他のまじり物が苛性曹達と化合してすつかり沈澱しまるで新しいものゝやうに澄み切つた美しいキハツ油が得られます

家庭手帖
眉の引き方

下り眼の方ならば眉頭の角をおとし、眉尻は少し上げ氣味に剃ります。顏の輪廓のはつきりした方は眉を細く下から剃り上げる方がよい、短い眉の方は眉の中程から毛なみに從つて黛を引き次に殘りの黑をもつて眉頭を作る眉は眼の切れ目より幾分長い方がお顏が引き立ちます。黛はキルクを黑燒にした粉末が一番よく眉刷毛の先を細くして眉毛の上に一、二回引きます。

一粒選甘栗と 甘栗太郎 栗羊羹

日本棋院秋季大手合戰譜（第十四局）
先　三段　染谷一雄
　　初段　藤澤庫之助

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

—【1】—

●	○
一 ハの四	二 ホの三
三 タの四	四 ホの十六
五 タの十六	六 チの三
七 ニの五	八 への四
九 タの十	一〇 ハの十五
一一 ヌの十七	一二 レの十四
一三 レの十六	一四 レの十二
一五 レの十	一六 ヨの十二
一七 ワの十六	一八 ハの三
一九 ロの二	二〇 ハの二

所要時間累計（白一時卅七分 黑二十九分）
（制限時間各七時間）

對局者のことば

黑　三は（ヨ三）の目外しに據るのが右上隅の配置に關しては普通ですが、特に譜の星をえらんでみました

白　六は（ル三）に控へることも考へてはみたのですが—

黑　控へられてもやはり七とコスムつもりでした、七を怠つて白からぜ、もしくは（ニ六）などとカケられては六が廣いだけにたまりません

白　八もこゝらでは絕對でせう

白　變則の布石ですから白も十と變態のシマリを執りました

黑　十三で最近よく見る樣に（ヨ十四）にケイマするのは直に白（レ十七）と入られてもどうかと思ひます、十一が（ヌ十六）の星にあり、右下隅にも黑の配置があるならば無論（ヨ十四）に行つたでせうけれど—

十五はこんなものでしたか、一方を十三とサガつたのに呼應してかくサガりましたが白十六とトバレてみると何となく生硬の形でした

白　十八はこの時適切なる著點もとめるのに苦しんだのです、これについては後でも言ひますが、或は十八で單に（チ五）とトブなどがよかつたかも知れません

戰の跡

選手紹介—染谷三段、藤澤初段共に既に紹介ずみであるが念のために重ねて簡單にいへば前者は關西の重鎭久保松六段の門下昨春三段に昇つたばかりの猛者であり後者は小臭清源と呼ばれる程、昨今賣出しの新進であつて今春から二段昇る事に決定してゐる、わづか十六歳の少年である、この顏合せなど實に容易に見られるものではない

◇黑三、五、九と例の三連星の新布石法に出た

◇黑十三にて（ヨ十四）のケイマが打ちにくい事は新布石法の本家本元たる木谷、吳兩五段もその最近の著書に於て研究を發表してゐる所、それにしても十三また十五のサガりとは珍しい手法であつた

◇白十八、二十に就いては明日—

ラヂオ　大連 JQAK
三月四日（第四日）

滿洲國帝制記念放送
▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二

氷の記念碑
大連童話協會では滿洲國帝制實施記念として四日午後四時より大連放送局から山田健二氏原作の滿洲童話劇「氷の記念碑」三景を放送するが寫眞は同劇に出演する人々

▲午前七時　ラヂオ體操第一
▲午前十時　レコード
▲正午　時報、ニュース
▲午後三時三十分　ニュース
▲午後四時、四時三十分（大連より）滿洲童話劇「氷の記念碑」（三景）原作山田健二、演出大連童話協會、李秀盛（池原重治）その父（香川岩雄）その母（野尻愛子）その姉（伊野政江）中村一等兵（石橋眞）中隊長（竹田幸雄）馬賊（峰尾滿久）公安隊長（高橋直）作曲及指揮野尻榮、擬音及効果加藤俊一、伴奏カナリヤ三重奏團
▲午後六時　ニュース
▲午後六時三十分（新京より）講演「御大典に列し所感を述ぶ」奉天省長臧式毅
▲午後七時（新京より）滿洲音樂（一）「牧羊卷」獨唱二鳳（二）「碰碑」同月紅（三）「六月雪」同文寶
▲午後八時（新京より）常磐津「勢獅子」（淨瑠璃）小唄、同小政同菊丸、同笑千代、同春子、同朝香、同清香（三味線）一馬、同奴、同富美丸、同梅奴、同千代香
▲午後八時三十分　時報
▲午後八時三十一分　ニュース、氣象通報
▲午後九時（奉天より）ラヂオ風景「康德元年三月朔日奉天」指揮並解說牧野勳、演出亞細亞輝子、遠山銀子、竹井良二、齋藤佐和、美興志映爾、滿洲醫大オーケストラ、滿洲醫大滿人音樂部、奉天音樂院、明星タンゴ・バンド、奉天公學校、和樂連中
▲午後九時四十分（奉天より）小唄と俚謠一、（イ）江戸小唄長兵衛（ロ）正調博多節（ハ）博多子守唄（唄）滿洲華（三味線）時子（二）（イ）雁首（ロ）三下り四季（ハ）本木曾節（唄）萬龍（三味線）時子
▲午後五時三十分（大連より）講演「法衣一枚で滿洲に旅して其の體驗を語る」田口省吾

本社特選 新棋戰（其二）
平手番　香交　二段 ▲ 松下力
　　　　　　　初段 △ 吉田六彥

【圖は八四歩迄の局面】吉田氏持駒ナシ

▲八五歩　△七八銀
▲五三銀右　△七七角
▲七四歩　△六七銀
▲四一玉　△七八金
▲六四歩　△六九玉
▲四四歩　△三六歩
▲四三銀　△三五歩

累計二十八手

土居八段講評
吉田君は敵の八五歩に對して七七銀以下櫓の堅陣に組む手もあるが、五七銀と上つて在る關係上櫓の陣形が重くて駒捌きに不自由を生ずるので譜の如く七七角と上り、輕い駒組みを執つたのは至當の對策である松下君の六四歩は已むを得ない方法であらう、但し六四銀の手もあるが、五八金、七五歩の際敵に六五歩と逆襲されては面白くない、吉田君が銀の運用を自由にする意味に一旦三五歩と指したは輕い好手。

荻原七段解說
吉田氏の七七角は、七七銀では五三銀右、五八金右、六四銀、六七金、七四歩と指されると八八角が重くなつて面白くないのである、松下氏の七四歩は、敵の七五歩を防ぎ肝要の手順である、續いて六四歩は、六四銀では直ちに六五歩と突かれても、又五八金と上り七五歩の時六五歩と突かれてこの六四銀は却つて敵の攻擊目標となつて面白くないのである、吉田氏の三五歩は敵に四三銀と上られては四六銀と捌いても、反對に四五歩の逆襲が殘つていけないので、三五歩と敵の陣形の不備に乘じたのは機宜に適した好着である、松下氏の四三銀は、三五同歩では四六銀と指されて惡いのである。

彌榮え彌盛なれ 地方賜餐に祝ふ乾盃

瓦房店

曠古の盛典を仰ぎ奉る此の日、春光麗かに正に青天白日である畏くも陛下より地方賜餐の御招待を忝し無限の光榮に浴せる日滿官民四百名禮服着用威儀を正して入場大饗宴場正面には皇帝陛下御眞影五色旗を掲げ紅白の幔幕を廻らし萬國旗を四方に張りつめ松竹梅の生花を飾り宛然神々しき式場水を打った様に吐息一つせず靜かに第一振鈴によって着席荒川參事官恐懼して御眞影開扉一同敬禮拜三回后縣長地方賜餐辭を恭しく奉讀次に荒川參事官縣長と同様の辭日文を讀んで奉讀次に李縣長皇帝陛下の萬歲を唱和し賜餐の滿酒折詰を賜って溢れる感激と歡喜に滿ち善隣友好國と提携して永遠に東洋平和を慶賀し午後一時滞りなく嚴肅莊嚴裡に終了一同禮拜して退下した

公主嶺

公主嶺の祝卽位大典賜餐祝宴會は二日正午公會堂を會場として盛大に開催招宴の光榮に浴した三百餘人の日滿官民は禮裝の襟を正し列席懷德縣長孫潤蒼氏の發聲に皇帝の萬歲を三唱乾盃會場は慶祝氣分に滿ち和氣靄々盛宴を極め○○隊山本大隊長の發聲に滿洲國皇帝の萬歲を三唱目出度閉宴この日快晴慶祝日和とも云ふべき天候に高脚、小車、龍燈等河南河北の兩市を遊行戸毎に揭揚の兩國旗と奉祝の各種裝飾は春光に冴え夜に入り殊に異彩を放ったのは大同電氣會社公主嶺支店のイルミネーションにして美裝に意匠を凝し輝光燦爛不夜城の感あらしめ戸毎の奉祝燈も輝き一としほ夜景を添へた

營口

大典の御悅びを頒つ地方賜餐は宮中に於て行はせらる饗宴と時を同じくした二日正午全滿各地一齊に舉行された、營口に於ても正午前より賜餐に召されたる日滿官民七百餘名は大饗宴場たる公署前庭に參集す十一時四十五分合圖の振鈴に官民一同入場席につく唐警備委員開會を述べ引續き楊營口縣長登壇して賜餐に對する皇恩の宏大さに浴する光榮を述べ既に奉置された滿洲國旗に禮拜し一同これに倣ふ、しかして陛下賜餐に移る再び縣長登壇して新皇帝の聖壽無窮を祝し三呼萬歲を音頭す參列者一同これに和して千代萬づ代を祝しつゝ退下した

遼陽

滿洲國皇帝卽位大典の地方賜餐當日の二日遼陽縣公署では賜餐場を城内第一民立中學校に設け、賜餐に招かれたる者日本側官民百五十名滿洲國人三百名外國宣教師三名で正午迄に全部入場五十餘卓に着席するや濱田縣參事官の挨拶、王縣長の祝辭がありて支那料理を賜り、春見鞍山守備隊長は一同を代表して滿洲國皇帝の聖壽無窮と滿洲國の前途を祝福し沖遼陽地方事務所長の發聲で滿洲國皇帝の萬歲を祝福する爲めに乾杯午後一時半一同退散したが賜餐者一同には特に記念品を贈與された

鳳凰城の賜餐

【鳳凰城】御卽位大典第二日の賜餐式は二日正午より城内鳳凰樓において舉行された、參列者日滿官民百五十名定刻開會、一同着席先づ新帝陛下の御眞影と國旗に對し最敬禮、國歌合唱、薫縣長の賜餐詞、板津大隊長の祝詞、滿洲國皇帝の萬歲三唱、就餐、薫縣長の音頭で、日本帝國の萬歲を、田上署長の發聲で滿洲帝國の萬歲を各三唱、午後二時半盛會裡に散會した

歡喜に更けゆく 大石橋の慶祝 市街は感激のルツボ

【大石橋】滿洲國曠古の大典を壽ぐ康德元年三月一日は遂に訪れた旭陽仰ぎ見る頃から四方より歡喜揚り天は破れ地は震はむばかりの瑞氣に滿ち各戸を飾る日滿國旗の交叉奉祝燈と相映じ自動車馬車人力車に至る迄五色旗を飜へし午前八時早くも慶祝の海と化した

報告祭 午前九時大石橋官市民並に家政女學校小學校青訓生は大石橋神社拜殿に參集し伊藤神職司祭の下に莊嚴なる報告祭を營み滿洲國皇帝登極の大禮を祝し謹みて寶祚の無窮萬歲を祈り次いで大典慶祝遙拜式は滿洲街第四高等小學校東大運動場において協和會及び民衆協同で大典慶祝遙拜式が舉行された、午前十時定刻日本側來賓古川守備隊長代理三浦警察署長並に各幹部倉橋地方事務所長以下幹部滿鐵各箇所代表大石橋地方委員小林議長以下各委員山下、三浦大石橋聯合婦人會代表その他官民並に莘田校長代理及び教職員に引率されたる小學校家政女學校幼稚園生徒約八百名滿洲側小學生六百名協和會九十分會代表九十名一般民衆老幼男女二萬人まづ國歌合唱について大國旗を揭揚し大滿洲帝國萬歲を三唱し皇帝の御眞影を禮拜し委員長張香九氏の挨拶に次ぎ古川大隊長代理、三浦署長、倉橋地方事務所長の祝辭を受け寶祚の無窮を壽ぎつゝ式を閉ぢた

學生旗行列 午前十一時より式場を出發したる日本側學生滿洲側學生及び日滿有志一般民衆よりなる大旗行列隊は協和會の先導にて滿洲街を練り石橋大街より宣撫街中央通りを經て蟠龍山忠魂碑前に集合し大滿洲帝國の萬歲を三唱したが一般民衆を加へ約一萬三千の小旗に依り蟠龍山を埋め五色旗颯爽として歡聲天を轟かした

祝賀宴 正午より公會堂において滿洲國側主催で大典慶祝大賀宴を催し、日本側より各警備機關滿鐵各箇所代表居住市民有志の參加あり協和會九十分會代表と共に天壽の無窮を祈りつゝ開宴未曾有の盛宴を張つた

古川大隊長代理三浦署長の祝辭あり宴中滿洲國美妓の斡旋にて一段の興を添へた、天を衝く奉祝門＝皇帝登極の佳き日を慶祝するため大石橋市民電灯會社滿洲日報社合同の奉祝門が中央通正面に建設された、其の壯大なる美觀各戸の奉祝燈と相映じ三百の裝飾電燈と共に不夜城の盛觀を呈してゐる

歡呼の叫びに 慄へる吉林 ◇朝から夜中まで◇

【吉林】東天は漸く白み鶏鳴は暗を破つて曉を報じた天の岩戸は遂に開かれたのである打上げる爆竹の音花火の聲省城十四萬餘の國民は總擧して溥儀皇帝陛下のお登極を祝し又股肱の臣として起つた祥雲天に張り瑞氣地に滿ちて萬民儀を盡して王德を謳歌して居る、今日許りは松花江の氷面さへ銀光を放ちて慶祝の渦中に埋もれて居る、各家の内外には日滿を問はず美化裝飾が施され省城全民は夢の如き幸福感にひたり、歡喜の渦中に投じて萬像なく新皇帝君臨と帝政實施の喜びに踊れ舞へ歌へと歡樂に狂つて居る、宴に曠古の盛事たる御大典慶祝大會は城内民衆運動場に於て十二時のサイレンと共に開會の幕は切つて落された

一齊に放たれた花火、爆竹の爆音高く集ひたる民衆すし詰めとなつて列席實に三萬餘國旗揭揚國旗敬禮に次いで國歌合唱有り三浦縣長高臺に上りて省長代理の朗讀を行ひ、それより森岡總領事、佐藤中將代理中村少將各閣下の奉祝詞が有り、大滿洲國萬歲、皇帝陛下萬歲を三唱した時正に午後零時五十分

空は絶好の快晴に惠まれ稍冷氣あるも春風和らかに吹き渡る中を午後一時大會場を出發軍樂隊の奏樂勇ましく先頭に立て、省公署前に集合これより約二里餘に亘る長蛇の如き旗行列は糧米行より新開門、日本領事館、大馬路、大東門、北新開門、警備司令部前、稅務監督署西胡同、通天街、三道碼頭北胡同、河南街より會場に戻り萬歲三唱同三時半頃解散した午後五時半よりは市政公所前を振出しに提灯行列を行ひ外に各所では映畫、講演、芝居其の他種々の餘興を演ぜられ日本側でも美妓多數を載せた屋臺自動車が市街を練りドンチャン／＼と一夜は人の渦人の洪水を來しつゝ歡樂の巷に醉ひつぶれて居る

新皇帝の御威嚴に 滿洲國民衆の感激 寫眞ニュースに集る群衆

【奉天】滿洲國宮廷から下げられた大滿洲國新皇帝陛下の御寫眞は各新聞紙上に於いて發表され滿洲國通信社では逸早く玉座を始め皇帝卽位の儀式其の他新帝の御寫眞を各樞要地域に貼出したが寫眞ニュースの前には多數の群衆が集まり眼のあたり宮中の盛儀と新皇帝を拜しいづれも大滿洲國皇帝たる御威嚴と仁慈を備へられし御風貌に齊しく感激し其の御威稜にうたれぬものはなかつた、皇帝陛下の凛々しい大元帥の御正裝に大元帥刀を御握りしめになつてゐるその神々しい御正裝の胸間には一國の皇帝としては恐れ多い話ではあるが勳章を佩用遊ばされて居られず唯一つ御佩用されてゐるのは勳章ではなく建國の徽章であつた滿洲國では賞勳局官制の制定されてゐぬ爲でむしろ新興滿洲國の意義深きものあることを民衆は深く感銘し群衆はいづれも新皇帝の御正裝から受けた大滿洲國建國の精神を語り合つて感激してゐた

慶祝畫報

1公主嶺の賜餐會場(公學堂) 2慶祝の渦(營口) 3奉祝塔(營口) 4奉祝行列(大石橋) 5滿洲帝國大國旗揭揚式(大石橋) 6奉祝門(大石橋) 7行列市中行進(ハルピン)

工業實習所 入所者六十九名を發表

【撫順】撫順工業實習所では昭和九年度の入所許可者、機械科二〇名、電機科一五名、土木科一四名、採鑛科二〇名、計六九名の氏名を二日左の如く發表した

▲機械科―大井源三、嘉嗣久米雄、三宅司、岩根以德、西川清、島田竹士、武友清、荒川次義、中保陵吉、大槻實、森滿法、草部二雄、淵江實、伊豆野清道、森内義弘、大村勇、渡邊良人、池田勉、末松滿治、本田車作

▲電機科―鹹田忠夫、寺田稔、西岡弘、高尾武次郎、茂木清藏、川久保純一、東仁一郎、三代信勝、金屋敷三雄、溝部善三、鬼塚秀雄、中村展巳、上田和夫、藤崎久雄、今里貞人

▲土木科―末永實男、能見中、岡見敏男、東條義治、中村利弘、有澤信孝、吉田民之助、長井東一、原田政行、小川定雄、柳田末茂、手島正英、鶴田和平、勝野勝

▲採鑛科―宮本信雄、池田勝、佐々木公明、上田吉孝、井手森茂、待永利治、久保國政、能仁基隆、前田里見、橫内義計、阿部正則、末永源五、足立功、品川節三、山木博良、佐古肇、橋本勇、土山誠之、勝野茂次、米原孝政

在鄕將校會

【遼陽】遼陽在鄕將校會は三日午後五時から滿鐵社員倶樂部で春季總會を開き□□の上細矢會長の滿瓦斯に對する講話、貴志軍大育成所長の軍事に關する講話を聽き終つて懇親宴を催したさ

國鐵運送規則 四月より實施

【奉天】鐵路總局では旅客及荷物運送には從來各路局の區々な經營を踏襲し多大の不便を感じて居たが鐵路總局運送規程の制定に次いで此の程鐵路總局鐵路旅客及荷物運送規則並に同取扱手續を制定し同運送規則は來る四月一日の職制大改革と共に實施さるゝことゝなつた

軍事功勞者を 陸相から表彰

【奉天】滿洲における軍事功勞者として今回陸軍大臣から五名表彰されたがその一人として市内琴平町十七番地滿毛百貨店社員矢作房吉氏(□)は感謝狀、銀盃、功勞章を贈與された、同氏は千葉縣の出身で奉天獨立守備隊除隊後大正十四年毛織會社に入り更に前記百貨店に轉勤した人でその間奉天青訓生の指導員として成績をあげてゐることは何人も須知の通りで感謝狀を贈られたのは滿洲では同氏一人である

藝酌婦の檢黴

【奉天】附屬地料理店藝酌婦の檢黴はこれまで毎月一回乃至は五回施行されてゐるが事變前に比しその數二倍以上の四百四十名に激增してゐる今日二人の醫師で一日午後一時から四時までの間に檢黴、檢鏡をしてゐてはとても醫師は過勞し綿密な檢黴は出來ないので毎月初回に限り二日にして之を施行することゝなつた

路立小學校の 教員を養成

【奉天】鐵路總局地方科では路立小學校の經營に意を用ひ十二小學校は三月の新學年に入つたので既に南滿教育會教科書編輯部編輯の地理、歷史、算術、日本語讀本、滿洲國讀本、修身等の教科書を所管各路局へ配布して居るが之等國策的教育には優秀な滿人教員の養成を必要とするので特に總局の手により毎年五、六名の教員を南滿中學堂に學生として入學せしめ一ケ年の課程を以て日本語の教習を主として其の教育に當るべく目下手續中である

僞醫者捕はる

【奉天】二日午前五時五十分奉山線にて樺橋子より來奉せる怪しい鮮人を驛事務が發見、取調べの結果彼は平壤南門居住金全元(二三)と稱し醫師とか賣藥營業者とか申立てゝゐるがその證明となるべきものなく彼は日本醫師と稱し田舍に立廻り住民に醫療をなし暴利を貪つてゐるもので本署に引致嚴重取調中であるが被害多數ある見込みである

外人教育者懇談會

【奉天】日、滿、歐、米その他在奉外人教育者を以て相互に親睦を圖り教育の向上發展に資する懇談會は曩に滿洲醫大教授久野氏宅に於て開かれ大いに意義あらしめて散會したが第二回懇談會は來る十日午後四時から日、滿その他外人專門學校、中等學校、小學校の各學校長三十名は城内小河沿醫專校長ティラー氏宅に參集し教育上の問題につき種々懇談をなすさ

旅順放送

▲關東廳各課長、米岡市長、岸田助役、村上議長及び市會議員一同は二日大連における福本稅關長の名を以て招待された大連ヤマトホテルにおける賜餐宴に臨席した

▲御卽位當日街頭へ進出日滿親善國旗章頒布は當日非常な好成績で一千四百餘個を賣上げその目的達成を爲した、尚は本利益金は支部の事業資金に充てる由

▲體育研究所旅順體育協會共同主催にて來る十日陸軍記念日當日午後一時からクロスカントリーレースを開催する參加資格者は學生々徒を除きたる一般男女十七歲以上五十五歲以下の者で山野無軌道跋涉のコースは當日指示する又コースの距離は八千米(約二里)で一時間半以内の歸着者全員へ授賞又外に年齢別着順賞を授與する由

▲愛妻を失つた奴壽し羽田直助君は近かく内地へ歸省再び來旅の上更生の商賣かへをなす事となつたので奴壽し店舗は今回竹内元三、笠松イト夫妻へ引續き從前の如く營業を行ふ事となつた

▲二日衛戍病院にて死去した陸軍步兵伍長記室吉之進氏告別式は二日午前四時多數官民列席の上同病院内に於て舉行さる

▲乃木町三ノ二二鈴木政治氏長女初枝(二〇)さんは一日死亡

北滿向の內地蜜柑 輸送成績良好

日數二日を短縮、破損凍傷も少し 試驗の結果上々吉

【奉天】京圖線の開通と拉濱線の開通による經濟的貢獻の一つの現れとして從來ハルビン向けの五萬個の蜜柑は滿鐵社線及び浦鹽經由によつて居たが敦賀、清津、新站を經て北鮮京圖線拉濱線を經て濱江に達する蜜柑の試驗輸送を二月に行つた、これによると從來大阪大連、寛城子を經たものはハルビン迄九日を要して居たが、今回の輸送試驗によると七日間でハルビンに到着し所要日數に於て二日を利するのみならず輸送中の破損率に於て社線經由の際は從來六百三十個に對して十個乃至二十個を出して居たが新徑路による場合一個しかない外凍傷率も南滿經由より清津經由の方が遙かに少く、新徑路の非常な有利を實證するに至つた清津に於ける目下の輸送申込のものが一車あるも來年度よりは北滿の發展と共に從來の五萬個の蜜柑需要も二三割の增加を見るべく之等の大部分は北鮮拉濱線經由の新徑路によるべく關係方面より多大の期待が掛けられて居る

國線の荷動き 强調に向ふ

二月下旬の出廻狀況

【奉天】國線の二月下旬の一般出廻及び貨車繰狀況は鬱止氣分の薄らぐにつれ荷動き漸次盛返し下旬末に於ける持込は各局を通じ殆ど鬱止前の狀態に復し就中吉長、吉敦局に於ける特產物及び木材類の荷動き目覺しく最近は毎日一萬餘噸の持込を見つゝあるため一日の御大典氣分で本旬初めは一服の狀態に在るが漸次特に最近傳へられる北滿大豆減收說に刺戟され拉濱線發のものと共に荷動きは益々强調に向ひ貨車繰の逼迫は奉山線を除いて更に拍車を加へるものと豫想される、斯くして奉山、四洮、洮齊索、呼海各局に於ける荷動きに對しては各自局車及社車の返路を利用して之に順應し得る見込であるが、吉長局內に於ける堆貨は二月二十六日現在四萬五千六百餘噸を擁し濱海局內持込も亦相當優勢を豫想されるので社線より濱海局へ三九車、吉長、吉敦局へ七二車の迎車を受くる外主として拉濱線發貨物輸送用として濱海局所屬車五十輛を吉長、吉敦局に融通し三月上旬各局の必要は全的に充たさるゝ筈である、なほ現在車數及上旬一日使用車數の割當は次の如くである

	運用車現在車數(車)	使用車數(車)
吉長吉敦	一、一七九	四〇五
吉海	一二〇	二六
濱海	四八六	一六八
奉山	七六八	一六七
四洮	三七六	一二一
洮齊索	七一四	一一八
呼海	二五五	五五
計	三、八九八	一、〇五一

總局の日滿語 奬勵金

【奉天】鐵路總局では三月一日の創立を記念として鐵道從業員の人材養成のため鐵路學院を設ける外日滿局員にして滿人は日本語を日本人は滿洲語を勉强せしめる奬勵の意味から奬學金を支給することになり一定の標準語學檢定試驗に合格したものにこれを給與する由で、滿鐵で行つてゐる語學の奬學方法を滿人從業員に採用するが近くその具體的の發表をする

旅順 市九年度豫算 三萬餘圓減

總額十四萬九千餘圓

【旅順】旅順市に於ける昭和九年度歳入歳出豫算は去る二十四、六日の市會に於て可決確定を見たがその歳入部經常費は十一萬七百二十一圓、臨時費千五百圓、歳出部經常費八萬七千五百四十圓、臨時費二萬四千六百八十一圓合計金十一萬二千二百二十一圓の外特別會計市營住宅經營歳入歳出額七千百九十四圓にて前年度に於ける一般會計歳入歳出額十四萬九千二百四十二圓に比し三萬七千二十一圓の減額を示してゐる、これは主として市廳舍建築資金が無くなつた爲めである、而して九年度に於ける歳入歳出經常費及び臨時費細項目及び金額は左の如し

▲歳入部經常費 ▲財産より生ずる收入一五五圓▲使用料及手數料一二、〇八二圓▲繰越金八、〇〇〇圓▲雜收入二一、八〇三圓▲市税六八、六八一圓(法人四〇戸、一戸平均六七一圓四六錢、個人四、二五〇戸、一戸平均九圓七七錢)▲合計一一〇、七二一圓

▲同臨時費 ▲物件賣却代二〇〇圓▲寄附金一、三〇〇圓▲合計金一、五〇〇圓

▲歳出部經常費 ▲市役所費二七、三三四圓▲會議費二、六三九圓▲第一小學校費七、七六六圓▲第二小學校費五、三四四圓▲旅順公學堂費五、四七九圓▲學事諸費一〇〇圓▲衛生費二一、四五二圓▲途上給水費一、四四六圓▲居場費四、二〇二圓▲火葬場費一、五五二圓▲救助費一五五圓▲社會事業費一、二二〇圓▲財產費一、三七七圓▲公金取扱費五〇〇圓▲雜支出四、〇七五圓▲豫備費三、〇〇〇圓▲合計金八七、五四〇圓

▲同臨時費 ▲營繕費二、二五〇圓▲傳染病豫防費二、七六一圓▲積立金一、〇四〇圓▲公債費八、四二八圓▲寄附金六、二〇〇圓▲補助費五〇〇圓▲宣傳費八〇〇圓▲記念植樹維持費一〇〇圓▲下水材料製作費二〇〇圓▲雜支出一、四〇二圓▲衛生に關する諸設備費一、〇〇〇圓▲合計金二四、六八一圓

今は歴史的遺跡

執政迎立決定の場所

法學研究會

【奉天】滿洲國の生れるまでの重要な會議場となつてゐたのは淸朝故宮殿內にある法學研究會であつた、丁度二年前の三月一日の此儀執政を迎立する會議はこの一室で行はれ張景惠、臧式毅、熙洽、その他の幹部は玆に參集して迎立を決定した、それから恰度二年の今日皇帝登極の盛典があげられたが法學研究會はこの重大なる歴史的遺跡である(寫眞は法學研究會)

今後の奉天民會 前途は益々多忙

理事就任を前に 中原氏語る

【奉天】中原總領事館警察署警務主任は樋口前民會理事の後任として現職を辭し就任することに決定してゐるが氏は語る

警察官界に身を置いて今日まで來たが社會に立つては一年生で理事となつてから大に各方面からの指導を受け成るべく圓滿な眞の社會人として活動したい考へである、居留民會は一種の公法團體であるから今後滿洲法權が撤廢されても公共團體として益々其の機能を發揮せねばならぬので特に鐵西に工業地區が設けられ居留民會管內にはいるのであるから工業地の各工場にたいする將來の民會としての方針も考慮せねばならぬ、勿論民會賦課金は徴收するが其れをいかなる形式で扱ふかは愼重に考究し合法的に行ひたいと思うてゐる、現在の民會は城內の居住邦人增加に伴ひ益々狹隘となつて來たので新らしく建設せねばならぬであらう、豫定地としては無料宿泊所の隣接地を利用されゝばよいであらうが、兎に角居留民會としては教育と衛生についても留意せねばならぬ問題で現在傳染病患者の如きは赤十字病院に四十一名收容され毎日一名宛二圓十錢の入院料を支拂つてゐるやうな狀態で一日八十圓餘の經費を捻出せねばならぬ實狀にあるが居住邦人が增加すればこの點も亦大に考へればならぬ

瀋海沿線の交通 一年間に大飛躍

小室勸業係員視察談

【奉天】滿鐵地方事務所小室勸業係員は二月三日より二十八日迄瀋海沿線の經濟調査のため出張中であつたが歸任左の如く語る

附近一帶は水田が發達してゐますし又こゝには滿洲國側の機關庫もあり水質も好い樣です、料理店も數軒あります、通化には朝鮮人蔘が出、營口を經て上海方面へ大分出てゐる樣です、物產は渾江を利用し水運にて安東へ出ます、淸原を振り出しに山城鎭、柳河、通化、海龍、朝陽鎭、磐石、東豐西安、西豐を經て開原へ出て歸りました、瀋海沿線の治安交通は一年間の間に驚くべき發達を遂げ、瀋海列車も時間において一時間も短縮されてゐます、そして山城鎭より柳河通化へバスが出ますが唐聚五の勢力範圍にあるので危險視されてゐます又唐の發行した私帖が八百枚程あり回收が出來ず困つてゐる有樣です、從つて國幣も少なく財政狀態は餘りよくありません、磐石の驛前には淺野セメントの石灰山あり將來資金一萬五千圓に擴張する筈です、西安は御承知の炭礦あり現在一日一千二百噸位出してゐます、炭質も撫順炭に匹敵するもので次第〳〵に電化されつゝあり、電燈會社も現在の電燈公司と西安電燈とを買收し將來は日滿合辦で百萬圓、一千キロ位にするさうです、カフエーも奉天から進出してゐますし、將來を相當期待されてゐます、同沿線は日貨が非常に進出し外貨としては僅か石油、マッチ位です、そして英米トラストと東亞煙草は非常に激しい競爭をしてゐます、又國際の進出も目覺ましく金融も乘業してゐます、滿銀が朝陽鎭、山城鎭に支店を置き、正隆が西安に支店をもつてゐます、衛生施設は未だ完備されず、山城鎭に中座氏が醫院を經營、西安炭礦附屬醫院、海龍に鮮醫、朝陽鎭にキリスト教の滿人醫がゐるだけです、學校も山城鎭に今度出來る筈でそれ以外には海龍に鮮人の學校があるだけである、瀋海線の將來は礦產によつて維持されるのではないだらうか、淸原方面は非常に風景もよくつゝじは見物です

全滿地委聯合會

【奉天】全滿地方委員會定時聯合會は來る十二、三の兩日奉天滿鐵社員俱樂部で開催されるが沿線二十一ケ所より多數議案が續々奉天地方事務所に提出されてゐる、今回は時節柄重要議案が討議される筈で各方面から非常に注目されてゐる

婦人會の兵士慰問

【鳳凰城】鳳凰城自治會並鳳凰城婦人會では掃匪のため出動中である獨立守備第〇〇隊將兵に對し其勞を犒ふため慰問品を贈るべく目下取纏め中である

勇士の慰靈祭

【奉天】三日午後七時より奉天佛教團主催の下に第〇〇團遺骨二體及び飛行隊一體、獨立守備第〇〇隊一體、合計四體の慰靈祭を逢華寺に於いて行ひ、同夜八時五十五分發にて大連經由故國へ凱旋する

蒙古指導員 訓練所閉鎖

【海拉爾】昭和八年二月當時の特務機關長橋本中佐により開設を見た蒙古指導員訓練所は主事佐藤富江氏及岩上友添鈴木の各教官の熱烈なる意氣と犧牲的精神により偉大なる日本精神を注入多大の效果を擧げつゝあつたが偶々一身上の都合により主事以下の各員總辭職の結果この報國的な教化事業も一頓挫の形となり遂に一周年の今日閉鎖の止むなきに至つた

蒙古人啓發の急務たるや言を俟たぬ現下においてその尖鋭の本事業にして斯く形を滅した事は誠に遺憾に見られ蒙人側には殊に惜しまれてゐる

商業實習所 遼西に活躍

【營口】營口商業實習所に於ては營口背後の遼西一帶と熱河全省が營口に取つて樞要の物資供給地たるは何人も否む事の出來ない御得意先であるので今回同地方に見學を兼ねて實習旅行を爲すべく同所第一部生九名を野本指導員が引率して三月三日午前一時三十分營口を出發し先づ奉天に出て奉天午前六時四十分發午後零時半錦州に着、城內縣公署大信利を訪ひ同地に一泊翌四日錦州出發實習を爲し〇〇朝陽に入り同地に一泊、五日朝陽を發し錦州に歸り更に山海關に向ひ同地守備隊、長城戰跡を訪ひ傍ら實習を試み九日奉天に歸り同日午前十一時五分歸營の豫定で七日間の實習旅行は學生に與ふる實地學問特殊教育の要諦に觸れた結構な催しである

郵便料金改正

【營口】從來滿洲相互間(州內を除く)及び中華民國宛の郵便料金は書狀(封緘葉書を含む)二〇瓦迄毎に四錢通常葉書二錢往復葉書四錢であつたが三月一日より右書狀を一五瓦迄毎に三錢に何れも日本內國往復葉書を三錢通常葉書を一錢五厘郵便料金と同率に改正せられ從來の料金不同一の不便を除去された

女の部屋 (107)

林芙美子作 一木弴書

誹謗(一)

不義の一夜は、然し非常に明かに明けた。自由は人の心を麻痺させる阿片なのかも知れない。イヴエットの顔にも、秋山の顔にも、享樂の後の輕いたるみこそ見えるが、一點の曇りもなかつた。

カーテンを引くと秋の陽が、窓一杯にさし込んで來る。

——私の可愛いゝココ、ゆつくりれんれ、出來て?

——有難う。私のココットは?

——妾もよ。天國で聖ヨセフに抱かれて寢たやうに、ほんとに安心して寢たわ。

——朝飯は何?

——あなたは?

——君は?

二人はふつくらとしたベッドの中で先づ朝のお喋りを始めた。

——妾はね、シコレ入りの珈琲ミルクに、トーストと殻つき卵。

——ハムは?

——いらない。

——果物を少し?

——えゝ。

秋山は女の身體ごしに手をのばして、床頭机から電話を取りよせると寢室に持つて來るやうに朝飯の注文をした。

イヴエットは下から彼の腋の下を擽つた。

二人は同じ巣の犬つころのやうに一塊りに縺れ合つてきやつきやつと騒いだ。

ぱつたりとその騒音が止んで、二人が急に眞面目に

——あんた妾をほんとに愛して?

——うん。君は?

——妾は死ぬ程。あんたは?

——僕は死んでも死に切れぬ程

梢で囁きかけしてゐる頃、窓の外では、雷鳥たの屋根たの、木の

窓邊だのに匂して止つてゐた雀達か、途端にほがらかになつて青春の譜を囀り始めてゐた。

秋山は太い溜息をつくと、やたら身を起して

——イヴエットの牝豚はほんとにお馬鹿さんだよ!

と呟き乍ら別室になつてゐる湯槽の方に行つて栓を捻つた。

——ノボルの方が餘程豚だわよ。妾死んでよ!

だが勢ひよく迸り出て見る見る中に浴槽をや、蒼味を帶びた湯で充たして行く湯栓の音にかき消されて、イヴエットの愛の雜言は秋山の耳迄は聞えて來なかつた。

イヴエットもしどけなく亂れたピジャマの紐をしめ直して、のんしやらんとベッドを降りた。そして暖かさうな窓際に行つて其處から外を眺めた。

宿の庭園のすぐ向ふはだんだらの蜜柑畑になつてゐて、半分黄色に熟しかけた蜜柑が鈴なりになつてゐる。山の根を縫つてうれ〳〵と、熱海の方へ、小田原の方へのびてゐる白つぽい道には時々黒い小虫のやうな自動車が尾に白煙の土埃を捲きあげて疾走する。その土埃の中から、ひよつこり黒い點のやうな人間や、のろい芋虫のやうな荷馬車が現れたりする。

その向ふには油のやうにとろんとした蒼い海が、數艘の白い帆船をうかべて見渡す限り擴がつてゐた。

イヴエットは、突然鶯の聲でも聞いたやうに、恍惚さに胸の疼くのを感じた。そしてけたゝましく浴室にかけこんで、室內着を脫いで湯に入らうとしてゐた秋山の首に突然ぶら下ると、いきなりその肩に喰ひついた。

大滿洲國帝政記念

絢爛！七彩の星火 春宵中天に咲く
三日を迎へて歡喜愈よ高潮 帝都新京・最後の賑ひ

【新京特電三日發】滿洲帝國曠古の大典も三日の第二饗宴を以て茲に目出度く最後の幕を閉ぢた

思へば一日の郊祭登極の盛儀を初め二日、三日の賜餐の盛宴、日滿官民合同の慶祝大會、持旗提灯假裝等の各種の行列、市民の奉祝餘興等に引き續く大典行事餘興に全市は舉げて奉祝の

歡喜 に醉ひしれ新帝陛下の萬壽無窮を賀し曠古の大典を壽ぐ市民の喜びは最高潮に達し晝夜を分たず狂喜亂舞し續け、而も大典三日間打ち續く快晴に惠まれ澄み渡つた蒼穹からは滿洲帝國の前途を祝福するかのやうに輝かしい陽光が帝都新京の上に燦々と降り注ぎ滿洲帝國を表徵する五色の國旗は春風を孕んではたはたと翻つた

最後 大典三日目市民の熱狂は連日の活躍にも拘らず疲れの色もなく益々加はるばかり今宵一夜をと華やかなイルミネーションと古典的な龍提の歩見る光が交叉する町々を滿洲色豐な龍燈會、龍鳳踊りがこゝを先途と亂舞する、この間を絶え間なく打ち揚げられる煙花の快よさ、爆竹の音の朗かさ、美しい七彩の星火が春宵の中天に絢爛の花を咲かせた、夜空の波に乘つて夜間飛行が快よい爆音を立てながら地上の觀衆に應へる、奉祝に醉ひしれた市民の群は手に手に五色の旗をかざして愉快な高脚踊につれて五色の燈火も彩られた奉祝軒燈の下をぞろ／＼と

練り 歩く、イルミネーションの光に照り出された市民の顏は晴れやかな微笑みに今宵一夜で最後の幕を閉ぢる名殘の宵を惜むかのやうに踊り狂ひ高脚踊を眺めてゐる、かくて夜も更け十二時近くともなればさすがに人の姿も少くなり歡喜と興奮の波は熱狂した市民の歡呼の中に大典最後の夜は更けて行つた

圖書を獻上 一般官吏から

【奉天特電三日發】三月一日の皇帝即位の大典に對し皇運の無窮を祈るとともに滿洲國曠古の御盛儀を祝すべく一般庶民は種々お祝品の準備をしてゐたが時節柄節約を顧慮され一般の祝品を差控へよとの御思召しがあつたと漏れ承はる新皇帝のこの御仁徳に一般庶民は感泣してゐるが官吏は特別の關係があるので簡素を旨として慶祝の微意を表すべくさき程即位事務籌備委員會で決定し文武官より醵金その總額をもつて新皇居内に書屋を建築し圖書を備へて獻上することになつた、即ち特任官月俸額の百分の四、簡任官同百分の二、薦任官委任官同百分の一、上將百分の四、將官百分の二、軍士以下百分の一を醵出し三月末までに國務院秘書處長宛に送附することになり、これがため奉天省公署においても各官吏はこの光榮に浴すべく既にそれ／＼獻金をなしつゝあり

設立打合會 大連交通安全協會

大連交通安全協會の設立に關しては既報の如く數度關係者會合協議中であつたが既に規約の成案、役員顏觸れの内定を見るに至つたので五日午後一時から大連警察講堂で設立打合會を開き引續き創立總會を開催する段取となつた

内定の役員顏觸れは會長に大場關東廳警務局長、顧問に御影池大連民政署長、小川大連市長、山西滿鐵理事、入江滿電專務を推し評議員には飯島大連憲兵分隊長を始め各關係機關の首腦者二十九名を推薦、更らに幹事長には寺田大連署長その下に加來滿電電鐵課長及び三警察署長を幹事に据ゑる筈でその活動は各方面から非常に期待されてゐる

砂層にぶつかつて 俄然難工事となる
一部の工事計畫變更に迫らる 老松嶺のトンネル

滿鐵が滿洲最長のトンネルとして昨年來その貫通に努めてゐる圖們松花江線の老松嶺隧道（全長一八〇〇米）工事は鹿島、飛島兩組の手によつて南北兩入口から進められ本年六月完成の豫定で最初は兩方面共花崗岩の岩層で工事も順調に進捗を見てゐたが、俄然飛島組受持區が約四百米の奥まで掘込んだ時巨大な砂層に衝突し出水多量のため意外の難工事となりしかもこの砂層は相當深い見込が立つたゝめ建設局としてもこれが對策を講ずる必要から種々調査報告をまとめると共に佐藤局長また二月末日自ら現地の視察を遂げるところがあり、これ等數回に亙る調査の結果建設局としても一部工事計畫變更の必要を感じたもの、如く、この點に關して八田副總裁の承認を必要とする關係から佐藤局長は急遽西川計畫課長帶同二日午後四時二十分大連發列車で新京に急行八田副總裁と會見、工事の現況を詳細説明すると共に今後の設計變更について種々打合せするところあつた、從つて同トンネルの貫通期は豫定を大分遲れるものと見られその工事の前途は相當難工事を豫想されるに至つた

大成功 日食觀測隊
早乙女博士觀測の苦心を語る きのふ横須賀に着く

【横須賀三日發國通】南洋ロソップ島で皆既日食觀測に大成功を收めた觀測隊一行並に各社特派員は出迎へに赴いた軍艦春日で三日朝横須賀に到着した、一行中の三鷹天文臺長早乙女博士は次のやうに語つた

ロソップ島に到着して假準備をしたが、天氣が惡く心配したところ二月十三日（日食前日）から天氣が良くなつたので觀測に就いても準備にも張合ひが出た唯準備日數がないので若干不備の點があつたがこんな大規模な觀測をしたのは初めてゞある、皆既日食當日は幸ひに快晴で只少しく雲があつただけで一通りの觀測は出來滿足してゐる、寫眞も撮影した、その寫眞はまだ現像しないから結果においていゝか惡いかはいへない、これによつて得たる學術的な報告をするにはまだ三ケ月の後迄も東京で觀測せねばならぬ事があるのでその後でなければ發表出來ぬ本當なれば同じロソップ島に殘つて三ケ月間位觀測をつゞける方がよろしいけれども事情の許さないものがあるので、内地へ歸つた譯で歸京してから東京と京都で研究する筈である

うれしい登校 ―近づく入學

田口省吾氏 去る一月十六日、大連を出發し、全滿の皇軍慰問の旅に上つた熊本市求道館沙門田口省吾氏は凍結せる北滿の長い旅を終へて二日夕再びひよつくりと來連した

醫師告發さる 天然痘患者を官廳の許可なく歸宅させた市内西公園町澁谷醫師は既報の如く傳染病豫防規則違反者として二日午後一時大連署衞生係の取調を受けた結果遂に告發、一件書類を司法係に廻されたが近く即決科料處分に附されることゝなつた

鮮人風の男が 爆彈を投擲
きのふ上海神社境内

【上海三日發國通】今朝十時十五分當地上海神社境内に爆彈を投擲せる者あり、折柄境内は淞戰記念日を卜しての招魂祭參列者が集合してゐた際とて一時は大混雜を呈したが幸ひ爆彈は不發に終り何等の損害を受けなかつた、尙爆彈は懷中電燈に仕込みたる幼稚なものにて犯人は追跡したが及ばず取逃がしたが、白の作業服を着た鮮人風の男であつた

美擧、國防獻金 既報市内伊勢町滿銀横で白晝婦人を襲つた辻強盜を逮捕した東邦雄、山崎三郎兩氏に對し寺田大連署長は三日金一封を贈つてその功を表彰したが、東氏は贈られた金一封を國防費に獻金した

通俗學術聯合講演會
來る廿三日第二回開催

本社後援の通俗學術聯合講演會は昨年十二月第一回を大連協和會館に於て開催し好評を博したが、今回第二回及び第三回の講演會及び講演者所屬學會の打合會を去る二月九日技術會館集會室に十二學會各代表者（滿洲農事協會、滿洲冶金學會は缺席）出席して開き、第二回の講演場所及び講演者所屬學會は左記の通り決定し、第三回も豫定として左記の通り新京に於て開催することになつた

第二回通俗學術聯合講演會
一、日時 三月廿三日（金曜日）
一、場所 大連協和會館
一、講演者所屬學會 技術協會、[illegible]、建築協會

第三回通俗學術聯合講演會
一、日時 四月中旬又は下旬
一、場所 新京高女講堂
一、講演者所屬學會 滿洲農學會 滿洲藥學會、電氣學會支部

なほこの機會に滿洲に於ける全學會を網羅すべく、鞍山鐵鋼協會に對し聯合參加を勧誘する筈である

昭和天覽試合に 晴れの二選士
劍道・高野範士、柔道・神田六段 光榮の關東州代表

來る五月四、五兩日宮内省内濟寧館で御催し遊ばされる皇太子殿下御降誕記念の第二回昭和天覽試合に關東州を代表して參列の光榮を擔ふ晴れの選士については關東廳で人格、經歷、實力ともに具備せる選士を詮衡中であつたが劍道選士には滿鐵劍道教師高野茂義範士柔道選士には旅順振武館教師神田久太郎六段に決定した、兩範士の略歷左の如し

高野茂義範士 幼にして高野佐三郎範士の門に學び雋鋭見出されて養子となり、千種姓より高野姓を名乘る、大正三年滿鐵の招聘に應じて來滿、爾後滿鐵劍道教師として幾多の新進劍士を養成し大正十一年範士號を授與され、昭和四年御催し遊ばされたる第一回昭和天覽試合に晴れの劍道選士として出場す、長男慶壽五段は目下大連商業學校劍道教師、次男孫次郎五段は廣島中學劍道教師にそれ／＼奉職し、三男三郎三段は目下東京齒科醫專に學び東都學生劍道界に雄飛す、範士は明治十年生れ

神田久太郎六段 大正十二年四月初段となり爾後累進して昭和七年六段となる、その間大正十四年明治神宮大會、昭和六年には第二回全日本選士權大會にそれ／＼優勝しその名斯界に冠たり、昭和二年來滿關東廳に奉職せしことありしも後警視廳に轉じ昨八年十二月再度來滿して關東廳教師となる、同六段は立業寢業ともによく特有の肩車は敵の心膽を寒からしむ明治三十七年生れ

關東廳の選士に決定した高野茂義範士を三日午後大連道場に訪へば左の如く語る

また關東廳から公式の通知がありませぬので……然し若し私が參列させて頂けるやうになりましたなら全力を盡して戰ひませう、眞劍を持つた覺悟で堂々戰ひませう、第一回にも晴れの選士として參加させて頂きまた今度も選ばれて參列の光榮に浴することは身に餘る光榮と存じます

また神田久太郎六段を久方町の友人宅に訪へば包みきれぬ喜びを面に表はしながら語る

滿洲は昨年十二月からでまだ日は淺いのですが出場に決定した以上勝負を度外視し堂々と滿洲柔道界のため氣をはきたいと思つて居ります、出發期日はまだ定つて居りませんが試合二週間位前に出發したいと思ひます

（寫眞上は高野範士、下は神田六段）

青年・死の拳銃
祝賀の賑ひの中に 一切を闇に隱して

【奉天特電三日發】二日午後十二時頃商埠地天津大同社旅館二階三十七號室に投宿中の邦人甘利三郎（二七）が拳銃自殺を遂げてゐるのを旅館で發見し直に第八署に屆出で領事館警察署へこの旨通知があつたので同署より司法係中島警部は現場に赴き檢視を遂げた、右の姓名は變名で身許一切判明せずベッドの上に寢たまゝ前額部をブローニング拳銃で一發射ち貫いたまゝ即死を遂げ兩親、奉天署、旅館宛に簡單な三通の遺書があり他に新京のすし竹、金泰洋行等を記入せる紙片と所持金三十圓あるのみでその他は一切判明せず死體は假埋葬に附された

旅館側で語るところによると同人は三月一日午後五時頃投宿し同夜は南市場の密淫賣土某（一八）なる滿洲美人と樂しい夢を結び翌朝八時頃女に十圓を與へて歸し間もなく自殺を遂げたもの、如く同日は各所に祝賀爆竹があげられてゐたゝめ拳銃の音に誰も氣がつかなかつたものである

兩親宛ての遺書は

御兩親樣、兄弟、僕の知るすべての人樣よ、さう／＼僕は氣が狂つてしまつた、兩親さま何もいはない、たゞ永い間有りがたう御座いました、死に行く今の氣持は幸福であるといふことをはつきり認識して死についあります、では皆樣さようなら　M　Y生

目下身許調査中である

エロ寫眞の密輸頻り 當局の眼光る

ひさしき影を潛めてゐたエロフイルムが春の聲を聞いて再び大連市内に密輸され市内某所でエロ氣分を滿喫してゐるとの情報あり大連署で目下内偵中である

從來エロフイルムはハルビン物で露人をモデルにしたのと上海物で支那人をモデルに撮つたものがその大部分を占めてゐたが今回密輸されたフイルムは純然たる日本物でしかも東京大崎或は京橋管内で下ッ端女優、藝妓女給、ダンサー等をモデルとして製作したもので既に「さむらひ」外三種が各數十本製作され配給ブローカーの手で盛んに全國に賣り捌かれてゐるがその一部が大連に持ち込まれたもので當局ではこれが普及を恐れて徹底的檢擧に努めることゝなつた

なほハルビン、上海物のエロ映畫は依然料亭、待合等で特定の客に公開してゐる事實があり市中に多數散布してゐる模樣でこの機會に内偵し發見の場合は沒收する筈である

最後的取調 寫眞機商組合事件

全滿寫眞機材料商組合長樋口忠七氏にからまる業務妨害事件は、法律的にも又社會問題としても重要性があるので大連署司法係では愼重な態度を以つて取調に當り組合が協定破棄者蜂村洋行こと淺田新之助氏に對して取引停止を通告した大阪市南區長堀橋筋一丁目合資會社小西六商店に對し其の調査のため大阪府島之内警察署に依頼中のところ三日同署司法係から小西六商店支店長代理杉山國二氏の訊問調書及び證據品として組合が發送した取引停止の決議文とが到着した

これによつて樽井警部補は兩三日中に樋口組合長を召喚のうへ最後的取調を行ひ同時に不穩當な組合規約の自發的改正をする模樣である、なほ既報の如く寫眞機商組合と同樣の刑事々件を惹起してゐる全滿蓄音器商組合に對しては寫眞機商組合の取調一段落を待つて嚴重取調に着手する筈である

門鐵從業員 獻納命名式

【門司特電三日發】北風雪を交へて寒氣凛烈たる本日午後一時から門司市老松公園で門鐵二萬の從業員が一萬七千圓を醵出して陸軍に獻納せる愛國一五號裝甲牽引自動車の獻納命名式が擧行された陸相代理大谷十二師團長臨場、後藤門司市長を始め來賓百名、參觀者數千名、式は嚴かに且つ盛大に擧行され午後二時終了、それより裝甲車並に獻納車の鐵條網突破の模擬演習があつた、獻納車は純國産の九二式最新式全裝軌型にして軍用中小型のものに屬し輕快なる速度を以て各種の地形を征服する機動性を有し戰場において戰鬪行爲に使用するの外各種牽引の任務にも服するものである

酌婦の失敗

市内元町五十二番地料理店福政こと小島タマ方では去る二月二日福岡縣福岡市から實松マサエ（二二）並に村上チヨカ（一八）の兩名をそれ／＼前借六百圓三ケ年間の年期契約で抱へることにし、去る二月六日來連したが、着連後二人は病氣と稱していつたまゝ歸らず、遺書も發見したので福政方では逃亡と見込み沙河口署に捜査願ひを出した、ところがいろ／＼と捜してゐたところこの程情夫江口信一（三〇）と市内吉野町百番地柴野善次方に甘い戀の巢を營んでゐたところを探知、直に中屋刑事に捕つた

瀋海線バスの遭難事件詳報

【奉天三日發國通】昨報、瀋海線バスの遭難事件に關しその後判明せる詳報次の如し

昨二日午前八時頃通化發山城鎭行き乘合バスが遇道河子を距る一キロの地點にさしかゝるや匪首賓龍及福龍の率ゐる合流匪約七十名の襲擊を受け警乘の警備員後藤正夫以下十名（内滿人三名）は直にこれに應戰約五十分にしてこれを北方に驅逐した、なほ運轉手田芝君は單身バスを運轉危險を冒して急を通化日本守備隊に報告した、よつて通化守備隊より約一個〇隊山城鎭より警備隊〇〇名三林堡〇〇名直に出動該匪賊を追擊中である

皇道講座 人類愛善會大連支部では今回本部司領井上留五郎先生を聘し滿鐵社員倶樂部で左記の通り講座開催、一般の聽講を歡迎すると

五日午後七時 日本及日本人の大使命
六日同 皇道の大意
七日同 大國難來

日曜講話 三月四日午後二時から本派本願寺關東別院で左の日曜講話がある

警顧 藤田布教使
安心 斯波輪番

けふのスポーツ

◇ラグビー ▼大連滿鐵對大連商業戰午後二時から▼大連倶樂部對南滿電氣戰午後三時十八分から▼大連倶樂部對國際運輸戰午後四時十八分から以上いづれも大連運動場で
◇弓道 ▼關東州弓道會第六十回弓道大會午前九時から武德會道場で

安樂子

林滿鐵總裁は大學教授出身だけに「教育總裁」といはれてゐるが、滿鐵は元來が滿洲經濟の大動脈で教育はその事業の一つに過ぎぬといふ見地からこの綽名をあまり喜ばない。

◇

しかし總裁は性格だけに滿洲の教育に興味を持つてゐることは非常なもので、時々學務課長を呼び出して「その後の教育狀況は？」と聞かれる

◇

三日もあすは上京とあつて忙しい時間を割いて有賀課長の説明を聞いた説明を終つて出て來た有賀課長の曰くが「總裁はいつも詳しくノートを取つて置かれてこの前はこのところまで話を聞いたがその後はどうなつてゐると質ねて來られるのでれ」――とはこの頃の學務課長たるもの油斷が出來ぬわけだ（寫眞は林總裁）

南蠻彩船 (60)

鈴木氏亨作　布施長春畫

曾呂利新左衛門（一）

新左衛門はまた新左衛門で、あれだけいったのだから、この侍も少しは謎が解けたらうと思った。

そして、如何にも困難な仕事だといふ風に、首をかしげて凝と考へこんだ。

その實、腹の中では赤い舌を、べろり、相手の胸中を偵察しながら次の出様を待ってゐた。

「御迷惑のことをお願ひいたしたにかゝはらず、直にお引受け下されて拙者使として有難き仕合せと存じます。ついては、此度御成功下さるやう枉げてお願ひ申す次第ですが……それについては別に何か……」

「いや、別に、これと云って……」

「しかし、いろ〳〵殿中でも、お味方を揃へる必要もあるでせうから、その方のことは、私までお任せ下されば……」

五郎三郎は、こゝまで云つて来て、さて最後の切札をどう出したものか惑った。だが、思ひ切って云つて見よう。もう大丈夫かもしれない——。

「そこで、主人とも、いろ〳〵熟議しました結果、甚だ失禮とは存じましたが、對面の儀御取計らひ下されますれば、千兩……千兩……いゝえ、何も別に、金が御盡力に對する感謝の代辨にはなりませぬが、たゞ、腹の中を打明けて申上ただけて、お禮と云ふものを通貨に換算いたしますれば、或は、それでは濟まされぬことでせうが、たゞ、例を取って申上げたまでで……」

五郎三郎は語尾を濁した。

新左衛門は、占めたッ！と叫びたかったが、ぐつとそれを押へつけて、わざとらしいまでに冷靜を裝ふ態度を見せた。そして、たゞは反り返つたものである。

「そのやうなことは決して御心配御無用と申し上げたいが——たゞ、殿下がお許しになれば、これ千金萬金にも、換へ難いこと、助左衛門殿も名譽、拙者も働き甲斐があつたと云ふもの。これも、もの、譬へて御座いますれば、どうかお氣には惱られず、單に、拙の意中を晦藏なく申上げたまでで御座います。ハイ」

「では、御執り成しが成功して、對面の儀許されますれば、御謝禮として一金一千兩を差上ぐること、御承知下されませうな……」

「いや、それには及びませぬ」

曾呂利は、こゝで一應、斷って見た。

「でも、主人助左衛門が、尊臺が拙宅まで御越しを願ったとして、差上ぐる酒肴の料——と申して居りますので、他になんの意味もないことで御座います」

「と申して、それでは餘りに厚かましく」

「いや、心おきなく承諾下され、有難き仕合に存じます」

山村五郎三郎は押しつけるやうに云ふと、立ち上らうとした。

「しかし、まだ、頂くとも……」

新左衛門、さうは云つて見たものゝ、心では一千兩占めた！と、取らぬ前に咽喉から手が出てゐるのである。

「では、對面の儀萬事よしなに御取計らひ下されたい。又御承諾の儀、主人まで由傳へねばなりませんから、これで御免を蒙ります」

五郎三郎は、懇勤に頭を下げると、急いで立ち上った。

「でも、千兩のこと……」

と、新左衛門は、五郎三郎の申し出を承諾したやうな、また念を押すやうなことを云って、これも立上った。そして、明日こそ太閤に對面して、この千兩の金をせしめてやらうと、滿悦に浸りながら五郎三郎を見送った。

＝滿日俳句募集＝

▲次回課題　春めく、春の雪
句數及び用紙に制限なし
▲投句所　東京市牛込區若松町八二　島田青峰宛
▲締切　三月十日

滿日柳壇課題

◇課題　「春の街」「煙」「小言」
◇締切　三月五日（住所氏名明記）
◇句數　各題五句（各題別紙の事）
◇薄賞　佳吟に薄賞を呈す
◇宛名　本社編輯局川柳係宛

童話 テニスコート

石森延男作
武田一路繪

テニスコートは、ゆつくりと背のびをして、あくびをしました。あたりに生えてゐる楡の葉かげがいつぱいテニスコートの上におちてゐて、そこら中は、みどりつぽくなつてゐました。

二人の女學生が、まつしろな上衣をきて、ネットをもつてやつてきました。

はられたネットの上をゴム毬がはずんでとびました。

女學生は、蝶のやうにあつちにいつたり、こつちにきたりしました。

テニスコートは、青空の中に、白い雲でも仰ぐやうに、この女學生の姿をながめました。

× ×

日がくれました。

夜露がおりてきて、ひえびえしてきて、じんめりとしめりました。楡の葉をとほして、星がかがやいて風がちつともありません、女學生がおきわすれていつたハンカチが、コートのすみにおちてゐました。

まき風が吹いてきて、木の葉がちつてきました。コートの上を、葉つぱたちの群が、くるくるとまはつてはどこかへとんでいきました。眞晝なのに、こほろぎが、なきました。

翅を傷つけたあげはの蝶が、ばたばたとおちてきて、コートの上に眠りました。

× ×

ある朝、目をさましたコートは肌に、霜が降つてゐるのに氣づきました。じーんとしみてくる寒さが、すみからすみまでとほりました。しづかに雪がやつてきました。

× ×

テニスコートは、ちゞまつて息を吐きだしました。白いものがもやもやと上つていきました。

さほいさほいところで獵銃がひびいてきました。つゞいて犬が吠えるのが、木靈してきました。

× ×

コートの上に、水が撒かれました。水はたちまち凍りついて、鏡のやうになりました。

黒い上衣をきた二人の女學生が、スケートをはいて、鏡の上をすべりました。硝子をとほしてみる白い雲のやうに。

月夜は、きらきらとかつて、鏡をきたやうにこわばりました。

もくもくと腹の下をおすものがあります。あたゝかいものでした。テニスコートは、もう春が生れてくると氣づきました。

そしてまもなく鏡がとけはじめました。

ぬれた體を、なまあたゝかい風がかわかしてくれました。

油繪具のチューブから、しぼりだしたやうな若い芽が、テニスコートを柔らかに圍んでくれました。

(上)北極へ北極へ……探檢船は進む　(下)これから使はれる最新式の潜水機

寶探し　地の中・海の中

海水に含まれてゐる金を採れば　世界中の人々が五萬圓の金持に

尋 常四年の國語讀本にコロンブスの卵といふ課がありますね。皆さんはコロンブスといふ人がアメリカ大陸を發見したお話をよく知つてゐますね。今のやうにひらけた世の中に住んで居るものから考へると全くおかしくなつてしまひます。

今 では地球の上で人の役に立つものでは、もう大概のものが知りつくされてしまひました。一年の半分は晝が續くと云ふあの北極や南極も方々の國から探檢隊が何度も出かけていつて、その樣子がよくわかるやうになりました。そんなにどこもこゝもすつかり解つてしまつたら、もう此の世の中には人間の役に立つものを見付け出すことは出來ないのかと云ふと、それは大まちがひです。私達の足の下には直徑一萬二千七百キロメートルもある地球があるではありませんか。この地球の中はまだたつた數尺の下さへ何もよくしらべられてはゐないのです。さうしてその土の中の樣子がどんなであるかといふこともよくわかつてはゐません。

そ れでこれからの寶さがしは何んといつても地中です。人間がまだ掘つて中に這入つて行つてその位の深さまで生きてゐられるものかといへば、約四キロメートルの所までは平氣ですが、四キロメートルは地球の半徑六千三百五十キロメートルに比べると千五百分の一にも足りません。ですから色々の工夫をしてこれからもつと／＼深くまで入つて行くことが出來るやうになれば地の中に深く埋まつてゐて、人間の役に立つ色々の寶がうんと見つけ出されるでせう。それから未だ手をつけられてゐないものには海があります。廣さが三億六千五百五十萬平方キロメートルもあつて平均した深さが三キロメートルもある、世界中の此の廣い海の中には取りつくせない魚や海草のあることは申すまでもありませんが、海の水の中には澤山の金が含まれてゐます。

海 の中にある全體の金は丁度世界中の人に五萬圓づつ分けてやることが出來る程だといひますから大したものではありませんか。

こどもの考へもの　—第八十八回—

積つた春の雪　風は何風　ハテナ、北か南か

朝起きて見ると、町の電信柱や標識柱には、寫眞でごらんになるやうに、雪がドッサリついてゐました。雪が降つてゐるとき、何風が吹いてゐたのでせうか。わかつた方は來る三月十一日までに、大連市東公園町滿洲日報社內「滿日日曜附録係」あてに、ハガキでお答へください。正解者には、いつものやうに二十名に限りご褒美をさしあげます。

第八十六回の答　お船の目盛

第八十六回の考へものは、お船が水中に沈んでゐる程合ひを知る目盛りでした。今度はいつもより、ズッと當つた方が多かつたのですが、籤をひいて次の方々にご褒美をあげることにしました。大連市內の當籤者には新聞社から通知のハガキをあげますから、それと引きかへに本社でご褒美をお受けとりください。沿線の方には直接郵便でお送りいたします。それまでたのしみにおまちなさい。

當籤者

▲公主嶺村越望▲撫順江頭文江▲奉天石川旗男▲鞍山大西富美子▲遼陽山寺公平▲海城根田米夫▲金州芷田實▲旅順芳井敬一▲大連伊藤博重▲同森恭子▲同風呂崎セイコ▲同山崎齋▲同上進▲同森イシ子▲同今津始▲同吉田元子▲同立山峰子▲同青木敏子▲同花田博喜▲同上田はり子

クレヨン デ ヌルヱ

タッタ一つの日傘やさん

日傘をつくりだすのは日本だけだなんてひとりよがりをしてゐたら大まちがひです。こんどアメリカのクリバランドといふ所のヘルバーといふ六十一になるおぢいさんがさかんにつくり出しました。一本二十銭といふので、それがとぶやうに賣れてゐるさうです。ところが生れてまだ一年二ケ月にしかならないこの人の子供も、一生懸命にお父さんのお手傳ひしてゐるといふのです。

アメリカの雪だるま

雪がつもると、私たちはまづ第一に雪だるまをつくるのが何よりのたのしみですそれは日本ばかりではありません。アメリカあたりでもやはり同じです。アメリカのロサンゼルスでは冬になると、ふり積つた雪の上でさかんなカーニバルといふおまつりをします。その時はきまつたやうに雪だるまをつくります。「所かはれば品かはる」と言ひますが、あちらの雪だるまは、日本のとはまるでかつこうがかはつてゐて、手も足もチヤンとあるものなのです。

フウキン ガ オスキ

マダ 二ツ デスガ、ガツキ テナラスノガ、オヤツ ヨリモ スキダ ト イフ ノガ コノ オヂヤウチヤン デス。フウキン ニ カケテハ オトナ ヨリモ ジヤウズ ダ ト イフカラ オドロクデハ アリマセンカ。イツモ ジブン ノ カラダヨリモ、オホキナ フウキン テバナシタ コト ガ ナイ ト イフノデス。コンド ニユーヨーク ノ オンガククワイ デ オトクイ ノ トコロ テ ヤツテ ミセル サウデス。

逃げることを知らぬ ドイツの騎兵隊

歯をむき出したいか〳〵しいしやれこうべと太ももの骨を交へたすごい徽章を帽子につけ、同じ印の旗を先頭に勇ましく進んで行つて退却することを知らないドイツの騎兵隊、戦争の時は死んでも後へ引かないといふことを合ひ言葉にしてゐます。

女聖人のおまつり ローマ法王様

ローマ法王ピウス十一世は、こんど聖人とよばれる人をきめておまつりしました。その聖人といふのは、今から百五十年ほど前、多くの人々の病氣をなほしたり、學問を教へたりして、一生を世の人のためにさゝげたギボンナ・アンライダ・ソーレットといふ女の人なのです。この寫眞はバチカンの町の有名な聖ペテロ寺院でおごそかに行はれたその時の式の有様です。

珍らしい印刷機械

ドイツのマインツといふ博物館にはこの寫眞で見るやうな昔式の印刷機械がかざられてゐます。これは今から五百年ほど前グーテンベルヒといふ所で、はじめて使はれたもので、第一番にこの機械ですられたものはキリスト教の聖書なのです。こゝにひろげてあるのはその時の聖書です。

ファインダーをのぞいて 春を拾ふ

蘭薫る

窓下の娘貧しきに囀れり

春愁や檻に轉がる菓子一つ

春めくや友呼ぶ聲の朗かに

目貼り剥ぐ南の縁や友來る

手も足も伸びし子供や園の春

ナンセンス物語

ギャング退治珍案

濱田邦輔作　武田伊知呂畫

【一】

「あゝ愉快々々、實に愉快、何とも愉快、いや實に愉快でたまらない!」
と鰹井滑雄君が玄關から大聲で言ひながら、飛込んで來た勢ひで、そこへ何事が起つたのかと、眼を圓くしてあたふた出て來た妻君を捕へ、いきなりフォックストロットを踊りながら、廣くもない書齋へ這入つて行つた。
「まあ、あなたは氣でも狂つたんですか、いきなりあたしをつかまへて、ブンブン振り廻して、眼が廻るぢやありませんか、あたしは普通の身體でない事を、あなたは忘れたんですか」
「あつ、いけない、さうだつたつけ」
「さうだつたつけぢやありませんよ。御覽なさい、斯んなに動悸が高くなつたぢやありませんか」
「謝る謝る、ツイ愉快なことがあつたもんでから、スッカリ亢奮して了つて、いや、決してその、惡氣でやつた譯ぢやないんだ。抑々夫婦は苦樂を共にすべきものであるといふことは、君が常に口癖のやうに言つて、僕の耳にはたこが出來てゐる事柄であることは、君は決して否定しないであらう」
「そんな事、當然過ぎる當然ぢやありませんか」
「その當然過ぎる當然であるが故にこそだ、僕は今夜の愉快を君に分つべき義務があると思つて、五十錢のタキシーを四十錢に値切つて、一分間でも早く我が家の玄關に辿りつかんものと……」
「口先ばかりで誤魔化さうとしたつて、ちやんと分つてゐるから駄目です。あなたは內證でダンスホールへ行つて、散々踊つて、一人で愉快になつて、家へ歸つて來て肩で息してゐる私の顏を見ると、急に良心が咎めたから、踊つたり喋舌つたり、照れ隱しばかりしてゐるのでせう」
「待ちたまへ待ちたまへ、如何に女性はデリケートな神經の所有者であるからと言つてさうまで神經過敏になつてくれては困るぢやないか」
「神經過敏になるやうには、一體誰がしたのです。お醫者樣は何と言ひました?兎角婦人は姙娠中は無暗と神經過敏になり、物事に亢奮し易いから、夫たる者は十分に注意をして、姙婦の神經を昂ぶらせないやうに、毎日の出勤歸宅は最も時間を正確に、特に少しでも歸宅の時間が遅れるといふことは姙婦に取つては堪へられないことであるから、その點は大いに注意しないと、どんな不慮の大事が起るかも知れないと、あんなにまで注意されてゐるぢやありませんか。それだのにあなたはもう一體幾時になると思ふのです。九時を二十分も過ぎてゐますよ。會社を五時に退けて六時、七時、八時、九時、四時間と二十分經つてゐるぢやありませんか、四時間もダンスホールに踊つてゐたら、チッケットは何十枚、いや何百枚も買つたでせう。一枚二十錢、百枚で二十圓、二百枚で四十圓、三百枚で六十圓、四百枚で八十圓、さ、月給袋を見せて御覽なさい、九十五圓の月給で、積立金とお辨當代を差引かれても、八十圓は無ければならないのですから……」
「おいおい、息もつかないで、よくもそんなに雄辯が發揮出來たもんだな。君の雄辯には平素から相當に敬意と遠慮を拂つてゐるのだが、今晩の大雄辯に至つては、結婚して以來十一ケ月、將に第二世が三ケ月後に生れんとする今日に至るまで、未だ曾て聞いたことのない大雄辯だ。所で君は何を證據に、僕が內證でダンスホールへ行つてチッケットを二百枚も、三百枚も買つたと斷定するのかは知らないが……」
「あなたが狂氣じみたはしやぎ方をするからです」
「さ、そこだ、僕が狂氣じみたはしやぎ方をしたからと言つて、それを以て直にダンスホールで二三百回續けさまに踊つたといふ結論は、生れて來ないぢやないか。いや、若しそんな無茶な歡樂に耽溺したとして見たまへ、所謂歡樂盡きて哀愁だ、ホールを出る時からスッカリ憂うつになつて、決して狂氣じみたはしやぎ方など出來るものではない、兎に角まあ君の命令を遵奉して、月給袋を見せることにする、さ、檢査してくれたまへ、果して幾何がダンスホールのチケットとなつて消え去つたか」
鰹井君は頗ぶるムッとなつて上衣の內ポケットから月給袋を取り出した。妻君もソロソロ神經の亢奮が鎭まりかけてゐるので、多少きまり惡げに、それでもまだスッカリ不安が拭ひ去られたわけではないから、或る程度の權利の自覺のもとに、月給袋を檢めて見て、
「あら!」
「十圓殘つてゐるかい、二十圓殘つてゐるかい」
「ちやんと八十圓あるわ」
「ちやんと八十圓あることが、君には、あら!といふ驚歎に値する現象なのかい」
「だつて……」
「まあいゝ、それでダンスホール行きの冤罪だけは晴れたわけだ。そしてそれだけ君の神經の亢奮は鎭靜出來たわけだし」
「あたし、どうしてあんなに氣を廻したんでせう!全く自分でも分らないわ。あんた憤つて?堪忍してね!」
「いや別に憤りはしない。僕としてはまだもう一つ君の前に、あかしを立てなければならない事柄が殘つてゐる。それは四時間と二十分歸宅が遅れたことについてだ」
「もういゝわ。あたしが惡かつたわ」
「いや、君が惡いのでも何でもない。併し僕もう何だか張合がなくなつちまつた。君に話をすれば、どんなに朗かに笑ふだらう、どんなに胎兒によき刺戟を與へるだらうと、本當に樂しみにして歸つて來たんだけど……」
「ですから、あたしが惡かつたと謝つてるぢやありませんか、ね、あなた、憤つちやいや!」
そこで鰹井君が心を取直し、元氣を恢ひ起して、彼れの所謂愉快で愉快でたまらなかつた今日の出來事について語り出した。

【二】

話は今日の晝飯時、會社の喫煙室の雑談から始まる。鰹井君を中心に、氣の合つたのが五六人一團となつてゐた。
「ね、鰹井君、君は近頃一切銀ブラをやらなくなつたからいゝが、今日なんかポケットには月給袋が入つてるし、久しぶりだなどといふので、フラフラとなつて出掛けたりしない方がいゝぜ」
と中が忠告ともからかいともつかない調子で言つた。
「なぜ、急にそんな事を言ひ出すんだい」
「いや、實はね、昨夜或所で聞いた話なんだが、三江物産の或る社員が銀ブラをやつてゐて、迚も凄いギャングにやられたんだ、丁度その日は月給日で、上衣の內ポケットが月給袋で膨らんでたから助からないさ。そつくりそのまゝ持つて行かれちやつて……」
「なんて、だらしが無いんだらうなア」
鰹井君は思はず吐き出すやうに言つた。
「そりやだらしも無かつたらうけれど、併し君、薄暗い横丁で、脇腹へブローニングの銃口を當てられて見たまへな、月給袋位眼をつぶつて持つて行かせる氣にならうぢやないか」
「だから、それがだらしがないといふんだ。大體ギャングだつて、無闇に人を射殺するのが目的ぢやないんだから、ブローニングを當てられたつて、必ずしも引金を引かれるものときまつてゐないんだ、だから、そこには何とか臨機の策があらうと思ふんだがね」
「これは君第三者の云ふことで、實際は誰だつて突嗟には、思案も浮ばないのが本當ぢやあるまいか。現にその被害なんかも、ギャングが行きかけに、甚だお粗末だが君にこれを進呈すると云つて太い葉卷を一本呉れたさうだ、ギャングが葉卷を呉れた、どうも變だなと思つて、心が鎭まつてからよくよく考へると、どうも最前脇腹へ押し當てられたブローニングの銃口といふのが、その太い葉卷のやうな恰好をしてゐたといふんだ」
「チエッ、葉卷がブローニングに見えるんぢや世話はないや」
話はそれから米國のギャングの物凄いことなどに移つたが、兎に角帝都の眞中で、月給日の會社員の月給袋がギャングに狙はれるなんどは、模範的警察制度を有する日本帝國の恥辱である、それといふのも、要するに吾人に度胸がなく勇氣がなく、平素の心構へが出來てゐないからである。
「ひとつ吾一同でギャング退治をやらうではないか」と鰹井君が發議した。
「ギャング退治?」
一同眼を圓くした。
「それ、それだからギャングが跋扈するんだ、僕に名案があるから、今晩早速實行しよう」
と鰹井君は、その名案なるものを詳しく説明した。
「成るほど、それなら吾々自身には何等の危險がなく、うまくギャング退治が出來さうだ」
相談が一決したので、會社が引けると、鰹井君は一同を喫煙室に待たせておいて、何れかへ姿を消した。凡そ二時間ばかりして、彼れはバスケットに何物かを入れて歸つて來た。
「さ諸君、さつき説明した通り用意してくれたまへ。本當の月給は別な封筒に入れて、ワイシヤツの內側へ、サル又の邊へ落ちないやうに仕舞ひ込んでおくんだよ」
そして月給袋には、適當な古新聞紙を切つて入れ、それを上衣の內ポケットへ仕舞ひ込み、何は鰹井君がバスケットから取出したものを、各自其の上から押込んでボタンを掛けた。
「何だか變にムヅムヅするね。ポケットが破れやしないかな」
「大丈夫だよ。餘り其處を氣にしない方がいゝぜ」
一同は勇んで銀ブラに出掛けた。其所等で簡單に空腹だけを滿たして、別れ別れになつてショウ・ウヰンドなどを覗きながら歩いた。鰹井君が不圖背後を見ると、確にギャングらしいのが、鳥打帽を[illegible]な風にかぶつて、つかず離れずといふ態度でやつて來る。
「は、ア、お出でなすつたな、よし、こゝらで薄暗い横町へ切れてやらう」
と何喰はぬ顔をして横町へ曲り太い電柱の蔭で、立小便でもしさうな樣子をすると、ツカツカとやつて來た鳥打帽、いきなり鰹井君の横ッ腹へピストルを突きつけた。
「聲を立てると、引金を引くぞ」
鰹井君はピストルをまじまじと見た。どうも玩具のピストルらしい。
「手を上げろッ」
「ホールダップかね」
「分つてるぢやねえか、月給袋を貰つてやるんだ」
「貰つて誰にやるんですか」
「俺が貰つてやるんだ」
「上衣の內ポケットに這入つてます。だけどそれを持つてかれると僕困るんだがなア」
「何言つてやがるんでえ」
ギャングは左手で鰹井君の上衣の內ポケットのボタンを外し、グッと指先を突込んだが、ゴチヤゴチヤ色々な物が入つてゐるので、ゴソゴソやつてゐた。
「あッ、痛ッ、たッ、、、」
悲鳴を上げて引出したギャングの指先には、月給袋の代りに、大きな鋏を持つた紅蟹がブラ下つてゐた。手を振りながらギャングは逃げて行く。振れば振るほど強く鋏むのが蟹の習性である。
忽ち彌次馬が追つかけて、ギャングは袋叩き。
「悲鳴を聞いた時の愉快さつたら、僕はこれを君に話して、共に愉快を分たうと思つて、大急ぎで歸つて來たんぢやないか」
「まあ!」
……をはり……

一年前の回顧

學良の手先を發見（三月四日）

滿洲國攪亂の重大使命を持つた張學良の手先は今迄も度々滿洲に忍び込んで來たが、またまた嚴重な警戒を怠らない大連で、四日午後十時頃、奧町派出所員補野巡査が支那宿の臨檢を行つたところ擧動の怪しい支那人四名が投宿してゐることが判つたので嚴重に取調べた結果、學良から或る重大な使命を負はされて來たものであることを自白しました。

凍傷の我勇士凱旋（同五日）

熱河討伐中凌源攻撃に參加中、不幸凍傷に罹つた四十名の勇士は五日午前九時十分の列車で旅順着、衛戍病院に收容されました。又北滿熱河方面の戰ひで名譽の戰傷を負つたり不幸從軍中病氣に冒されたもの百六十名は八時四十分着の列車で大連につきました。旅順大連とも官民、學生、婦人團等の感激の出迎へがありました。

罹災者に御下賜金（同六日）

三陸地方の大震災に對し秩父、高松兩宮殿下を始め奉り各皇族殿下におかせられては痛く御同情遊ばされ、一道三縣の罹災者に御救恤並に御慰問の思召で金一封を御下賜遊ばさるゝことになりました。

學良軍用車積込船（同七日）

張學良の軍用トラック百臺はフォード會社神奈川工場でつくりましたが、之を積み込んだ問題の大同海運チャーター春丸が七日早朝大連に入港しましたが日本船員達は敵軍學良の御用を知らずにつとめさせられたといきり立ち、中島火夫長は下級船員を代表し「我々はさうと解つたら斷然日本海員として態度を決定する」と同船で火のやうな熱辯を揮ひました。

要害古北口陷る（同八日）

長瀬先遣部隊は灤平を發してから強行軍を續け猛進又猛進、飛行機の掩護の下に敵を急追し乍ら一路古北口めがけて殺到し、八日の早朝から空陸協同して敵に猛撃を加へ、遮二無二突進したので、午後二時七分遂に熱河から北平までの咽喉にあたり長城の最難關である古北口を占領しました。

米緊急金融案上程（同九日）

米國に起つた未曾有の金融恐慌は世界の經濟界に大きな波紋を描き、米國の銀行は大部分休業の狀態に置かれてゐましたが、米國では此の對策を決定する爲め第七十三回特別議會を開催しました。それによつて大統領から提出された緊急金融對策は即日議會を通過し十日から各銀行が一齊開業することになりました。

アメリカの大地震（同十日）

アメリカのカリフォルニアの南方に午後五時五十分と同六時六分同六時十分の三回に亘り激震がありました。地震は火災を伴ひ被害は非常にひどいものでした、火災や下敷となつて死んだものは二百名餘、負傷者は千五百名餘もあり、市內の電燈は全部消滅し、下町方面の建物と云ふ建物は全く崩壞してしまひました。

窓に罪ありてさア　佐方幸あがく

ボクンチノパパ　矢崎茂四

戊年ゆえに　鈴木そのえ

今週ノ献立　中山利子

	朝	晝	晩
日	トースト ハムエッグ 紅茶、果物	五目すし かまぼこと新菊の漬汁	蛤の汐汁 まぐろ刺身 木の芽田樂
月	豆腐の味噌汁 燒海苔	ソーセーヂ らつ京	魚のフライ ロールキャベツ もやし胡麻酢
火	若布の味噌汁 金山寺	牛肉の味噌漬 大根なます	鯛の吸物 うど、くわい、八つ頭、いかのうま煮 ほうれんそうしたし
水	大根の味噌汁 鮒甘露煮	燒豆腐と蓮の煮つけ	かきのスープ パン、コーンビーフ 野菜サラダ
木	卵の花汁 煮豆	鯖すし とろゝ昆布清汁	すき燒 赤貝三杯酢
金	しゞみの味噌汁 鹽昆布	燒豚 刻みキャベツ	比目魚さしみ 筍と鶏のそぼろ汁 かきの土手燒
土	サツマ汁 小魚あちやら	ホットケーキ 牛乳、果物	よせ鍋 いかの木の芽和へ

滿洲日報
三月三日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

査問會決定と同時に 文相けふ正式に辭任
首相の兼攝親任式午後

【東京特電三日發】鳩山文相の正式辭任は三日午後査問委員會の決定と同時に行はるゝ筈で首相の文相兼攝の親任式は即日行はれる模樣である

【東京三日發國通至急報】鳩山文相は只今辭表を提出した（午前十時二十分發）

【東京三日發國通至急報】後任文相は首相兼攝に決し午後親任式を行はせらるゝこととなつた

【東京三日發國通至急報】鳩山文相は今朝九時四十五分官邸に齋藤首相を訪問本日午後辭表捧呈の最後の決意を述べた

【東京三日發國通】鳩山文相は正式辭表提出前齋藤首相と會見し目下の政友會黨內事情を詳細報告說明し後任閣僚詮衡の參考に資すると共に黨と政府との今後の關係につき懇談し諒解を求めた、（寫眞は鳩山文相）

【東京三日發國通】鳩山文相の正式辭任と共に齋藤首相は文相を兼攝することゝなつたが、右親任式は左の如く三日午後四時若しくは五時頃行はれる豫定である

内閣總理大臣正二位勳一等功二級子爵　齋藤　實
兼任文部大臣

依願免本官
文部大臣　鳩山一郎

査問委員會の決議 けふ本會議上程は未定

【東京特電三日發】鳩山文相を辭任せしむるに至つた衆議院の査問委員會は三日午後一時から最後の會議を開き討論をなすこととなつたが、政友會と民政黨とはその見解は遂に一致を見ず兩黨互に獨自の立場でこれに臨み、結局政友會の見解が委員會の決議となる譯であるが、直にこの日の本會議に上程さるゝや否やはなほ不明の情勢である

政民兩黨の安協一致 査問會報告書

【東京三日發國通】衆議院調査委員會の報告書內容については政民兩黨派の間に意見の一致を缺いたために調査委員會は三日に延期せらるゝに至つたが、報告書の內容中最も問題となつてゐるのは鳩山文相が證據湮滅を岡本氏に依頼したや否やの點にあるが、右に對し民政側は鳩山文相が藤田某より五萬圓を收受したる事實ありとせば岡本氏に證據湮滅を依頼せる疑ひが充分ありとの認定を下し、その意味を報告書の內容にせんとしてゐるのであるが、之に對し政友會は鳩山文相が友人關係にて藤田某より金錢を受けとりたるは事實であるが、岡本氏に證據湮滅を依頼したとの事實は岡本氏の査問委員會で述べたる事實によつては事實無根と判斷するより他なしとなし民政黨の說に反對してをり二日院內において政民幹部が交渉したる結果、民政黨の空氣も餘程緩和されたので結局同問題は

鳩山文相は友人關係により藤田某より金錢を收受したる事實あるも、岡本氏に對し證據湮滅を依頼したる事は認め難し

といふ意味において安協がなり、その結果三日中に査問委員會で討論を行ひ報告書を決定直に本會議に緊急上程する事とならう

新京の地方賜餐

（三日特別市政公署における壇上は挨拶中の金市長）

議會直後にも總辭職には及ばぬ
三長老閣僚の意見

【東京三日發國通】齋藤、高橋、山本三長老閣僚は既報の通り協議の結果、鳩山文相の單獨辭職後後任補充は直に行はず、暫時首相の兼攝となし議會を切抜ける事に決定し、議會後に三長老閣僚間で齋藤內閣の出處進退を決する事に決定してゐたが、その後貴衆兩院における情勢を見るに、大勢は必ずしも齋藤內閣の打倒を目的とせざる事が觀取されるのみか、政友、民政の主流はやゝ自重的態度に轉向した觀あり、政府首腦部も最近に至つて著るしく態度を改めて腰を据ゑ今議會を豫定通り突破しても議會直後に總辭職をするやうなこともなく、文相の補充を行ひ議會で協贊を經た豫算其他法律の公布施行の手續をすませる迄は輕々に進退を決せざる事に傾きつゝある

貴院研究會方面は現內閣を支持せん
上京を前に 林滿鐵總裁談

鳩山文相が辭表を提出した、スローモーションの齋藤內閣も今度こそはどうやら息遣ひが荒くなつた中央の政界に異變があれば滿洲の形勢も只事でなくなる——その慌たゞしい雲行きの中に、林滿鐵總裁は二日新京より歸連する匆々四日朝のばいかる丸で上京する事となつた、一方八田副總裁も五日新京發、京圖線から朝鮮を經由して上京する、十河理事も三日朝發奉山線經由北支視察に向つたが、或は視察終了後直に上京することになるかも知れぬと傳へられる、あれやこれやと巨頭連の動きも繁くなつた中に、次期內閣に林總裁が文部大臣として入閣するんだとか、春近いだけに賑やかな噂がしきりに立つ、話題の人、林總裁は上京を前にして三日正午滿鐵記者團と會見したが、話は早速中央政界の問題——

問　鳩山文相が辭表を出して內閣もどうやら危くなりましたな

答　滿洲に居ると一向に樣子がわからんでね、今度も齒の入れ替へで押し通すかそれとも內閣を投げ出すか、しかし齋藤さんといふ人は粘りの強い人ですからね

問　總裁の見透しはどうです

答　判らん、たゞ貴族院の研究會方面では現內閣を支持するでせう

問　宇垣內閣が出來ると總裁も入閣されるとの噂がありますが

答　飛んでもない、誰がそんな噂を持ち廻つたのかね、實は今度の上京は陸路にするつもりだつたが人の噂さがうるさいからお臍でばいかる丸で明日上京することにしたよ

と如何にも迷惑さう、それから記者の問にまかせて更に次のごとく語つた

今度の上京は議會に出席するのと明年度事業について更に政府と打合せを遂げるためで今月一杯は在京する豫定である、九年度豫算も拓務省を通過して大藏省に移つて居り折角竹中理事が行つて說明に當つて居るから近く通過すると思はれるが、八田副總裁も上京されるから更に說明をされやう、何分大きな豫算だが滿鐵にはそれだけ仕事がふえたわけだから當然の事である、銀行團とはこの前上京した時に十分話合ひをして來たが會社の業績はよくなつて居るのだから當分資金には困らぬわけだ第二次拂込は五千四百萬圓を徴收することになつて居る、期日は未定だ、炭礦會社と採金會社は近く設立を見るが、兩會社とも餘程うまくやらぬと却々困難な事業である、炭礦會社に滿鐵から入る人の選定はまだ決つてゐない、とにかく滿洲國も帝政が實施されて國礎が鞏固になり世界各國に承認の機運が動いて來たことは慶賀すべき事で滿洲はいよいよこれからといふところである

喪の凱旋
四日午前七時着連 同十時ばいかる丸で

萬國赤十字社國際大會
今秋東京に開催

【東京三日發國通】萬國赤十字社國際大會は今秋東京において開催される豫定で、日本赤十字社では着々準備を進めてゐるが、開會期日は大體十月十九日より二十九日までと決定、出席者は赤十字條約加盟五十餘ケ國の各政府代表、各赤十字社代表等內外四百名に達する豫定で議題は一九二九年の赤十字條約批准の狀態及び國際法律と同條約との調和、敵の領土又は敵の占有する領土における非軍人の運命に關する條約等頗る廣範圍に亘る模樣である

群臣を召されて新皇帝勅語を賜ふ
けふ晴れの第二饗宴

【新京特電三日發】晴れの第二饗宴は三日正午より宮中勤民樓に設へられた饗宴場において行はせられ、この日御召の

光榮に　預る鄭國務總理大臣以下各部大臣、參議府議長張景惠氏以下各參議、國務院總務廳長遠藤柳作氏、國務院顧問宇佐美勝夫氏、監察院長羅振玉氏、立法院長趙欣伯氏等滿洲國特任官並びにこれに準ずる者日滿人百四十餘名、この日午前十一時頃より春陽を浴びて光榮に浴すべく御召しに揃つた一同は續々參內、興運門を潜り南大門を潜る、これら滿洲國大官連の面貌は輝かしく歡喜に滿ちてゐる、何れも滿洲國の式服たる黑の上衣、藍色の長袍をうがち、黑布製の半長靴で、參內と共に勤民樓承光門を潜り隈なく敷き詰められた絨毯の廊下を通り入口右側の休憩室に小憩、直に樓上への段階を滅つて階上に參入し謹んで

陛下の　御成りを御待ち申上げる、かくて正午陛下には龍袍絨袟の外御飾しく大禮官許寶衍氏の先導、侍從武官長張海鵬上將、侍衛官工藤忠氏その他扈從者を從へさせられ參列諸員最敬禮の裡に御臨場、宴席正面の玉座につかせ給ふ、この日の御饗宴場を拝するに壁は金泥塗上げとし床には唐草模樣の毛氈を敷詰め天井より華麗なるシャンデリヤが吊るされ、宴席上にも外飾燈がかゝげられ、絢爛目をうばふばかり、なほ正面玉座背後には一點の曇りも止めぬ大鏡が飾られ自ら嚴肅の氣が漲る、一方饗宴參列席は玉座を前に凹字形に列べられ卓上には白布を以て包まれし折詰二包と蘭花御紋章入り御菓子一箱が置かれてある、やがて陛下には玉音いとも朗々と

勅語を　給ひ、これに對し鄭國務總理大臣は光榮の參列者一同を代表して賀詞を奉答すれば天機麗しく御嘉納あらせられ、かくて引續き饗宴は開かれたが、軍樂隊の奏する妙なる樂の音と共に和平祝福の氣は場外に溢れかくて午後零時二十分宴は閉ぢられそれぞれ退下した

勅語

【新京特電三日發】三日陛下より饗宴に召された百官に賜へる勅語左の如し

朕權ニ國政ヲ執リ茲ニ二年、文武百官ノ贊襄輔弼ニ之レ頼リ、今更ニ上、天眷ヲ迎ヘテ國基ヲ奠定ス、惟後建設萬端務メ繁ク責重シ、尤モ富ニ上下一心夙夜交々儆シ、荒スルナク怠スルナク以テ我カ國家無疆ノ休ヲ保タンコトヲ厚望ス（日本譯）

總理の奉答辭

今日厚恩ヲ蒙リ賜宴ヲ辱フシ天語諄々命スルニ交儆ヲ以テセラレ臣等感激ニ勝ヘス竊ニ案スルニ易經ニ曰ク天尊ク地卑シク君臣定ル矣大學ニ曰ク止ルコトヲ知リ而シテ後定ルコト定テ而シテ後能ク靜ナリ孟子曰ク天下惡ンカ定ル一ニ定ルト今政體既ニ定リ統ヲ萬世ニ垂レ惟レヲ無窮ニ傳フ願ハ我カ皇上德ヲ修メ下ヲ率キ終ヲ愼ムコト始ノ如ク以テ民望ニ酬イ給ハンコトヲ臣等恩ヲ受クルコト深重ナリ敢テ力ヲ戮セ心ヲ同ウシ以テ萬一ヲ報イマツラサランヤ

奉天地方賜餐 第二日

【奉天特電三日發】大典祝賀の大提灯行列で明けた三日の奉天は午前十一時から二日と同樣省公署、總務廳、警務廳、民政廳で地方賜餐の宴あり、韋教育廳長は省長代理として賜餐宴に對する祝辭を述べ、皇帝陛下の萬歲を三唱して十二時和氣裡に散會したが、市中は二日に變らぬ奉祝氣分歡喜の色が漲うてゐる

日本の行動公明
滿洲國帝制實施に關する上海英字紙の批評

【上海二日發國通】滿洲國帝制實施につき二日のノースチャイナ・デイリニウス紙は長文の論說を掲載、先づ帝制實施に至る經緯を述べたる後

帝制の實現は日本の力添へありたることは明かであるが、今回の溥儀執政の即位により特に歡喜すべしと思はれるものは近時支那と次第に隔離狀態にある蒙古王族である、今回の帝制實施により日本は事變以來不可能事を實現して日本の滿洲における特殊權益と生命線とを確保したことも事實である、最近の日本の支那における行動の賢明なることは大いに喜ばしいことで明かに東京南京間には著しい外交好轉が行はれつゝある、新帝に關しては我々及び曾ての臣下であつた支那人はとかくの批評を差控へるべきである、たゞ何物がこの新帝國を實現したものであるにせよこの機に際しては我々は陛下にその將來の繁榮をお祝ひ申上げる譯だ、滿洲國における日本の行動の長所は、即ちのその生活に波瀾を極められた新帝の國に秩序と嚴肅なる政府を實現させたことにある、何れにせよ新帝は新帝の臣民に對し此等の利益を與へられたものであり、人民から充分信頼を得られる資格あるものと思はれる

と說いてゐる

鐵道部の警備費
九年度は五十六萬圓

滿鐵々道部では昭和八年度の鐵道防護に關しては高粱繁茂期以前に完全な方策を講じたゝめ豫期以上の好成績を收めたので、九年度においても更に警備の充實について充分の注意を拂ふこととなり、さきに決定を見た愛護村の助長方法以外に九年度鐵道警備費として豫算五十六萬圓を決定これによつて現在の警備員二百名はそのまゝ明年度に持越しこの外密偵の配置防護設備の補修等を遲くとも四月中に完了することゝなつた

小學校委任經營條件
滿鐵側の主張

滿鐵では外務省からの希望により外務省經營になる在滿日本人小學校の委任經營を原則的に承認し四月一日から滿鐵の手で經營することになつてゐたが、滿鐵地方部ではこの本委任經營に關して相當重要な條件を提出してゐる、即ち

一、滿鐵が委任經營すべき學校は滿鐵委任經營になる國線沿線および北滿鐵路沿線の學校に限りそれ以外は手を伸ばし兼ねる

一、學校は依然居留民會經營の形をとり外務省が補助してゐる金額および居留民會負擔の金額は現狀の通りで滿鐵は單に委託を受けるのみとする

一、敎員は全部滿鐵の敎員とする

の三ケ條の條件を强硬に保持しこの點に關し外務省側の根本的了解が未了のため近く山西理事または中西地方部長が新京に赴き駐滿大使館當局と協議最後的決定をなすこととなつたが、大使館側がこれ等の條件を全部承認するか否かはなほ疑問視され今後の成行を注目されてゐる

十河滿鐵理事
北支視察に出發

十河滿鐵理事は昨年來支那視察の希望を有しながら事務多忙のため延期してゐたが小閑を得たので內海幹事ほか總調員二名を伴ひ三日朝大連發列車にて奉天より奉山線經由北支視察に赴いた豫定は約二週間の筈

滿鐵辭令（三日）

總務部資料課情報係主任　事務員　太宰松三郎
承德在勤を命ず
承德在勤同　河野　正直
在勤を免ず（總務部付）
資料課事務囑託　松本　豐三
情報係主任事務を囑託す

經理部庶務主任　參事　由良鐵太郎
願に依り本職を免ず（鞍山不動產信託會社專務に轉勤）
經理部事務員　堀　正巳
庶務係主任心得を命ず

あめりか丸
四日午前八時三十分大連港外着豫定

人事

▲林博太郎氏（滿鐵總裁）三日午前七時着列車で歸連
▲西脇豐造氏（滿鐵秘書）同上
▲枝原百合一氏（旅順要港部司令官）同上
▲粕田五郎氏（陸軍主務官）同上來連
▲青村中佐（關東軍司令部附）同上
▲十河信二氏（滿鐵理事）三日午前九時發列車で新京へ
▲江崎重吉氏（大連鐵道事務所長）同列車で瓦房店へ
▲鈴木大佐（關東軍司令部附）同列車で奉天へ
▲セー・シー・ヴィンセット氏（大連駐在米國領事）三日出帆大連丸で離連
▲鈴木格三郎氏（青島商議會頭）同上

蛇角

◇ 明鏡止水文相、遂に辭職。
◇ 蓋し政界の現狀、明鏡止水ならざる證左である。
◇ 岡本問題で政民の一致、一致せざれば一層ボロが出る。
◇ 醫は「仁術」と思つたら、醫は「營利」だつた、悲しい事實。
◇ 同じ赤でも思想の赤……、至誠の赤がよい。
◇ 遂に轉向した河村某も、等しく日本人である事を認め度い。
◇ 魚眼レンズ子、博士共（主?）犯說を擲欠る、皮肉々々。
◇ 南面の雪は消えたり山笑ふ。

號外發行

鳩山文相辭任に關し三日朝號外を發行しました

生活の虹（61）
菊池寬作　志村立美畫

死床の願ひ（四）

「それぢや、どうぞ、よく考へて下さい。わしは會つたことはないが相當な美人ぢやと云ふぢやありませんか」

老子爵は、普通の仲人とは比較にならぬほどに熱心だつた。

「はあ!」

子爵は、くすぐつたさうに答へた。

「とにかく、近い內に、お見舞ひ旁々、お父さんのところへも、お願ひに出ようと思つてゐるが、……」

と、水町子爵はいひつゞけた。

自分が嫌といつたら、父から攻め落さうといふ相手のしつこさを感じたので、子爵はすつかり憂鬱になつてゐた。

おしまひに（今度子爵議員の補缺選擧があつたら、第一に貴君を推しませう）と、云ふ嬉しがらせを、聞かされて、子爵は水町子爵と別れた。

何となく重くるしい氣持だつた。自分が歸つたら、重病の床にある父までも、煩はすのではないかと思ふと、いやだつた。

子爵の父は、四五日來めつきり寒くなつた氣候がこたへたのか、容態がひどくわるくなつてゐた。食餌がだんだんとされなくなり、心臟の機能が一日一日衰へて來た。

だから、子爵はいつも、外出先で所在がかはると、家に電話をかけて置くのであつた。

その日も、家へ歸ると、家事一切を委してある老女中のきさに「お父さまは、どう?」と、最先に訊いた。

「別にお變りはございませんが。夜に入つてから、二三度（邦男はまだ歸らぬか）と、お訊きになりましたので（御用なら、お電話致しませうか）と、申し上げますと（それには及ばないが）と、おつしやつてゐました」

「さうか。そんな事は、いつもはおつしやらない事だらう」

「はあ。いく度も、おつしやる事は、今迄にございませんでした」

子爵は、外套だけを脫ぐと、そのまゝ、父の病室へ急いだ。心中可なり不安を感じてゐた。

離れの日本間に、ベッドを置いて、その上に父は橫はつてゐた。緣には、父の好きな盆栽がいくつも置かれてゐた。看護婦が交替に一人づゝ附き添つてゐた。

「お休み?」

子爵は、そつと附添の看護婦に訊いた。

「いゝえ。おめざめでございます」

と答へた。

子爵は、父のベッドの側に寄ると

「お父さま、如何でございますか?」

と云つてきいた。垂るんでしまつてゐる瞼を開けるにも、可なり力が入るやうだ。

「邦男か……別に、變りはないが」

「何か御用があつたのではありませんか」

「うむ。實は、お前に頼みたい事があつてね……」

父は、かすかな弱々しい聲でいつた。

日滿提携成る

運動見事奏功して 遂に意見一致

固く手を握り同一歩調で 滿洲國參加へ邁進

【東京特電三日發】滿洲國の極東大會參加問題に關し滿洲國支持各團體と日本體協との間に連日折衝が續けられたが二日體協主事と久保田滿體主事とが膝を交へ好轉策を講じた結果午後五時半より丸ノ內中央亭で體協と滿洲國及び民間各團體代表者の懇談會を開催した、體協より末弘、高島、松澤、田畑、濱田、大島の諸氏滿洲國より久保田、茂木、岡部の諸氏文部省より岩原氏、アジア聯盟山口大尉、至誠會森中佐、愛國學生聯盟岩田會長、日本學聯山本會長出席先づ體協及び滿體より今日までの經過と立場を說明した後圓滿解決を決定すべく意見の交換を行つた結果目的は唯一つであるといふことが判然として來り當然日滿手を握つて支那の反省を促すべく總ゆる努力をなすことゝなつた かくして滿體の久保田、茂木、革聯の岡部諸氏が上京以來二旬に亘る努力は報いられ滿洲國の意見が通り日本體協と完全に意見の一致を見るに至つたゝめ直に歸滿しこの旨を傳へることゝなつた、體協は同夜山本博士の同意を得たので近く支那、比島に同氏を特派すべく滿洲國でも久保田氏か茂木氏が同道し支那、比島の說服につとめることに決定した、二旬に亘りスポーツ界に漂つた暗雲も一掃され滿洲國參加問題も急テンポで進行することゝなつた

形勢逆轉するまで 滿洲側三代表の功勞

【東京特電三日發】極東大會問題が日、滿兩體協の完全なる一致をみるまでの間には、多くの重大な危機があつた、即ち日本體協は二日までは日本のスポーツ界學生の全般に亘る滿洲國支持の熱烈な決意を悟らず往々として滿洲國參加問題を現地において解決せんとする方針をとり二十八日の理事會の如きは三十餘名のうち一名の反對者を除いてすべては現地解決を主張したのである、この情勢をみて滿洲國體協は最後の肚を決め日本體協及びこれを構成する運動團體に敢然挑戰するとともに日本のスポーツ界を綜聯して學生青年團を中心に新たに團體を結成するまでの準備が出來てゐた、この空氣を悟つた日本體協は二日夜にいたつて始めて二十八日の決議を翻へして完全に滿洲國の意見に聽從するにいたり日本スポーツ界の危機は救はれたのであつてこれまでの間において滿洲國體協代表の眞劍なる努力とゝもに革新聯盟の岡部氏が多年スポーツ界における潜勢力によつて側面から援助した功勞を見逃せない

革新聯盟の任務を果す 岡部平太氏談

【東京特電三日發】岡部平太氏談 日滿兩國の體協が完全に一致を見るに至つた事は兩國スポーツ界のため慶賀に堪へない、我々は最後の努力をなして徐ろに日本體協のなすところを見てゐたが、二十八日の理事會には一般の空氣を知らずに我々の希望に反する決議をなしたのでその通告を受けた上は毅然起つて日本スポーツ界革新の運動に着手するつもりで聲明書まで作り一切の用意をしてゐたのだ、この間にあつて體協の郷主事がこの決議を二日間自分の手に握つて發表しなかつた事は日本體協のために眞に天祐であつて郷君の苦心を諒とせねばならぬ、革新聯盟としての任務は之で一先づ果されたから僕は明日出發歸連する

滿洲國からも比支へ派遣 委員人選は歸滿してから

久保田滿體主事語る

【東京特電三日發】滿洲國體協久保田主事は語る

滿洲國の極東大會參加問題については之迄日本の體協との間に色々の誤解や行き違ひがあつたが各方面の熱烈な御援助に依つて我々の眞意も充分に了解されこゝに日滿兩國の體協が完全に意見一致し提携を固くして參加問題に努力することゝなつたのは喜ばしいことである、日本體協から特派される山本博士は勿論我々の心情を總て諒解されてゐる、又滿洲國からも一、二名同行することになつてゐるが何れ私が新京に歸つてから具體的に人選することになるであらう、支那フイリッピンが日滿兩國の主張を容れぬ場合はどうかなどといふことは今更云ふまでもないので日滿兩國は完全に肚が一致してゐるといふことで總てが判るであらう、之で我々の任務の第一段の使命が終つたから近く歸滿する、色々御援助を得たことを深く感謝します

可愛いお雛祭り　けふ大連幼稚園で

極東大會對策 最後の肚は決つた

【東京特電三日發】極東大會問題は遂に別項の如く歸結した即ち今年の大會前に日滿兩國が提携して滿洲國參加に對する最後的努力をなすといふのであつて、若し滿洲國の主張が容れられぬ場合はどうするかといふことは豫め表示してゐないが、日本體協の最後の肚は滿洲國と完全に一致してゐるので事前に豫めそれを示す必要はないといふのであつて滿洲國側もその眞意が充分に理解されたことに滿足してゐる

紛爭解決し 二週間內に出發

日滿兩體協が仲良く

【東京三日發國通】日滿兩國體協代表者並に日滿兩國側の第三者を交へた二日夜の懇談會は滿洲國側の正當なる主張と強固なる決意の結果午後十時に至り漸く日本體協側をして之迄強硬に主張し來つた態度を一變せしめ滿洲國側の主旨に從つて今後兩體協は行掛りを一掃して提携し滿洲國參加を飽迄貫徹するために直に極力努力する事を決議した、その結果日本體協は山本博士其他を理事會報告後支那比島其他三ケ國に派遣する事になり滿洲國側も久保田氏其他を派遣することの申合せをなし二週間以內に出發する事になつた、從つて三週間揉み拔いた參加問題は茂木、久保田、岡部三氏の決死的努力と滿洲國側委員の後援によつて一先づ平和裡に解決策を見出すことを得憂慮された紛爭も起らなくて濟み體協主事の辭任問題も解消した、なほ同夜の會合においては兩體協の今後とるべき各種の具體的方策並に最後の決意をも決議するところあつたがこれ等は實行委員の今後の行動によつて漸次表面に現はれる筈である

岸田旅順市助役 米岡市長に辭表提出

旅順市助役岸田愛文氏は就任當時各方面からの切なる希望により承諾今日に至り或る時期において退職の意があつたが二日米岡市長まで辭表を提出するに至つた、右に關し某議員との間に面白からぬ事情が伏在しある如く噂さるゝもこの點は全く一部の臆測に過ぎず岸田氏の辭任に對しては米岡市長及び關係各方面も極力慰撫留任を懇談してゐる、右に關し岸田助役は語る

未だ自分の口から何とも言へぬ……併し自分は御承知の通り老齢でもあり最近非常に疲勞してゐるので將來の激務を完了することはどうかと懸念され長く現職に留ることは本意ではない

と明言を避けてゐたが暗にその心情を語つてゐた

林滿鐵總裁 四日海路上京

林滿鐵總裁は議會出席のため四日大連發のばいかる丸にて夫人同伴、西脇秘書役、島崎秘書役心得を隨へ上京する、滯京約一ケ月の豫定である

勇士の慰靈祭

故陸軍航空兵特務曹長相馬善井氏以下四勇士の遺骨は四日午前七時大連驛着、同日午前十時出帆ばいかる丸にて凱旋するが、その慰靈祭は從來午前八時半開催の例を破り九時埠頭待合所にて開かれるので參列者は注意されたしと

適材適所主義で 警察官大異動

早くも下馬評傳はる

滿洲における警察機構改革の結果關東廳の警察機構は近く小範圍に縮小されるものと見られてゐるがこれが豫備的人事異動及び新設警務部に配置される人員の補充等により大場警務局長就任初めての大地震が近く行はれるものと觀測され、既に種々下馬評が傳へられてゐる、即ち機構改革に伴ふ必然的異動としては今回新設の警務部第三課には今井課長(關東廳事務官)の下に監察官警視一名、警部二名警部補一名が配置されることに決定してなり、監察官には現鞍山署長泉警視の就任は動かぬところと見られ、警部二名は目下東京警官練習所に講習中の下田、大津、吉岡、坂本四警部補が任官のうへ拔擢されるものと觀測されてゐる、警部補一名は關東廳內勤者より任命するに決定しこれが人事配置に伴ふ人事異動は確定的なものであるが警察機構改革の第二期的なものとして近く滿鐵沿線以外、即ち領事館警察に屬する熱河其他地方にして現在關東廳警務局が掌轄してゐる警察署は關東廳と分離して外務省に屬せしめる方針にありといはれこの結果豫想外廣範圍に亘る人事入替の異動が斷行される模樣である、更に滿洲國帝制實施によつて對外關係に一變化を來した今日從來の人事配置では事情の許されざる點も少からぬものあり、所謂適材適所主義によつて警視、警部級署長の大異動は免れぬものと觀測され、既に關東廳警務局では人事政策の御膳立に忙殺されてなりその時期は三月末頃と見られてゐる

カップを盜む

二日午前一時半頃市內惠比須町百五十二番先を徘徊中の滿人を小崗子署刑事が擧動不審で本署に連行取調べたところ右は原籍金州管內城內西街番地不詳住所不定無職梁德興(三二)と云ひ去る八月十五日夜壹岐町福本稅關長方を襲ひ銀製カップ時價四十圓を手始めに市內各名家を荒してゐた旨自白したが餘罪多數の見込で嚴重取調べ中

七日の市會

近藤前收入役退職死亡給與金支給の件その他を提案される第八一回大連市會は七日午後開會の筈

常安寺坐禪會

市內天神町常安寺では常例の坐禪會を來る四日午前六時半より開坐する

大典の式場爆破の陰謀を抱き潜入

奉天で檢擧の不逞團

【奉天特電三日發】既報奉天驛において擧動不審の一支那人を憲兵隊員が逮捕し取調べの結果、右は吉林省扶餘縣生れ馬占山義勇軍第十師第百五團第三營方十二連長大尉祁雲亭(三〇)で馬占山の密令を受け二月十二日暗殺團二班を組織し河南省の開封を出發、行商人に變裝しモーゼル拳銃を各自一挺所持して潜入したところを發見逮捕されたもので、彼等の目的とするところは日滿要人を暗殺、主要都市の主要建物を爆破し大典當日式場に爆彈を投ずる等の陰謀を授けられたもので第二暗殺團と別個に後方連絡に當るため第一班とともに新京に潜入、大典當日式場に爆彈を投じ混亂に陥らしめんとしたもので第二班は奉天の主要箇所の破壞、後方攪亂を行はんとして發見され遂に逮捕されたもので二班とも合計十一名である彼等のこの行動を未然に防いだ附屬地憲兵隊の手柄は稱揚されてゐる

前略
昭和九年貳月貳拾六日私は日本共產黨を脱黨し
一切の政治的行動を斷念した事を聲明します
入獄以來辯護人たりし貴方に依賴人として
非常識な行動を取つたが故に今日先ず
貴方に第一に御知らせする次第であります
先日の[illegible]

田村辯護士に宛てた河村の轉向聲明書

國民的感激に更生し 共產黨の陣營を去る

遂に河村丙午も轉向

"日本人だ"この意識が凡てに打ち勝つた 田村辯護士と劇的會見

皇太子殿下御降誕、この全國民的歡喜と感激とは遂に獄中に呻吟する世にすねた共產黨員の魂にまで更生の光りを強く投げかけた——第二次滿洲共產黨の非轉向派獄中被告五名中、四名までは轉向を聲明し、或ひは轉向の意向を示してゐたが、たゞ河村丙午のみは第二次滿洲共產黨の旗を守る最後のものとして飽く迄轉向を肯ぜず、遂には一黨の爲に利害を離れて盡力してゐる田村辯護士まで忌避した程であつたが、この頑固な河村丙午も皇太子殿下御降誕遊ばされたことを傳へ聞いた日より、勃然と湧き起つて來た國民精神と今まで奉じた共產思想との板挾みとなつて眠るに眠られぬ幾十夜かを續けた結果、河村の心に起つた思想の嵐——傳統的な日本人の血潮は病的な共產主義を完全に打ち破して去る二十六日共產陣營の最後を守つた河村丙午も遂に轉向を決意、こゝに第二次滿洲共產黨陣は全く潰滅することゝなつた

二十六日轉向を決意した河村丙午は、一度忌避した田村辯護士に會見したき旨を申し込んだので、田村辯護士は大內辯護士と共に二日午後旅順刑務所に河村を訪問した所、河村は田村辯護士の顏を見るよりハラ〳〵と淚を流し、同辯護士の手を固く握つて唯一言

先生御迷惑をかけて濟みません

と云つただけで、後の言葉に窮してゐたが、田村、大內兩辯護士も河村がこゝ幾十日間の精神爭鬪を考へ、河村に答へる言葉もなかつたとのことで、河村はしばらくして次の如く轉向に到るまでの事情を物語つた

私は昭和九年二月二十六日限り日本共產黨を脱黨し、一切の政治的行動を斷念したことを聲明します。顧みれば昨年末までの私の行動は、私の思想は、全く暗中模索でした。共產黨に私が入黨したこと……これは決して止むに止まれぬ良心のためでは決してなかつたのでした、病的な共產主義は丁度阿片のやうなものでした、少しも民族的なうるほひを持つてゐないことに今初めて氣がついたのです、皇太子殿下御降誕の御慶事を、獄中ながら洩れ承はつたときの私は、阿片中毒患者が反對藥液を注射されたときの氣持と同じでせう、私も日本人だとの意識が凡ての思想を屈伏させました、二十六日に私が轉向を決意した時、偶然父百平が訪れてくれましたが、私が、お父さん轉向しますと云ふと、父の兩眼からハラ〳〵と淚が落ちました、私も生れて初めて泣きました、私も人の子です、私は現在私の魂の中に生れた新生命——國民的感情の下に今後の行動をとり、今迄の行動を否定する考へで、佐野鍋山諸氏の如く轉向しつゝも勞動運動に執着する意志は毛頭ありません

首領松崎も 近く轉向を聲明

獄中に心境を語る

二日大內辯護士と共に獄中の河村を訪れ、河村の辯護を引き受けた田村辯護士は續いて第二次滿洲共產黨の首領松崎簡を同じく獄中に訪れ、河村の轉向を傳へたが、松崎は意外の面持ちで次の如く語つた

河村が轉向したとは意外です、と同時に、また轉向を聲明してゐない私がいふのは變ですが河村のために心より喜びます、現在の私の心境は、三つの考へを中心として、從來の日本共產黨の行動を否定したいと云ふにあります、第一に日本共產黨は國際共產黨の羈絆を脱しなければならぬ、第二に日本共產黨は君主政體を否定することは絶對に避け民族精神に歸るべきである第三に將來の社會主義運動は一國社會主義たるべきこと、この三つの考へは從來日本共產黨を否定し、同時に我々自身の第二次滿洲共產黨をも否定するものです、私の轉向——時機を得ることに努めてゐます

右の言葉によつても明白なる如く松崎は首領として黨員に先立つて轉向することに責任を感じ、未だ轉向を聲明せぬものであるが、來る十日の準備手續に於て獄中被告(河村も出廷する筈)と會見の上直に聲明するものと見られてゐる

ラグビー戰

昭和九年度ラグビー・シーズンは四日午後二時より大連運動場に於いて擧行する大連滿鐵對大連商業戰を以て蓋を開けることゝなつたが、引き續き午後三時十分大連俱樂部對南滿電氣及び國際運輸對大連俱樂部の兩戰も同所に於いて擧行する

天氣予報

四日 西の風(晴)時々曇

各地溫度(三日)

	午前五時	午前十一時
大連	零下四	零度
旅順	零下三	一
營口	零下七	零下一
奉天	零下一〇	零下四
新京	零下一五	零下七
新義州	零下一〇	零度

今日の小洋相場(十一時半) 金百圓につき百十七圓八十錢

新講談 丹下左膳 (34)

林不忘作
小田富彌畫

文珠の智恵（五）

「いや、只今使をやりましたから、程なく參りませう」

忠相は、かう言つて、その下ぶくれの柔和な顔を綻ばせて、客を見た。

櫻田門外の、江戸南町奉行大岡越前守忠相のお役宅だ。

その奥座敷――。

前の庭は闇に閉ざされて、植込みの影が黒く默してゐる。

が、室内には……。

燭臺の灯が明るくみなぎつて、磨きぬいた床柱さ、刀架けの蠟鞘さ、大岡様の顔さを、てらてらさ照らし出す。

「噂の騒ぎは、以前お話のありましたさほり、それさなく看視はして居りますが――」

さ言ひかけて、忠相はまた、相手へ眼をやつた。

客は。

七八つの子供のやうな、小さな軀體に、六十あまりの分別くさい顔――それが、如何にもグロテスクな、大きく見える顔で、おまけに、これだけは一生の荷の瘤を、背中にしよつてゐるのは、言はずさ知れた侏儒の愚樂老人である。

千代田の三助……垢すり旗本。お庭番さいふ、將軍家直屬の隠密の總帥。

八代吉宗公の陰の最高顧問です。

白髪を、根の太い茶筌に結び、柿いろの十徳を着て、厚い褥のうへにチヨコナンさすわつたところは、さながら、猿芝居の御隠居のやうだ。

額部に幾本もの深い皺を刻み、白い長い眉毛の下から、ぢつさ忠相を見つめて、

「上様にも、一方ならぬ御心痛でなう」

さ言つた。

野太い、よく通る聲だ。もの言ふ度びに、背中の瘤がヒク〳〵動くのは、なにか奇體な動物が、着物の、下に潜りこんでゐるやうに見える。

「知つての通り、日光御修繕は、日一日さ近づく。柳生は、そのこけ猿の壺さやらを手に入れぬ限り、ほかに金の出どころは絶對にないのぢやから、イヤモウ、一藩をあげて今は必死のありさまぢや」

「するさ、上様は」さ忠相は、ちよつさ頭を下げて「柳生に御同情を垂れ給うて、柳生のために、それほどご御心配になつてをらるゝので」

「うむ。それもある。劍をもつて立つ天下の名家を、斯様なことで、むざむざさ潰すにも當らぬからなう」

「御尤も」

「第一、柳生を苦しめるのは、上様の本意ではない。然るに、このまゝで捨置んで、柳生がこけ猿を手に入れて財寶を掘り出す前に、日光御造營の日を迎へることになれば、柳生藩一統は苦しさのあまり、何をしでかさうも知れぬ。そこは、劍術はお手の物の連中だし、例の伊賀の暴れン坊さやらをはじめ、手強いやつが揃つてをるここだから……上様の御憂慮なさるのは、この點ぢや」

「成程。つまり、天下を騒がし度うない――」

「さ言うて、こけ猿の秘める財寶のすべてが、柳生の手に這入るのも、これまた困りものぢやて。いくら日光でも、さうは費らぬのぢやから、餘つた金が柳生の手にあつては、今度は又それが、何かさ間違ひの因になりやすい――」

「さう度びたび金魚籠を宿てゝやることも、出來ますまいからな、はゝはゝ」

「さうぢや。きまつて柳生の金魚ばかり死なすわけにも――あつはつは」

愚樂老人が、全身を揺すぶつて笑つた時、庭の奥から闇黒の中を、こつちへ近づいてくる跫音が……。

直木氏を憶ふ（上）

小田富彌

直木三十五氏が危篤だといふので二十四日の午後病院へ駈つけるまで、私は、亡くなるやうな事はないと信じてゐた。しかし、一目病床の直木さんを見た時、あゝいけないなと何となしにハッと思つたが、たうとう、その夜亡くなられてしまつた。

直木さんは私にとつて生涯忘れる事の出來ぬ恩人だ、直木さんが大阪で「苦樂」の編輯をしてゐた時、寶塚の料亭から電話で呼ばれて行つて、初めてそこで私は直木さんに會つたのだつた。

「菓子を喰ひ給へ」とブッキラ棒に云つたきりで三十分程も默つてゐる。それから「岩田專太郎が病氣で描けなくなつたから、君サシエを描いてくれ」といふ用件はもの、一分か二分で片づけたが、全く變な人だと思つた。その時から私はサシエを描くことになり、ずつと今まで續けて來た譯である。

直木さんは世間に知られてゐる通り、變人で無口で、誰しも一寸つきあひ難い、對座して二三時間も默つてゐる事があるが、別に話がすんだのでもなく、それがさいってイヤなのでもない、默つて相對して味がある、こゝが面白いところだ。

口に出してはいはぬが、他人のためには隨分思ひやりがあり世話をした。憎みにならぬやうに見えて憎み甲斐のある人だつた、ズボラな様に見えて決してさうではなかつた。

大阪時代には常に行つたり來たりしたもので、直木さんは金がなくても贅澤だつた。煙草はスリイキヤッスルを愛用してゐたが、よく〳〵の時は遊びに來ると默ってバットを掘り出す、ハハアと思つてゐ、煙草を買つて來て出すといふやうな事もあつた。

キネマと演藝

常盤座てお雛祭

西村不二氏指導で連鎖街に新しく生れたサカエ少女會の第一回童踊發表會は三月四日の日曜午前九時半から常盤座でお雛祭さして開催される、番組左の如くで入場料子供十錢附添の大人二十錢

（一）童謠舞踊「あがり目さがり目」（二）童謠舞踊「今晩は」（三）新舞踊「濱千鳥」（四）童謠舞踊「てる〳〵坊主」（五）小品「兎さ龜」（六）舞踊「紅屋の娘」（七）童謠舞踊「兎のダンス」（八）舞踊「雨ふりお月さん」（九）童謠舞踊「足柄山」（十）新舞踊「荒城の月」（休憩）（十一）「ミッキーマウス怪物屋敷」線畫一卷（十二）「突貫ガラクタ列車」喜劇一卷（十三）「青い鳥」教育映畫四卷

うわさ話

東公木氏が昨年久し振りで京都の撮影街に歸つた時の土産話にカメラマンが多數失職して▲ひどいのになると魚の行商をして映畫人の家庭を訪問してゐると悲慘な生活難が傳へられてゐたが▲最近滿鐵弘報係が記錄映畫の大々的撮影のため日本カメラマン協會へ十名近くのカメラマン招聘を申込んださいふので▲果然就職戰線に福音來るさ許り大騒ぎをしてゐるらしいが之は全くのデマで▲目下大典記錄映畫をサウンド版化するために上京中の芥川光藏氏が撮影研究會の意向の一端を洩らしたところから出たものらしい▲すべてこの調子で映畫界に關する滿洲景氣が放送されてゐるものさ見られてゐる

八年度土建工事 總額一億圓突破
中滿鐵關係は五割五分

滿洲土木建築協會調査＝昭和八年度に於ける滿洲の土木建築工事總金額は一億五十三萬二千圓にして前年度の二千八百八十六萬七千圓と比較すれば實に四倍に垂んとする激増振りを示してゐる、これは滿洲國經濟工作の躍進的發展を如實に物語るもので、殊に新京を中心としての建築工事の殷盛、拉濱線を筆頭としての鐵道建設工作、全滿に亘る國道局による道路工事の進展によるものである、今これ等工事の企業別を示せば（單位千圓）

滿鐵	五五、六〇九
關東廳	一、三三七
滿洲國	九、〇三五
民間其他	三四、五五〇
合計	一〇〇、五三二

であつて、滿鐵關係の工事が總額の過半數を占めてゐる、又これが地區別金額を示せば新京方面の一千六百二十萬圓を筆頭に奉天、大連と夫々一千萬圓以上の金額に上つてゐる百萬圓以上の地區別、線計數を擧げれば左の如し（單位千圓）

大連方面	一三、二三九
奉天方面	一四、四一二
新京方面	一六、二〇九
鞍山方面	三、六二七
撫順方面	一、二九一
安東方面	一、四四七
哈爾濱方面	三、六六五
齊々哈爾	二、四七六
北黑線	二、五八八
圖寧線	五、〇二〇
拉濱線	八、九一一
熱河線	七、九二一
京圖線	三、五五三
天圖線	二、八四八
安奉線	二、〇六七
瀋海線	一、〇四六
四洮々昂線	一、六九〇
濱北線	一、八八七
齊北線	一、七二三
南滿本線	一、二一九

次に八年度における主要建築工事を見るに化學工業會社の三十一萬圓、中央銀行奉天分行新築費の三十五萬圓、國都建設局の第一廳舍新築費の三十萬圓、昭和製鋼所分塊工場四十一萬圓等にして土木においては拉濱線の松花江橋梁その他國道局の道路工事が主なるものである

農相讓歩せず
外地米統制案重大化
鐵相の仲裁も甲斐なし

【東京三日發國通】外地米統制案を繞り、農、拓兩省の調停に乘出した三土鐵相の意見は全く拓務側の意向を支持し農林省案は孤立の立場であり、然も農相は、徹底な案は寧ろ實施の必要なしと續論し三土鐵相の態度に不滿を有しなり容易に讓歩するものと見えず、後藤農相が飽迄自説を讓らぬ限りは恐らく決裂免れぬ情勢であり問題は重大化する模樣である

督促してゐる實情に鑑み、政府においてもこれ以上徒らに事務的折衝に日を送る譯には行かないため高橋藏相が調停に乘出し高橋藏相後藤農相、永井拓相の三相間で政事的解決を圖ることになる模樣である

更に藏相が調停に乘出す

【東京三日發國通】外地米統制問題に關する農林拓務兩省間の對立關係は依然解けず目下大藏省が中間に立つて兩省事務當局と折衝を續けてゐるが、容易に妥協を見出し得ず一方衆議院では該問題の解決を見ない限り、追加豫算の審議は不可能なりとし、その解決を

天津棉花輸出 甚しく不振

【天津三日發國通】二月中の天津棉花輸出總額は一萬千六十俵に過ぎず、一年中の旺盛期とはいへ昨年の一萬八千俵に比して甚だしい不振である、これが理由は米國の棉價切下による米棉の續騰に伴つて當地棉花も昂騰し神戸沖値五十六圓となつた上にストックが二千俵に及んだため一向に買氣なく、加へるに印棉第一回輸入あり、この間外商筋の四十四ドル又は三十七十セントで買付けるあり、相

支那・銀保有に懸命
米國への流出阻止から

最近國民政府が銀の輸出を禁止するとか、せぬとか乃至昨年ロンドンで調印された國際銀協定に對する國民政府の批准が迫つてゐるとか、ゐぬとか色々の報道が入つて來る、孰れにしても支那の銀政策上に一轉機が迫りつゝある事を語りつゝある

◇……………◇

その原因はアメリカの通貨政策である、アメリカはドルの平價を改定すると共に金の價格を吊り上げた、その結果金は滔々としてアメリカに流入しつゝある、これと同様、アメリカの銀價が昂騰すれば銀も金と同様アメリカへ流れ込む、而もアメリカでは銀價吊上げ政策採用の氣配が濃厚である、議會に於ける銀復位論者の主張は暫く置くとしても、ルーズヴェルト政府が昨年十二月下旬に出した銀貨鑄造命の結果は、本年一月一日から造幣局に持出される新産銀に對し一オンス六十四セント半で買上げると同様の効果を擧げてゐる、更にニューヨークの銀塊手持筋の調査も行はれて政府の政策も銀價吊上げに一歩づゝ近づいてゐるかのやうである、これがもつと確實となつて銀が支那からアメリカへ續々流出するとなつては支那にとつては大打撃である、又アメリカの銀論者は銀の價格を上げて支那民衆の購買力を増進せしむることは自國貿易に好影響を齎すものだと信じてゐるが、それも程度の問題で、急激な銀價の昂騰は支那の物價下落を招來してその財界に及ぼす打撃は大きい

◇……………◇

此の狀勢に處するため銀輸出禁止の噂が立つのである、一説では輸出禁止を行ふ前に暫定的處置として現行二分二厘五毛の輸出税をその倍額まで引上げるだらうといふ説もある、一方昨年の國際銀協定は本年四月一日以前に批准が行はれる事を條件として全部調印國の批准期を控へて支那もその對策を立てねばならぬが支那にとつてはアメリカの態度がもつとハッキリするのを見た上でなければ漫然と批准をする譯には行かない、批准の準備は出來てゐるが銀行方面の希望もあつて政府はその批准を手控へてゐる

◇……………◇

こゝで試みに昨年中に於ける支那の銀塊銀貨輸出入額を見ると、輸入約八千萬元に對して輸出約九千四百萬元、しかもその内七千餘萬元がアメリカへ行つてゐる、輸入額は一昨年の九千七百萬元に比し一割八分の減少なるに對して輸出額は一昨年の五千八百萬元に比し六割二分の激増である、本年になつてからの形勢は詳細不明であるが上海からだけの輸出額を見ても二月二十二日までの統計を昨年同期に比較すると銀元の輸出は減つたが銀塊兩銀の輸出は非常に増加してゐる、左の如し

支那の銀塊銀貨輸出入額

上海總税務司署發表（單位千元）

	輸入 一九三二年	輸入 一九三三年	輸出 一九三二年	輸出 一九三三年
英領インド	二六二	五九一	八、八七三	九
カナダ	—	一、三四三	—	—
セイロン	一七三	—	—	—
佛領印度支那	二八〇	一、二四六	一	一九六
イギリス	三、九三三	六、八九八	三一四	二一五
香港	五五、八二七	三七、九四二	一二、一三五	一八、二四二
日本	二八三	八一	五四	一一四
メキシコ	—	—	—	—
蘭領インド	二	三	一一五	四六
フイリッピン	—	—	—	—
海峽植民地	九一	七三	三一八	一四
アメリカ	三〇、五四九	二九、三七三	九六九	七〇、九五九
關東州	—	一、三八二	—	二、七九九
その他	五、一三九	一、一二〇	三四、七六七	三二
計	九六、五三九	八〇、一三五	五七、六四六	九四、二八九

近海は軟調 遠洋不振に推移
二月中海運狀況

大連港を中心とする二月中の海運市況を概觀すると先づ近海方面では月初は笹正を間近に控へ、一般の荷動きは捗々しくなく若松、横濱間の石炭運賃は一圓六十錢見當であつたが中旬には一圓八十錢となり、下旬には二圓と硬化するに至つた、カムチヤツカ行小型船の引合がぼつ〳〵開始せられ、北洋材も最近百三十五圓で大口の商談成立し、近海運賃は概ね先高見越してある、大連積特産運賃は

月初 阪神行豆粕八錢、袋物十錢、伊勢灣、横濱行豆粕九錢袋物十一錢、九州行豆粕十錢、袋物十三錢、臺灣行豆粕十二錢、袋物十三錢見當であつたが下旬に至つて阪神、伊勢灣、横濱行は豆粕袋物共二錢方の昂騰、九州行は一錢方硬化し、臺灣行は保合狀態である、銑鐵運賃も下旬に至り阪神行一圓六十錢、伊勢灣、横濱行一圓八十錢となり、上旬に比し十錢乃至二十錢方上昇した、内地行豆粕は目先出廻期に當るを以て運賃も強調を辿るものと豫想されてゐる、次に遠洋方面にありては、歐州向大豆は引續き極度の不振を示し、大口引合全くなく、運賃も二十シル前後を低迷してゐる、既に二ケ月餘に亘る不振狀態を呈してゐるのは過去數ケ月間連續せる大

朝鮮總督府 米穀部新設

【京城特電三日發】朝鮮總督府に米穀部を新設する件は種々折衝されたが、これに伴ふ官制は先年土地改良部並に山林部を臨時設置した例もあるので、今回も勅令を以て臨時米穀部設置に關する官制が公布される筈で公布期は三月末頃と見られてゐる

場は依然底意固く遂に月末に及んだ爲めである

政府手持産金 現在三千五百貫

【東京特電三日發】昨年末における政府手持産金は三千四百九十八貫にして四月一日豫定の産金國内保有案の實施と共に政府は日銀をして買上げせしむる方針であるが現行の産金買上値段は同法の實施まで据置く模樣である

れ逃からず買氣の擡頭を期待されてゐる、一方

瓜哇 は二月二十五日以降大豆の輸入を禁止したが、同方面へは年額五萬噸見當の輸出をみてゐることゝて相當の打撃は免れまい、歐洲行散油も引合活潑でなく二月積三千噸以下と推算され、満麥、小麻子、落花生等は小口ながら相當の取引をみてゐる、米國方面は小麻子稍好調を呈し、粉粕、落花生も引續き輸出をみてゐる

二月中の手形交換高

大連手形交換所における二月中の手形交換高は金勘定において枚數二萬八千六百二十三枚、金額九千九百九十萬六百四十四圓で、銀勘定では枚數八千二百五十六枚、金額四千六百八十一萬三千五百五十四圓であるが之を前月中の交換高に比較すると

	枚數	金額
金	一、八〇四減	三〇、四五五、〇一四減
銀	一、二〇二減	三、八〇五、〇五一減

右金銀兩手形とも減少は一月中舊正等ありて例年商取引不活潑である季節的現象であるが更にこれを昨年同月に比較すると

	枚數	金額
金	四、一六九增	四〇、九五五、四八六減
銀	四〇六增	三六、三六八、四七七減

右の通り枚數において增加せるも金額は金銀兩手形共減少をみせたのは本年は昨年に比し錢鈔市場及特産市場不活潑のため大口銀手形の流通が減少したゝめとみられてゐる

主席代表から
明確な態度決定を要求
代表引揚げは不可避

【大阪三日發國通】前後三回に亘つて行はれた日英綿業會商は遂に決裂の危機に直面するの外なき憂慮すべき情勢にあるが、一日岡田主席代表からこの儘推移せば結局決裂のみ紡織聯合會の明確なる態度決定の上訓電ありたしとの入電あり、愈々事態は重大決意を要するに至つたので紡織聯合會、輸出綿糸布同業會の外に、日本綿織物工業組合聯合會、日本人絹織物輸出組合聯合會、人絹織物通商對策委員會も參加し、三日午後二時大阪綿業會館に日英會商聯合同協議會を開催、重大協議をなすことゝなつたが、現在の情勢を以てしては代表引揚げ決行は不可避となつた

◇…日英民間會商、彼我對立の情勢は到底一致の見込みなく、岡田代表最後的態度の請求して來た、結局代表の引揚げは避くべからず、事態醒化の模樣とは、日印會商に…あるだけ此際の強氣は…

東京高につれ 地場株暴騰

三日前場内地株市場における主力株は新東、日產を首め諸株共不引立の商狀を示したが、東京定期の五品先物二十八圓五十錢、新豆先物二十八圓三十錢と昂騰を入れ、當市も之に刺戟されて延の五品は六七十錢高、新豆は一圓三十錢高錢鈔一圓三十錢高、現物の商取信二圓高と暴騰滿鐵二新は押込決定の好感から十八圓二三十錢と新高値に躍進し其他滿洲關係株はいづれも強調を辿つた

ラサ島燐鑛 減資に決定

【大阪特電三日發】ラサ島燐鑛株式會社では來る三月二十四日の臨時株主總會に於て資本金七百五十萬圓を二百八十五萬圓に減資同時に社名をラサ鑛業株式會社と改稱

二月中不渡手形

二月中の不渡手形は枚數四枚、金額四百六十一圓四十二錢で前月の枚數五枚、金額一千九十八圓、前年二月の枚數六枚、金額三千七百

銀塊（本）　本年 六二七　昨年同期 二七二
兩銀（千兩）　四、七〇〇　—
銀元（千元）　一七三　三、〇七〇

なほ最近二ケ年の銀塊、銀貨輸出入額を左に掲げる

八年度大連港 着埠船舶
前年度より五八〇隻增

滿鐵々道部庶務課統計係調査、昭和八年度中に於ける大連港着埠船舶總數は五千十七隻にして總噸數は千四百五十六萬五千六百四十八噸、前年度に比較すれば五百八十三隻、二百七萬三百二十二噸の增加を示してゐる、なほこれが國籍別を見れば日本船が壓倒的多數を占め、滿洲及び中國船、英國船がこれに次いでゐる左の如し

國籍別	隻數	噸數
日本	三、四一九	九八…
滿洲及中國	九五〇	一一…
英國	三四三	一五…
獨逸	九七	六…
米國	五四	三…
和蘭	四七	三…
諾威	四一	一…
其他	六六	三…
合計	五、〇一七	一四五…

新京製粉界 依然不味商狀

【新京特電三日發】沈滯せる新京の製粉界は依然購買力振はないため操業開始の見込なく、日本産及び濠洲産粉の侵入に委せてゐるが新京驛に於ける最近の輸入數量は昨年に比し左の通り減少をみてゐる

前年一月 本年一月

倘は相場は十二月上旬騰貴後反落したが、一月中の平均は左の通りである

一等粉（寶船）
二等粉（錦天）
三等粉（綠鈴）

國際運輸會社
重役改選で臨時總會
伊藤氏辭任、小川海運課長昇格

國際運輸會社では三日午前十時より臨時株主總會を開催、社業の擴大に伴ふ監査役一名增員、取締役伊藤太郎氏辭任による補缺選擧、取締役岡崎虎雄氏の任期滿了による改選を行つた、その結果監査役には滿鐵鐵道部營業課長山口十助氏が就任し、伊藤取締役の後任には海運課長小川亮一氏が昇任し岡崎氏は重任に決定した、尚役員の報酬及退任役員に對する慰勞金贈呈の件は專務に一任することになつた、しかして海運課長は從前通り小川氏が兼務する

重役に昇格した海運課長小川亮一氏は大正三年の東京高等商船出身で本年四十五歳、初め日本郵船に入り次いで大正七年から同十四年まで山下汽船に勤務、同十五年囑望されて國際運輸の神戸出張所長となり、昨年十二月本社の海運課長となつたものである、國際の海運關係の業務は概ね氏のプランになつたもの多く殊に今回の北鮮に於ける陸海運送の統制についても氏の獻策に負ふ所が多い【寫眞は小川新取締役】

八十三圓に比較するさいづれも減少を示してゐる

黄塵

◇…ク米國の銀吊上げ政策を…延いて支那政府の政策の…を附與…
◇…これは上海の外商等が…の國民政府の銀流出阻止…生ずる影響を憂慮しての…ヴェルト大統領への要望…事實最近における支那から…リカへの輸出額は著る…ぶりだ、これでは南京の…局もヂッとしては居られ…ぬ樣やつて貰ひたい…合は世界銀價への影響…影響を考慮して銀法案を…政策を取るなら、支那に…商は大に迷惑する、引…

市況（三日）

特産

邦商の買に 豆粕強調

今朝の定期は大豆は銀安に強調を辿り豆粕は邦商の買に強調を示し豆油も堅調、高保合を呈した

◇定期前場（銀建）

錢鈔

材料乏しく 鈔票保合

株式

内地株保合乍ら 當市昂騰

商品

麻袋氣乘薄 綿糸昂騰

上海爲替情報

爲替相場

奥地相場

各地特産發送高

市場電報

大阪株式

東京株式

大阪期米

神戸期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

横濱生糸

印度麻袋

大連埠頭到着高

(昭和八年十二月十五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

朝夕刊共二十頁　印刷人 本村武盛　發行所 大連市 滿洲日報社　振替口座大連六〇番

鳩山三土兩氏等には綱紀紊亂の事實無し
岡本査問委員會の結果

【東京三日發國通】本日の岡本査問會は岡本氏の發言に關する査問報告を決定し査問會の結末を定めるべき最後の日であるが、委員會設置以來政民國各派の態度は複雜な利害關係によつて漸次離反對立を示し、各派交渉會の決裂、昨日の流會さへ經て來ただけに、その成行は頗る懸念され、果して議院の威信保持の目的を達するや、將又議會の轉落、政黨の没落、更に又鳩山、三土兩相其他關係者に對する綱紀紊亂の烙印を捺すか、岡本一巳氏を懲罰するか、總ては數によつてその黑白を決せねばならぬ事態に迄切迫してゐる、各黨とも今朝來幹部會又は總務會を開き各々獨自の態度を以てこの査問會及びその報告を受ける本會議に臨む作戰を立てゝゐるので開會前から近來稀にみる緊張を示した、斯くて一時三十八分開會

島田委員長　委員會に附託された調査事項は前回で質問終了したので今日は結果を決定する、岡本君の八日及び十五日の發言にして調査すべきことは

一、臺灣銀行の持株處分に關する件
二、鳩山、三土兩相がこれを斡旋した點
三、某大臣が百三十名に金錢を贈與した點
四、樺工事件に關し鳩山氏の金錢授受に關する件

の四點であるから此等の點を本會議に報告すべき範圍と思ふ

一、林、米田兩秘書官及び鳩山、三土兩相が臺銀株處分に關し斡旋したとの點については審議を盡さゞりしため事實の眞相調査し難し
二、某大臣が百三十名に金錢を贈與したる事實なし
三、鳩山文相と藤田某との間に金錢授受に關し鳩山、岡本兩氏が證據湮滅を圖りたるとの疑ひ充分有りと認む

と誹り

牧野賤男氏（政友）　只今委員長のお諮りの點につき動議を提出す

一、臺銀所有株處分に關し林、米田兩氏が關與せる事實の根據無し
二、前項の處分に關し、鳩山、三土兩氏が斡旋したる事實の根據無し
三、某大臣が百三十名に金錢を贈與したる事實の根據無し
四、樺工事件に關し藤田、鳩山間の金錢授受に關し、鳩山、岡本兩氏が證據湮滅を圖つた事實無し

と前提し

一松定吉氏（民政）も動機として

面して政友側の本問題に對する態度を述べるとつゞいて

野田文一郎氏（國同）八日十五日の岡本君の演説中に出た事實は本委員會の調査の結果、その事實あつたものと認む、依つて岡本君の發言は議員の職責上當然のことゝ認む

と民政側の態度を述べ最後に

と動議を提出し、島田委員長之を一括採決する旨述べ採決の結果、一松、野田兩氏の提出動議は少數で否決、牧野氏の動議は多數で可決、よつて

委員長　本委員會は牧野氏の動議を以つて本委員會の報告とし直に之を本會議に報告する旨を宣し午後一時五十分さしも天下を衝動させた委員會も政友會の意向通り岡本氏の發言したる如き事實無しと決定して散會した

數量の決定過剩米の取扱移入方法の三と思ふがこの際の一致を見たか

首相　大體一致を見てゐる

なほ二、三米穀問題で質疑た後鋒を轉じて

河野君　硫安の噸當り生産費はあるか

農相　的確な調べは出來て…

河野君　各會社の申告した…如何

永瀬農務局長　各社の申告…を期し難い

河野君　硫安會社が悲境の發表し好景氣に秘密にす…意慢である

首相　決して意慢ではない…の時期方法は申し上げら…

河野君　硫安噸當り生産費四個で政府の見込最高値…圓よりは三十八圓安い政…料會社に各暴利を認め農…性にするか

農相　出來るだけ安値配給方法を講じてゐる

砂田軍政君　政府には肥料對策無しと斷じてよいか

農相　決して無關心ではない、今後十分研究する

河野君　農林商工兩省發表に依れば本年の硫安需給は十三四萬噸不足してゐる、政府は對策を講じたか

農相　當業者に輸入させる方策を採つてゐる

河野君　政府の不誠意を難詰すれば

農相　決して不誠意でないと釋明す

河野君　肥料商は稀有の供給不足時代にも五萬噸を輸出した、斯樣な肥料商をして輸入せしむるのが政府の對策だといふなら私の質問は無駄である

と憤慨して殘餘の質問を打切れば議場緊張す關聯事項として松山常次郎君朝鮮農民の實情を説明外地米の統制強化を力説し高田耘平君は生産費の調査をなさぬのは暗黑政治だとて生産費調査提出を要求し、更にこの追加豫算で非常時局…

會は十時三十五分開會、米穀對策土木事業、產馬問題につき大石倫治氏（政友）後藤農相を相手に一問一答後青山憲三氏（政友）は漁村對策に關し農相に迫り午後零時十四分休憩、午後一時廿五分再開由谷義治氏（國同）は米問題で青木精一氏（政友）は蠶絲對策農村教育で最後に佐藤與一氏（民政）も農村教育問題で後藤農相とそれぞれ一問一答を重ね二時三十分散會した

華府軍縮會議に具體案を提出
貴族院豫算第四分科會にて
大角海相の答辯

【東京二日發國通】貴族院豫算第四分科會は二日午前開會、大角海相より海軍省所管に就いて説明あり、大谷尊由氏と大角海相との間に左の如き質問應答があつた

大谷氏　米國は今度百二隻の造艦計畫ありと聞くが之に對する我軍備如何

大角海相　所謂百二隻の内容を説明したる後

一九三五年になると米國は條約の規定一ぱいになる

大谷氏　華府軍縮會議に對する當局の態度如何、又一般軍縮會議に對する態度如何

大角海相　華府軍縮會議には帝國は具體案を提出し度い、軍艦の噸數減少と保有量の減少とが目的である、その他に航空母艦の廢止をも提案したい、次期軍縮會議については目下考究中である

大谷氏　第二次補充計畫において果して國防は充分か、その計畫完成の場合日米の比率如何

大角海相　第二次補充計畫が完成すれば大體國防の安全を期し得る、計畫完成の際の米國との比率は八十二パーセント位になる

大谷氏　第一次計畫の未だ完成せぬのに第二次計畫を樹てゝゐるが軍需工業の方面は充分の消化力はあるのか

大角海相　完全にこなし得る見込みあり

次いで大谷氏はなほ第一次補充計畫の單價と第二次補充計畫の單價が大分違ふ點其他につき質問した

文相辭任理由
世間を騷がせ申譯なし

【東京三日發國通】本日午前九時四十五分首相を訪問した鳩山文相は

査問委員會の結果、午後には私の受けた疑惑も一掃されたが、ついては文教の府にある身として世間を騷がせた點は申譯ないから辭表の執奏を願ひたいと述べ、首相は文教の府に主たるもの、責任者としての趣旨は諒とするから、今日中にその手續きをとる旨諒解を與へ、午前十時五分會見を終つたが、鳩山文相の辭表は正午から院内に開かれる閣議に正式に提出されることになり、査問委員會の決定次第直に首相は宮中に參内して辭表の執奏を請ふべく、鳩山文相は同時に辭任に伴ひ聲明書を發表することゝなつた、後任は豫定の如く首相兼攝として御裁可を仰いだ上、午後宮中において親任式が行はせられた

衆議院豫算總會
再開

【東京二日發國通】衆議院豫算總會は午後一時二十三分再開午前に引續き

河野君　外地米對策は閣僚會議で一致しながら未だ提案せぬは何故か

首相　完全な成文を得べく關係各省間で折衝中である

河野君　外地米根本對策は過剩米…

關稅諸問題獨裁權
ル大統領が議會に要求

【ワシントン二日發國通】ル大統領は二日米國議會に對し關税率引下並びに互惠關税交渉に關する獨裁權附與を要求した特別教書を送つた、特別教書の要旨左の通りである

余は議會に對し余が諸外國と通商協定を締結しこれを愼重に定められた期限内において實行し現行關税並びに輸入制限を緩和する權限を附與すべきことを要求する、斯くの如き方法は米國の農工業に利益を與ふべきものと思惟する、今日國際貿易は一九二九年に比しその量において約七割の減少を示し、之に對し諸外國は相互に互惠通商協定を締結することによつて國際貿易における自國の分前を獲得しつゝあり、而もその數は漸次增加しつゝある、從つて若し米國の農工業上の利益が國際貿易において相當の地位を保持すべきものとすれば、米國政府は宜しく愼重に考慮されたる計畫に基き迅速にして且つ決定的な交渉を開始してその地位を獲得すると共に適當な機會を捉へて國産品の補足となる外國生産品に米國市場を提供し得るやうにしなければならぬ

獨裁權政府案
下院に提出さる

【ワシントン二日發國通】關税引下並びに諸外國との互惠通商條約締結權要求に關するル大統領の教書に引つゞいて右に關する政府案が下院に提出された、政府案の内容は未だ公表されるに至らないがその内容は左の如きものと確聞する

一、大統領に對し諸外國と互惠關税協定締結の權限を附與する
一、右協定の期間は三ケ年以内とす、但しその後期限を定めずに之を延長するを得るものとす
一、一九三〇年の關税規定は之を廢止す

而して右法案は五月中旬頃までに兩院通過の見込みである

欣喜雀躍の五族
滿洲旗人＝滿族＝漢族＝原住各民族＝白系露人

待望久しかりし滿洲帝國は遂に成立した、廣袤七萬七千方里の大滿洲國内に住む五族の歡喜今や頂天に達し北はアムール河の畔から南は萬里の長城の邊に到るまで山川草木、鯨波のうねりを作つて帝政の彌榮を絶叫してゐる、この聚ある融和のコーラスを聞くまでの五族の歷史的過程を展望して見よう

(1) 滿洲旗人

全滿及び北支を通じ數十萬に及ぶ滿洲旗人は帝政成立を恰も桃源の夢園を現實に把握したかの喜びをもつて迎へてゐる、先に新皇帝が滿洲國執政に就任されてからも彼等は昔ながらの「皇上」の敬稱を用ひ崇敬の念を忘れなかつた、假令四百餘州に非ずとも清朝發祥の由緒ある滿洲の地に舊宣統帝が帝位に即位されたことは彼等にとつて無上の喜びでなくて何であらう、華やかなりし清朝が邪雲に閉されて以來これ等旗人も悉く顚落の憂目を見、加ふるに國民政府の重壓は彼等の生活まで剝奪し支那が民國である限り前途暗澹たるものであつたが滿洲國の國礎成るに及んで始めて蘇生の思ひをなしこの度帝政運動起るや眞ッ先に馳せ參じたものである

(2) 滿漢民族

歷史的關係からいへば滿漢民族は曾ては征服民族と被征服民族の關係であつたが、滿朝二百七十年の歷史は兩民族の融和混合を遂げしめ同化を防がんとした時の爲政者の努力を無爲に終らしめた、今日の兩民族の間に何等の差異を認めず新皇帝は滿洲國地域内における凡ゆる民族に君臨する皇帝である、過去二ケ年の僅かな歳月ではあるが滿洲國建國以來遂成せる治績は政治的、社會的に康熙乾隆時代に優るとも劣らざるものあり民族の感情や歷史を超越して新帝の王道治下に馳せ參ぜんとする意欲は遂に新帝國を建設する大なる原動力たらしめたことは勿論である

(3) 原住民族

滿洲國々境地方の原住民族たるブリヤート、ゴード、ビラール、オロチヨン、ラホール、チプトン、ソロン、ギリヤーク、チンバルク、エルト等の舊政權時代全く忘れられた數々の民族は過去に於て新皇帝の祖、愛親覺羅家の恩德を蒙つたことを想起し一視同仁、善政を以て臨む新帝の大御心に感激、尊崇の念は彌增し、この君の爲なら死をも惜まざるの決意を固めしめ原始民族の清純熾烈な感情を帝政運動に捧げ來つた彼等の念頭には曾に「仁愛道德を主旨とし種族の偏見を除く」の宣言にすがらんとする向上の希求あるのみである

(4) 白系露人

帝政運動が擡頭せる頃當局を驚歎させたものゝ一つにロシア語の歎願書が多かつたことが數へられてゐるが、それはいはずと知れた白系露人が憧れの帝政を祖國に求めんとして求め得ず王道國滿洲國に安住の地を見出さんとする努力の表現であつた、それだけに彼等の願ひは眞劍でハルビンに本部を置き全滿にシステマテックな帝政運動を行つてゐた、この宿願は天意の叶ふ所となり茲に滿洲帝國の誕生を見るに至つた、彼等の第二義的欲求は國籍法の制定を促進せしめ滿洲國人と變らぬ新帝の赤子として從來の無國籍者の悲哀から離脱せんとすることであることは言ふまでもない（寫眞一日國都奉迎の白系露人）

南京政府の新飛行機

【ニユーヨーク發】日支事變以來飛行機の異常な効果に驚いて空軍整備に狂奔せる南京政府の註文により今回新たにセントルイスの一飛行機製作會社が製作した病院飛行機兼軍爆撃機がこの寫眞です、近日有名なスピード・パイロット、フランクス・ホークス氏が同機を携へて渡支の上支那政府首腦部の前でその性能試驗を行ふさうです（寫眞は一千ポンドの爆彈を機中に百ポンドの爆彈を翼下に装備した南京政府註文の新飛行機）

英空軍擴張
四個中隊增設費計上

【ロンドン二日發國通】英國航空相は二日一九三四、三五年度航空豫算案を發表した、新豫算案は前年度に比し十三萬五千ポンドの增額で新に空軍四個中隊增設案を計上してゐる、豫算案の要旨次ぎの如し

豫算總額（一九三四年度）　一七、五六一、〇〇〇磅

增設四個中隊の分屬
英本國空軍二個中隊
海外屬領飛行艇隊一個中隊
艦隊附屬飛行機一個中隊

右四個中隊增設の結果英國空軍の勢力は左の如くとなる

正規飛行中隊　八十一個中隊
補助飛行中隊　十三個中隊

滿洲國は順調に發展
外人記者の感想

【新京特電三日發】滿洲國大典報道の任務を帶びて世界各國から首都新京に集まつた外人記者は連日各方面に活躍して盛典の模樣及び帝制實施の滿洲國内における政治的反映等について報道してゐるが大典の盛儀を親く拜觀したロンドンタイムス記者ミッケル氏はその感想を左の如く語つた

純東洋の古典的儀式を初めて見た吾々外人記者は實に莊重な感じを受けた、滿洲國に帝制が實施され、日滿兩國の熱誠なる協力支持の下に滿洲國政府が確立する樣を見れば、滿洲國の前途も順調に發展して行きその前途が吾々の目にも窺び知ることが出來る

立法院秘密會議
反日滿工作決定
孫一派の無謀な策謀

【上海特電二日發】汪精衛氏の親日政策に反對する孫科氏一派の消極的態度を手ぬるしとして二日立法院秘密會議において

一、國民政府は各國に滿洲國不承認を重ねて闡明する宣言を發表すべし
一、國民政府は討伐令を發すべし
一、奸漢制裁辦法を定むべし
一、國民に滿洲國に對する態度を闡明すべし

との四項を決定して政府に通告した、これに對し汪氏以下の政府要人はその突飛な決議に唖然として對策を協議中であるが、蔣介石氏が如何なる措置をとるかに注目されてゐる

【天津特電三日發】本日立法院會議において約二時間は秘密會議とし日本、滿洲兩國に關する報復辦法として四項目を決議し、これを政府に建議することに決定した、これにより孫科一派は排日の氣勢を煽らんとする模樣である

南京政府の憲法草案
國民大會に諮る

【南京二日發國通】憲法起草委員會において條文の整理中であつた憲法草案は愈々整理を終り一日發表された、一ケ月の間各方面の意見を徵求し之を斟酌して立法院において修正し中央にて訂正、起草通過を待つて更に全國代表大會及び國民大會に諮る筈である、右憲法諸項は全文十章百六十條よりなり特異の點としては

一、省を中央直轄の行政區とし縣及び市を地方とし國民大會の代表は地方を單位として一縣一市より各一人を選出する
一、教育經費は中央は最低政費總額の一割五分、地方は同じく三割
一、國民大會表意後國民委員會（二十一名）を設立、監察委員の提出案を處理する、若し案の性質重大にして解決困難の場合は再び國民大會を開催する

蒙古自治辦法
中央政治會議で可決

【南京二日發國通】紛糾を極めた蒙古自治辦法原則は二十八日の中央政治會議を通過し近く公布されることゝなつたが、右通過後汪精衛氏は在南京蒙古代表に之を提示し同意を得たが、彼等は一ケ月餘に亘つて監禁の狀態にあり、今その同意を得たとて直にそのまゝ内蒙人民の同意を得るや疑問で成行注目されてゐる、蒙古自治辦法原則は八項目よりなり蒙古の適宜の地點に一蒙古自治政務委員會を設け行政委員に隷屬し且つ中央主管機關の指導を受け各盟旗の政務を總理するといふを骨子としたものである

大典警備無了り安心
石井監察官談

【奉天特電三日發】石井關東廳警務局監察官は三日はとで歸旅したが、語る

大場局長は午前六時四十分旅順に歸任されたが、新京における大典の盛儀も日滿兩國軍警の十分な警備で聊かの心配もなく且つ大事件も發生せずして滯りなく終了したことは警備の任に當つたものとしてこれほど嬉しいことはない、これも三千萬民衆の赤誠から順天安民の實が示されたのであつて大滿洲國の治安は皇帝の登極を一期として大小の群匪は終熄し眞に平和郷となるであらう

宮脇代議士に反省を促す
全滿鄕軍聯合會

【奉天特電三日發】第五十六議會において宮脇代議士が在滿軍人は烏合の衆であると侮蔑の言葉を發したので、在滿各地の在鄕軍人會では俄然これを重大視し安東では宮脇代議士糾彈の決議をなしたが奉天各分會では寄々これが處置につき愼重なる協議を重ねつゝあり全滿鄕軍聯合會では何等かの形式をもつて宮脇代議士の反省を促すこととなる模樣である

關東廳辭令（二日）

從五位勳五等　清水本之助
敍正五位
從七位勳七等　水口宇三郎
從七位勳八等　鈴木辨之輔
敍正七位（各通）
勳八等　執行兼種
敍從七位
任關東廳醫院醫官　樋口修輔
敍高等官四等
關東廳醫院醫官　樋口修輔
補旅順醫院長
旅順醫院内科部長兼務ヲ命ス
關東廳醫院醫官　渡邊信
任九州帝國大學助教授
敍高等官三等
關東廳中學校教諭　屋代謙
依願免本官

リスアニア大連に領事館

リスアニアは過般來滿洲國の經濟調査貿易擁護のため滿洲に領事館を開設すべく計畫中であつたが、取敢ず大連に領事館を開設することに決定、目下日本政府と折衝中であると傳へられてゐる、滿洲國内に多數の在留民を持ち對滿貿易に淺からざる關係を有する

國際運輸會社新重役に小川氏
三日臨時總會開く

【東京特電二日發】國際運輸會社は三日臨時總會を開催したが今回同社海運課長小川宗一氏が重役に昇格する事となり拓務省の認可を得た

社說

文相遂に辭意を決す

鳩山文相は世論の囂々に鑑みて遂に辭意を決するに至つた。先日來議會に於ける岡本代議士の暴露戰術に端を發して、文相に對する種々の風說は兩院の問題となりたるは勿論、院外各方面に少からざる衝動を與へた。問題たる事項は縷指に遑なき有樣であるが、概說すれば、官吏及び議員としての職務に關して金錢の收受並に贈與及び犯罪證據湮滅にある。査問會の經過によれば、的確なる證據さてはないが、これを打消す材料もない。法律問題としては無罪を證明する必要はなく、從つて刑法上の問題とはなりかねるが、一般人心に不良の印象を與へたことは否み難い。近時一般に政黨領袖の身邊に不淨の事實あるを信じ、之れを淨化することが社會肅滿の爲めに必要だと考へてゐる際であるから、文相に懸けてゐる一般の嫌疑は頗る濃厚である。

◇

現時社會の汚濁は、政界の腐敗にあるとは一般の觀念する所であるが、教育の弊害が大に之れを馴致したものなることも一般の意識する所である。故に教育の形式的改善を必要と爲すのみならず、その內容殊にその精神の改善を最も緊急と爲すとが一般の問題となつてゐる。教育界に暴露された不祥事件としては各種學校の共產黨問題、小學教員、視學員等の賄賂收授、私立又は公立學校の不正入學問題、博士の賣買問題等があつて、教育界の醜狀は既に周知の事實となつてゐる。此際教育界刷新の最も緊要なるはいふまでもなく文相その人の人格の高潔が最も要求されてゐる。現に鳩山文相の如きも、教育改善の爲めには教員の人格を改善するを第一義となし、師範教育改善には此點に最も意を注ぐ方針だと、議會の答辯に於て陳述してゐる。

◇

此時に當りて、文相その人の身邊に兎角の風評が纏綿することは決して一般人心の快しとする所ではない。司法的責任はなしとしても、政治上の責任は免れざる可く、政治上の責任を不問に置くとしても、道德的責任を感じないかといふ議會の質問に對しては、一言も之れに抗辯する餘地はない。若し之れを政黨の情實、又はその他の情實によりて有耶無耶に葬り去るならば社會に及ぼす惡影響は測り知るべからざるものがある。此の事は內閣生死の問題などよりも、もつと重大な問題である。此處に文相の反省すべき重點がある。その辭意を決したのは、時機稍々後れた感があるけれども蓋し適當の處置であると認めざるを得ない。

◇

元來此の內閣は、政黨に根柢を置かずして政黨勢力を入れたといふ矛盾によりて成立した。當初文相の選任に當りても、人物本位でなくして政黨本位であつた所に破綻の原因がある。超然內閣ならば各省大臣は人物本位たるべきであつた。內閣は當分後任に專任者を置かず、首相の兼攝になるといふことだが、若し將來に於いて專任文相を置くならば是非共此の點に考慮が拂はれればならぬ。此の理は此の內閣に限るわけではない。凡そ教育界の刷新は法規改善の能くすべき所にあらず、必ずや文相の人格によりて先づ省內を廓清し、延いて教育界一般に對する反映を期すべきである。吾人は今日の此の問題を機として此の點を殊に提唱せんと欲するものである。

新に宮廷府直轄の禁衛軍を編成

新組織法によつて

【新京特電三日發】大滿洲帝國では君主制の實施と共に發布された政府組織法の中、翊衛軍及び護軍の制度を確立されたが翊衛軍及び護軍は共に各々四百名餘あつて從來翊衛軍は興運門外即ち宮廷周圍の警戒に當り、護軍は興運門內、即ち陛下の御身邊を中心に禁裏の御警戒を行ひ、何れも軍政部の隷下にあつたが、新組織法によつて護軍の名稱を廢止し軍政部統轄より切離し宮廷府直轄の宮廷警衛（皇宮警察）として、純然たる警察制度となし翊衛軍はこれを依然軍政部隷下に置き禁衛軍と改稱するが、この禁衛軍は所謂近衛兵であり從つて新組織法による翊衛軍、護軍兩軍隊の改編に當つては相當人員の增減があらうといはれてゐる

各種の記念事業

新帝國の善政を具現

【新京二日發國通】曠古の大典を國民の胸に牢記せしめ、且新帝國の善政を全土に遍かしむる爲め滿洲國政府並に各公共團體では、一日を期し左の事業の實行に着手することになつた

▲國立科學研究所　滿洲國に關する凡ゆる自然並に社會科學研究を目標とせる一大學術殿堂で、豫算三百萬圓繼續事業とし、首都新京に建設される。その外圖書館、博物館の造營計畫がある（文敎部）

▲承德の國立公園　舊清朝盛時の宏壯なる離宮が遺されてあるので、この風致を巧みに取入れ、百萬圓の巨費を投じ滿洲一の公園を造る、その實現は日滿文化委員會の研究を俟つて行はれることになつてゐる。（文化委員會）

▲建國記念塔　大同廣場に大理石の大記念塔を建て、塔の四面に建國功勞者の群像並に建國史を刻む。又別に協和會は、主要都市に民族協和記念塔を建立する（建設局並に協和會）

▲窮民救濟　窮民、孤兒、阿片癮者等救濟のため御大典豫算の中から多額の賑恤費が支出されてゐる。（民政部）

▲孝子節婦表彰　良風美俗鼓吹のため全國から孝子節婦約三百名老齡者八十名並に教化に功勞あつた外人宣教師を表彰する。（文敎部）

▲郵便料の引下　國內郵便料並に日本行郵便料の引下げを斷行し記念切手、記念スタンプ、記念繪葉書を發行。（交通部）

▲全滿の綠化　例年行ふ四月五日の植樹祭を今年は、大典記念植樹祭とし、全國を十町步四方の井桁形に割り、五十八間幅の地帶に植林十年を第一期計畫として滿鐵沿線より西に進み將來は蒙古沙漠地帶まで征服、全滿の綠化を圖る。（實業部）

▲防空協會　國都防備の完璧を期するため空の護りとして、日滿合作で防空協會を設立する。交通部、滿鐵等が中心となつてゐる（交通部）

▲上苑童兒團　英國のキングスカウトの例に倣ひ、新京童兒團を中心として上苑童兒團を結成、國都に住む兒童の皇室尊崇の念を養ふ。（滿洲國童兒團）

旅行者激增と準備

【奉天三日發國通】本旅行シーズンにおける鮮滿旅行者の激增を見越し滿鐵及び鐵路總局にては朝鮮側と協力種々對策を講じつゝあるが、殊に京圖線の開通により旅行者の關心は著るしくこの方面に向けられ現在判明して居るだけでも全旅行者の約半數は日本海航路に依るもので、鐵路總局では此等團體輸送のため臨時列車の運轉等種々計畫を樹てる一方鮮滿案內所を通じて國線全線の事情紹介に大童となつて居る

日佛銀行は今後對滿投資に活躍

對佛爲替獨占は喪ふ

【東京三日發國通】わが對佛貿易は從來全部日佛銀行を通じて決議されてゐたが、昨秋正金銀行がパリ出張所を支店に昇格、積極的に營業を開始したので、日佛銀行の對佛爲替獨占は失はれた、しかし同行は今後行はれるフランスの對滿投資にその仲介機關として大いに活躍するとみられてゐる

大連市參事會

各議案原案通り同意

大連市參事會は三日午後一時より開會、市提出の左記諸議案に原案通り同意した

一、昭和八年度市稅戶別割等級更訂の件

一、退職死亡給與支給の件（近藤前收入役に對し金一萬圓）

一、豫算追加の件

一、豫算追加更正の件

一、臨時委員制度廢止の件

一、常設委員規程中改正の件

一、臨時市場改善委員規程制定の件（市制施行規程第五十條により市議十一人を以て組織す）

一、大連市特別稅歡興稅規則制定の件

一、大連市特別稅出張販賣稅規則制定の件（賣上高の百分の三）

一、納稅獎勵規則制定の件

因に歡興稅規則より主要條文を拔萃すれば左の如し

第二條　歡興稅は營業用舞踏場において舞踏手を相手に舞踏を爲し舞踏料又はこれに類する料金を消費したる者に對しその消費金額を標準としてこれを賦課す

第三條　歡興稅の課率は消費金額の百分の四とし隨時之を徵收す但し稅額が金一錢に滿たざる場合は金一錢を徵收す

第四條　歡興稅は納稅義務者より直接其の消費金額の支拂を受くる者を以て徵收義務者とす

承德在住の邦人一千名を突破す

【奉天特電三日發】關東廳派遣警察官承德初代署長として昨年赴任した關東廳警部門脇誠郎氏は旅順警察署勤務となり、三日朝赴任の途着奉したが、承德の近況につき語る

昨年吾々が赴任する當時は北票承德間には未だ匪賊が一萬數千蟠居してをり、なか〳〵危險であつたが、今では治安も全く恢復し何等心配なくなつた、承德の邦人も赴任當時は三百五十名位であつたが現在では千名を突破してゐる、吾々が都會に出るまで引ッぱツて行つたもので度每に散髮屋とか豆腐屋にいたそれだけ承德では何でも揃つてをり衣食には心配ない、派遣警察官の一行も土地に馴れ治安維持のため懸命に働いてゐる

大典參列將星夫々歸任

【奉天特電三日發】滿洲國皇帝の卽位式典に參列した井上守備隊司令官、板垣少將は二日歸奉、安藤要塞司令官、土肥原特務機關長は三日はさて歸奉、安藤司令官は下車休憩の後同夜十時半旅順に歸任するが、杉原部隊長は飛行機で來奉し直に錦州へ向つた

河野直三、柿本定男、金屋敷三雄、寒重則、横山初男、吉井壽雄、高橋一男、高橋茂、田代行雄、田中逸夫、田邊一郎、谷口三次、土橋良成、鶴田和平、津島嘉則、鶴野新助、中村榮作、武藤勝、內田榮造、植田義雄、中本正美、中山克己、中島文雄、上田秀次、野本勇、軍神貞一、安田信太郎、安田敬四郎、山田貞美、松山功、町田安隆、眞邊一男、福田五郎、藤田廣美、古河敬生、藤田茂太、小島岩雄、小島一惠、赤川凱雄、青谷進、青屋壽夫、澤田勝、鶴見二郎、佐藤利行、木ノ下泰、湊大八、御堂弘行、三牧滿、三笠秀男、宮崎滿洲一、三好喜久春、鹽見和夫、鹽見不二男、島崎梅次、下田力雄、白石昌治、平河達夫、森昌一

北滿を中心にホップ會社

滿洲麥酒會社に對抗

【東京三日發國通】曩に大日本ビールとキリンビールとが共同出資で滿洲麥酒會社を奉天に創設することになつたが、これとは別に北滿を中心としてビール釀造及びホップ栽培を目的に日滿合辦で資本金一千萬圓の大滿洲ホップ會社が設立される、發起人は池田長康、石井徹、淺野良三氏等で滿洲及び日本のホップの需要を全部充たすと共に安價なビールを供給せんとするもので、ビール工場はハルビン五社、一面坡一社、奉天一社を買收又は現物出資の形で統制して自社工場となすが、以上七社の能力は年產約四十萬箱の豫定でその他清涼飲料水、醬油も釀造する、滿洲ビール會社との間には工場設置につき地域的協定をなす、株式は日滿發起人及び現物出資會社が大半を引受けるが、三萬株は公募する豫定で、池田氏は最後的協定をなすべく四日東京發渡滿し二十三日頃歸京直に發起人會を開き四月上旬創立總會を開く筈、斯くて滿洲國の南北に各一社づゝビール會社が創立されるので、當然販賣競爭が豫想され滿洲ビールの新式設備の太刀打ちとなる譯で早くも興味を以て見られてゐる

國線沿線に於ける商取引具體方法

奉天各關係者協議會

【奉天特電三日發】鐵路總局國線沿線產業開發につき商取引その他一般經濟關係等につき總局地方課では鋭意調査中で、瀋海、奉山線の背後地調査のため地方事務所勸業係で旣に瀋海沿線を了り奉山線に着手中である、將來「滿洲國線」の開拓は國線から出すため努力して交通と產業發展を期して後三時からヤマト旅館で地方課主任、土地係主任、小田產業係主任會同の上、具體的方針につき懇談、天賞易組合上田氏、所、實業廳、市商會等關係者を招待し國線取引の具體的方法の意見の交換を行ふ

育成學科試驗合格者

滿鐵育成學校の二百五十名のうち一詮衡（學科試驗）の十二日口頭試問の格者を決定する。生田伍、居藤春夫、濱田武夫、恩田行雄年一、河野光

英國のラグビー

ツウイツケナムの試合

（下）　倫敦にて　星名 泰

日本ラグビー界の名スリークオーターであつた滿鐵鐵道部星名秦氏は滿鐵より歐米留學を命ぜられ昨年末渡米したが左に掲げる通信は同氏の第一信でラグビーの本場イギリスのラグビーが詳細に記述されて居る

大分長くなりましたが、試合は三時キツカリに初まりました、プレーヤーは三時二、三分前に出て來て直ぐポヂションにつくといつた次第です。

試合振りは一般的にいつてやはりれるものが少ないので球が一ヶ所に止る事が少くて常に動いてゐますので見てゐて面白いです、密集と日本で稱してゐるものはルーズ・スクラムの譯名としては不適當で、スクラムとルーズ・スクラムの差は殆どわからないといふてい、程ルーズ・スクムがタイトスクラムに似てゐます。一詰りルーズスクラムは總ての人が殆ど立つて行はれてゐます其他の事はリバース、リターンパス、クロスキック、ショートパント所謂蕃ちやん（註香山氏）のオープンプレーの通りつまり現在の日本におけるやうなプレーが日本におけるやうな各プレーヤーの巧さで行はれてゐます、又バックメン等のサイドステップ等も始終使はれてゐて、しかも殆どつぶされて失敗してゐます、日本と同じです、唯小生が心配しまのは體力とダッシュとそれからタックルの技術それだけが少し日本人の方が拙いのではないかと思はれたやうな次第でした。

×

プレーヤーはルールをよく知つてゐる樣子なのも少し日本よりいゝやうな氣がしました、ルールといへばレフエリー級は少しもラインアウトのナットストレートなどりません、スクラムは日本における如く非常によく廻ります、廻るとハーフが一生懸命に直してゐました、ハーフの入れる球はやはり早いものです、フッカーの足の動きも早くハーフ側のフッカーのしかも外側の足が動くやうに分るのは止むを得ませんでせう、しかしフックはファースト、ロウセンターが蹴つてゐます、こんな事もありましたセンターが球が敵方にとられた時は兩足でとりかへしに行つてとう〳〵とつて了つた事もありました。

ですからそのセンターは兩フッカーにぶらさがつてゐて兩足はいつでも動かせるものと見えます。

その他氣につきました事は敵のキックした球は能ふ限りといつていゝ程マークしてゐる事です、ですからキックオフの球もチヤーヂが間に合はぬやうな場合はマークしてゐました、結果において損をしてゐる場合もありました。

×

例の點に有利なフオワーヅの蹴球のためにフオワーヅした地點時間を大分すぎてプレーの續けらるゝ場合は隨分ありました、隨分試合が間の拔けたものに感ぜらるゝ場合もありました、得點はケンブリッヂが二十二對五とリードしてゐましたものが、だん〳〵ハリケンのため得點され、二十二對十九迄になり、最後にケンブリッヂが五點とつて二十七對十九でケムブリッヂが勝ちました、得點の方法にはスリクオーターの得點、ドリブルのもの、ドロップゴールのもの種々見ました、ドロップゴールは可能性のあるやうな場合は必ずしてゐました。

試合中ケムブリッヂのものが一人足が折れたか何かで退場しました、そのため時間がのびるかと思つてゐましたがレフエリーは三十五分キッカリに笛を吹いてゐました。

×

要するに日本のラグビーと較べ合せて見て小生は非常に安心した次第でした。

日本のラグビーのプレーは英國のそれのやうに行はれてゐる樣子を見て安心した次第です、何等感心すべき特別のものもなく稍々私達が日本において足らないと感じてゐる事を彼等はもつてゐるといふに過ぎませぬ、またそれから蕃ちやんが眞當によく英國式プレーを日本に傳へられたものだとラグビーに對する蕃ちやんの理解力（失禮かもしれませんが）に感心した次第です。

どうも長くなりましたがこれ位で筆をおきます、またドイツにおちつきましたら書きませう。

![八相 投書歡迎]

八相　投書歡迎（十行以內にして下さい）

大連市は眠むる

一國民

◇空に五色旗飜へり、地に蘭花薫る隣邦滿洲國帝制布かれ卽位の大典行せられ國を舉げて歡喜の祝意を表す、邦人之に和して共に祝ふ時にあたりて母國に待望の皇太子殿下御降誕の宮中大賀催されて國民舉つてこの佳き日を壽ぎ奉り奉祝の氣分津々浦々に漲り渡る、日每の內地新聞はその報道で充たされて居る。

◇それに引きかへて共の日の大連は如何だつただらうか、遺憾ながら國旗の掲揚さへも見られなかつた、指導者がなくとも奉祝するのは國民の義務であり、喜んでも喜んでも何ほ喜び切れないのは國民の至情でなければならぬ。

◇隣邦の喜びに旗をかざして集まつた何萬かの市民はその日に何故集まらなかつたゞらうか、關東廳とか市役所だとかその他の公共機關は何故指導しなかつただらうか、隣邦の喜びを分ちて共に祝意を表した市民が默してゐた事が不思議でならぬ、在滿邦人の名にかゝはる事態だと思ふ、今後のため茲に筆者が訴へる所以です。

一寒生に訴ふ

正直商人

◇君が白米より一割高で買つた胚芽米は我等商人の手に入るのは十四キロ（約一斗）二圓也、質の良くない支那商人等は一斗ないものも二合や三合は直ぐ餘り込んでしまふ。

◇一升のお値段金二十二錢では別段高いとはいへないでせう、一錢でも利益を殘かなくては食ふことの出來ない商人です、悪賢マダム達に一錢でも多く値切れて目も當てられないのは商店でないでせうか、數多くの商店の中で二三惡い商店に會つて高い物を買はされ憤慨の餘り何處の店もかうだとは少し酷に過ぎませう。

◇正直安價、丁寧をモットーとして滿鐵消費組合、市場、さてはインチキ商人を向ふに廻して血みどろになつて戰つてゐる正直な商人の事をも少しは考へていたゞきたいと思ひます。

奉天醫學會例會

【奉天特電三日發】奉天醫學會例會は左の如く來る五日(月)午後四時十分より滿洲醫科大學醫院第五講堂に於て開催

一、多腺性內分泌疾患々者供覽　大友 薫

二、「カンフル」の止血作用に就て　李 天 鐸

三、本態性血壓亢進症の血壓に就て　野口 藤雄

四、慢性「モルフイン」中毒患者の瓦斯代謝に就て　小山田三司

五、滿洲熱の家族感染に就て　笠原源四郎

六、「チフス」性疾患に於ける赤血球沈降反應ノ診斷的價値　橋本 元文

七、硫黃療法の批判　望月 昇

八、熱性蛋白尿より見たる滿洲　松岡謙之助

人事

▲大場鑑次郎氏（關東廳警務局）三日午後四時四十分着列車にて歸連

大觀小觀

市況（三日）

株式

材料薄で保合閑散

內地後場保合にて氣配もなく諸株共閑散裡の保合であつた

特產

休日を控へ大豆弱保合

後場の定期は大豆は日曜を控へ買氣薄に弱保合を示し、豆粕、高粱は共に閑散弱保合を呈し、豆油は區々保合であつた

錢鈔

材料薄で鈔票保合

鈔票市場は材料無く當市も氣配もなく閑散

商品

麻袋見送り　綿糸軟り

綿糸　大阪三品後場各限一圓高と强調を入れ當市はバラ買氣あり小手合せみた

（株式・特產・錢鈔・商品・奧地市況・大阪期米・神戶期米・東京期米・大阪綿糸の相場表は印刷不鮮明のため判読不能）

奧地市況

家庭

質屋の"のれん"に大寫される世相

景氣好轉と大連婦人の着道樂

常盤質舖を打診する

すつかり春らしくなつたこの頃、無産階級の唯一の金融機關たる質屋さんの景氣はと羽衣町の市營質屋常盤質舖なのぞいて園師主任のお話をうかがひました。

秋から冬にかけては回收……受出しの金額が大變多く三、四、五月と暖かになるにつれてあべこべに貸附（預入）が多くなるのが例で今年もボツ〳〵

貸附 が増加して來ました勿論入質品の大半が衣類でその中に洋服が約三分の一、あとは大抵婦人方の着物です。この頃景氣がよくなつたせいか派手な所謂流行ものが目立つ、銘仙なぞ極く尠く大ていやはらかい縮緬や大島、大連の婦人方は確に着道樂ですね。昨年の秋から師走にかけての回收成績は非常に良好で景氣恢復の兆かと思はれます、大晦日など一日に二千數百圓の回收でした。本年二月末現在の貸附額は五萬四千六百三十七圓にのぼり昨今の貸附額は大抵毎日五百圓前後です。

一年 を通じて見ますと貸附の一番多いのは五月で昨年の貸附高は一萬九千四百六十一圓餘で貸附の一番尠いのは十二月です。

回收は何といつても師走で昨年十二月の回收額は一萬八千五百三十二圓餘、年末のボーナスが永い間倉の中にあづけた晴着を引ぱり出してくれるわけです。お正月は流石に質屋ののれんをくゞらうといふ人は尠く貸附、回收とも閑散です。これから二月、三月、四月となると人足がついて三月、四月とそろそろもう冬物も當分用事がないとあつて比較的金目の衣類がどん〳〵運び込まれる結果貸附額は非常な勢ひで増して來ます。五月の競馬シーズンになると馬券に一攫千金を夢見る

競馬 ファンが、その一張羅を、裝身具を金に換へるために貸附額は俄然狂奔するわけです。七、八月の海水浴シーズンは無産者の平和郷、でも九月も過ぎ十月も半となつて秋風が身に沁み初めると、そろ〳〵冬着が必要になつて俄に回收が殖えて來るのです。何といつてもサラリーマンの滿洲だけあつて毎日々々の數字にもサラリーマンらしい動きが

敏感 に見えます、先づ目につくのは月給日直後二十六、七日の回收（受出し）の激増です。日曜日の閑散さは流石にアットホームがしのばれて微笑ましくなるのです。

慶祝 "大滿洲帝國"

前島いづみ

破亂つひに大帝國はうち建ちぬ
乾徳仁慈の丹を戴き
三千民の翹望切に立ちましゝ
溥儀皇帝よ萬歳申す
大いなる我が友邦は滿蒙に
今暁の瞥晴をつく
もろ〳〵の妖雲ひそみ融融と
五色旗躍る康德の春
執政の登極まして長春の
都と共に榮ふ滿すくに

數日間で古代味が出る

『ウヰスキー』の釀造法

左黨の愛用するウヰスキーは、そのレッテルに書いてある通り七年とか、八年とか、長いのになると二十五年も三十年も時代が立たなければウヰスキーの本當の味が出ない事になつて居る。この譯は斯くの如き長い時代過れば、その中に含まれて居つたフーセル油だのエステルだのが取去らるゝからである。アメリカでは過去十四年間に渡つて禁酒法が實施された結果どの釀造家も酒を作る事をしなかつたので、急に解禁になつても、古い時代のウヰスキーがある筈がないので、どうにかして其の味を急に作らうといふ考へから種々研究中であつた處、近頃になつて名案を考へ出したらしい。その方法は内側を焦がした樽の中にウヰスキーを入れて置くと炭化した木片がウヰスキーの中のエステル、フーセル油、その他の味を惡くする含有料を急速に吸收するため、その目的に成功したものらしい。これは端なくも現れた秘密の釀造法である。

花壇の造り方【下】

滿鐵苗圃　伊佐義壽

彩色花壇

これは寄植花壇でありまして草丈が一樣で各種色の異つた同一期に開花するものを數種し地面を表はすことなく花壇一面を花で被はしめ、恰も彩色した樣にするのであります。これ等色彩の配合に最も注意を要します、形には圓形、楕圓形又は方形等が普通でありますす。

境彩花壇

生垣、塀、窓下の傍に設け建物とか他の花壇との調和を圖るもので……異なり開花期節等に關係せず後方に草丈けの高い種類を配置し前方に至るに從つて漸次矮性のものを植ゑるのであります。

ピラミッド花壇

圓形に土を盛り上げ中央に草丈けの高い……植ゑ付け四方から眺めるやうに造つたものであります。

簡易式花壇

最も手輕に花壇を造りますには木枠か煉瓦、玉石又はサイダーかビールの空瓶を節して並べて種々の形を取ります……

花壇の土はよくふるひ腐熟した馬糞、堆肥を入れてよく混ぜ草花を植付けるかちかまきにするのであります。花も一年中絶えることのない樣になるべく數多く混植することが必要です。花の盛りが過ぎ……は根元から切り取り次に咲く花の邪魔にならない樣にし、種子を採るものは取り、終つたならば切り取るなり、根をぬき取ります。かうすれば四季花を眺めることが出來るのであります。

家庭手帖

眉の引き方

下り眼の方ならば眉頭の角をおとし、眉尻は少し上げ氣味に剃ります。額の廓のはつきりした方は眉を細く下から剃り上げる方がよい、短い眉の方は眉の中程から毛なみに從つて黛を引き次に殘りの黛をもつて眉頭を作る眉は眼の切れ目より幾分長い方がお顔が引き立ちます。黛はキルクを黒燒にした粉末が一番よく眉刷毛の先を細くして眉毛の上に一、二回引きます。

キハツ油の再生法 —無駄に捨てるな—

お使ひなさい、瓶に入れて靜かに一晝夜ほど放置して置きますと、よごれや泥が沈澱して薄茶色を帶びた上澄が出來ます、濃い色物のよごれ物を洗つて濁黒になつたキハツ油は、無駄に捨てないで淨化して

お洗濯にはこの上澄でも結構です

一粒選甘栗と栗羊羹

甘栗太郎

AMAGURI-TARO

と、脂肪やその他のまじり物が苛性曹達と化合してすつかり沈澱しまるで新しいもののやうに澄み切つた美しいキハツ油が得られますが、白い物や淡色のものを洗ふにはこの上澄一合に對し蒸溜水一杯半の苛性曹達を加へよくかきまはして更に一晩も靜かにして置きます

RADIO

大連 JQAK

滿洲國帝制記念放送

三月四日（第四日）

◀午前六時卅分　ラヂオ體操第二

氷の記念碑　大連童話協會では滿洲國帝制實施記念として四日午後四時より大連放送局から山田健二氏原作の滿洲童話劇「氷の記念碑」三景を放送するが寫眞は同劇に出演する人々

◀午前七時　ラヂオ體操第一
◀午前十時　レコード
◀正午　時報、ニュース
◀午後三時三十分　ニュース
◀午後四時、四時三十分（大連より）滿洲童話劇「氷の記念碑」（三景）原作山田健二、演出大連童話協會、李秀高（池原重治）その父（香川岩雄）その母（野尻愛子）その姉（伊野政江）中村一等兵（石橋眞）中隊長（竹田幸雄）馬賊（峰尾滿久）公安隊長（高橋直）作曲及指揮野尻榮、擬音及効果加藤俊一、伴奏カナリヤ三重奏團
◀午後六時　ニュース
◀午後六時三十分（新京より）講演「御大典に列し所感を述ぶ」奉天省長臧式毅
◀午後七時（新京より）滿洲音樂（一）「牧羊巻」獨唱二鳳（二）「稀碑」同月紅（三）「六月雪」同文寶
◀午後八時（新京より）常磐津「勢獅子」（淨瑠璃）小唄、同小政同菊丸、同笑千代、同春子、同朝香、同清香（三味線）一馬、同奴、同富美丸、同梅奴、同千代香
◀午後八時三十分　時報
◀午後八時三十一分　ニュース、氣象通報
◀午後九時（奉天より）ラヂオ風景「康德元年三月朔日奉天」指揮並解説牧野劍、演出亞細亞輝子、遠山銀子、竹井良二、齋藤佐和、美興志映劃、滿洲醫大オーケストラ、滿洲醫大滿人音樂部、奉天音樂院、明星タンゴ・バンド、奉天公學校、和樂連中
◀午後九時四十分（奉天より）小唄と俚謠（イ）江戸小唄長兵衛（ロ）正調博多節（ハ）博多子守唄（唄）滿洲華（三味線）時子（二）（イ）雁首（ロ）三下り四季（ハ）本木曾節（唄）萬龍（三味線）時子
◀午後五時三十分（大連より）講演「法衣一枚で滿洲に旅して其の體驗を語る」田口省吾

日本棋院 秋季 大手合戰譜（第十四局）

先 三段 染谷一雄
初段 藤澤庫之助

一二三四五六七八九十土圭圭古圭夫七大丸

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

【1】

一八の四　〇二ホの三
三タの四　〇四ホの十三
五タの十六　〇六チの十六
七ニの五　〇八への三
九タの十　〇一〇ハの四
一一ヌの十七　〇一二レの十五
一三レの十六　〇一四レの十四
一五レの十　〇一六ヨの十二
一七ワの十六　〇一八ハの十二
一九ロの二　〇二〇ハの二

所要時間累計（白一時卅七分　黒二時十九分）（制限時間各七時間）

對局者のことば

黒　三は（ヨ三）の目外しに據るのが右上隅の配置に關しては普通ですが、特に譜の星をえらんでみました

白　六は（ル三）に控へることも考へてはみたのですが—

黒　控へられてもやはり七とコスムつもりでした、七を怠つて白から七、もしくは（ニ六）などとカケられては六が廣いだけにたまりません

白　八もここらでは絶對でせう

白　變則の布石ですから白も十と變態のシマリを執りました

黒　十三で最近よく見る様に（ヨ十四）にケイマするのは直に白（レ十七）と入られてもどうかと思ひます、十一が（ヌ十六）の星にあり、右下隅にも黒の配置があるならば無論（ヨ十四）に行つたでせうけれど—

黒　十五はどんなものでしたか、一方を十三とサガつたのに呼應してかくサガりましたが白十六とトバレてみると何となく生硬の形でした

白　十八はこの時適切なる着點ともさめるのに苦しんだのです、これについては後でも言ひますが、或は十八で單に（チ五）とトブなどがよかつたかも知れません

戰の跡

選手紹介—染谷三段、藤澤初段共に既に紹介ずみであるが念のために重ねて簡單にいへば前者は關西の重鎭久保松六段の門下昨春三段に昇つたばかりの猛者であり後者は小異清源と呼ばれる程、昨今賣出しの新進であつて今春から二段昇る事に決定してゐる、わづか十六歳の少年である、この顔合せなど實に容易に見られるものではない

◇黒三、五、九と例の三連星の新布石法に出た

◇黒十三にて（ヨ十四）のケイマが打ちにくい事は新布石法の本家本元たる木谷、呉兩五段もその最近の著書に於て研究發表してゐる所、それにしても十三また十五のサガリとは珍しい手法であつた

◇白十八、二十に就いては明日—

本社特選 新棋戰（其二）

平香交　二段▲松下力
平手番　初段△吉田六彦

【圖は八四歩迄の局面】

吉田氏持駒ナシ

▲七八銀　▲八五歩
△七七角　▲五三銀右
△六七銀　▲七四歩
△七八金　▲四一玉
△六九玉　▲六四歩
△三六歩　▲四四歩
△三五歩　▲四三銀

累計二十八手

土居八段講評

吉田君は敵の八五歩に對して七七銀以下櫓の堅陣に組む手もあるが、五七銀と上つて在る關係上櫓の陣形が重くて駒捌きに不自由を生ずるので譜の如く七七角と上り、輕い駒組みを執つたのは至當の對策である松下君の六四歩は已むを得ない方法であらう、但し六四銀の手もあるが、五八金、七五歩の際敵に六五歩と逆襲されては面白くない、吉田君が銀の運用を自由にする意味に一旦三五歩と指したは輕い好手。

荻原七段解説

吉田氏の七七角は、七七銀では五三銀右、五八金右、六四銀、六七金、七四歩と指されると八八角が重くなつて面白くないのである、松下氏の七四歩は、敵の七五歩を防ぎ肝要の手順である、續いて六四歩は、六四銀では直ちに六五歩と突かれても、又五八金と上り七五歩の時六五歩と突かれてこの六四銀は却つて敵の攻撃目標となつて面白くないのである、吉田氏の三五歩は敵に四三銀と上られては四六銀と捌いても、反對に四五歩の逆襲が殘つていけないので、三五歩と敵の陣形の不備に乘じたのは機宜に適した好着である、松下氏の四三銀は、三五同歩では四六銀と指されて悪いのである。

彌榮え彌盛なれ 地方賜餐に祝ふ乾盃

瓦房店

曠古の盛典を仰ぎ奉る此の日、春光麗かに正に青天白日である畏くも陛下より地方賜餐の御招待を忝し無限の光榮に浴せる日滿官民四百名禮服着用威儀を正して入場大饗宴場正面には皇帝陛下御眞影五色旗を掲げ紅白の幔幕を廻らし萬國旗を四方に張りつめ松竹梅の生花を飾り宛然神々しき式場水を打つた樣に吐息一つせず靜かに第一振鈴によつて着席荒川參事官恐懼して御眞影開扉一同禮拜三回李縣長地方賜餐辭恭しく奉讀次に荒川參事官縣長と同樣の辭日文を讀んで奉讀次に李縣長皇帝陛下の萬歲を唱和し賜餐の清酒折詰を賜つて溢れる感激と歡喜に滿ち善隣友好國と握擕して永遠に東洋平和を慶賀し午後一時滯りなく嚴肅莊嚴裡に終了一同禮拜して退下した

公主嶺

公主嶺の祝卽位大典賜餐祝賀會は二日正午公會堂を會場として盛大に開催招宴の光榮に浴した三百餘人の日滿官民は禮裝の襟を正し列席懷德縣長孫潤蒼氏の發聲に皇帝の萬歲を三唱乾盃宴を極め〇〇隊山本大隊長の發聲に滿洲國皇帝の萬歲を三唱目出度閉宴この日快晴慶祝日和とも云ふべき天候に高脚、小車、龍燈等河南河北の兩市を遊行戸毎に掲揚の兩國旗と奉祝の各種裝飾は春光に冴え夜に入り殊に異彩を放つたのは大同電氣會社公主嶺支店のイルミネーションにして美裝に意匠を凝し麗光燦爛不夜城の感あらしめ戸毎の奉祝燈も纏き一さしほ夜景を添へた

營口

大典の御佳びを頒つ地方賜餐は畏くも宮中勤民樓に於て行はせらる饗宴と時を同じくした二日正午全滿各地一齊に擧行された、營口に於ても正午何より賜餐に召されたる日滿官民七百餘名は大饗宴場たる公署前庭に參集す十一時四十五分合圖の振鈴に官民一同入場席につく慶祝準備委員長開會を述べ引續き楊營口縣長登壇して賜餐に對する皇恩の宏大さに浴する光榮を述べ既に尊置された滿洲國旗に禮拜し一同これに倣ふ、しかして降壇賜餐に移る再び縣長登壇して新皇帝の聖壽無窮を祝し三呼萬歲を音頭す參列者一同これに和して千代萬づ代を祝しつゝ退下した

遼陽

滿洲國皇帝卽位大典の地方賜餐當日の二日遼陽縣公署では賜餐場を城內第一民立中學校に設け、賜餐に招かれたる者日本側官民百五十名滿洲國人三百名外國宣敎師三名で正午迄に全部入場五十餘卓に着席するや濱田縣參事官の挨拶、王縣長の祝辭がありて支那料理を賜り、春見鞍山守備隊長は一同を代表して滿洲國皇帝の聖壽無窮と滿洲國の前途を祝福し沖遼陽地方事務所長の發聲で滿洲皇帝の萬歲を祝福する爲めに乾杯午後一時半一同退散したが賜餐者一同には特に記念品を贈與された

鳳凰城の賜餐

【鳳凰城】御卽位大典第二日の賜餐式は二日正午より城內蜚雲樓において擧行された、參列者日滿官民百五十名定刻開會、一同着席先づ新帝陛下の尊影と國旗に對し最敬禮、國歌合唱、叢縣長の賜餐詞、板津大隊長の祝詞、滿洲國皇帝の萬歲三唱、就餐、叢縣長の音頭で、日本帝國の萬歲を、田上署長の發聲で滿洲帝國の萬歲を各三唱、午後二時半盛會裡に散會した

歡喜に更けゆく 大石橋の慶祝
市街は感激のルツボ

【大石橋】滿洲國曠古の大典を壽ぐ康德元年三月一日は遂に訪れた旭陽仰ぎ見る頃から四方より歡喜揚り天は破れ地は震はむばかりの瑞氣に滿ち各戸を飾る日滿國旗の交叉奉祝燈と相映じ自動車馬車人力車に至る迄五色旗を飜へし午前八時早くも慶祝の海と化した

報告祭 午前九時大石橋官市民並に家政女學校小學校靑訓生は大石橋神社拜殿に參集し伊藤神職司祭の下に莊嚴なる報告祭を營み滿洲國皇帝登極の大禮を祝し謹みて寶祚の無窮萬歲を祈り次いで大典慶祝遙拜式は滿洲街第四高等小學校東大運動場において協和會及び民衆協同で大典慶祝遙拜式が擧行された、午前十時定刻日本側來賓古川守備隊長代理三浦警察署長並に各幹部倉橋地方事務所長以下幹部滿鐵各箇所代表大石橋地方委員小林議長以下各委員山下、三浦大石橋聯合婦人會代表その他官民並に箕田校長代理及び教職員に引率されたる小學校家政女學校幼稚園生徒約八百名滿洲側小學生六百名協和會九十分會代表九十名一般民衆老幼男女二萬人まづ國歌合唱についで大國旗を掲揚し大滿洲帝國萬歲を三唱し皇帝の御眞影を禮拜し委員長張香九氏の挨拶に次ぎ古川大隊長代理、三浦署長、倉橋地方事務所長の祝辭を受け寶祚の無窮を壽ぎつゝ式を閉ぢた

學生旗行列 午前十一時より式場を出發したる日本側學生滿洲側學生及び日滿有志一般民衆よりなる大旗行列隊は協和會の先導にて滿洲街を練り石橋大街より官撫街中央通りを經て蟠龍山忠魂碑前に集合し大滿洲帝國の萬歲を三唱したが一般民衆を加へ約一萬三千の小旗に依り蟠龍山を埋め五色旗颯爽として歡聲天を轟かした

祝賀宴 正午より公會堂において滿洲國側主催で大典慶祝大賀宴を催し、日本側より谷警備隊長、滿鐵各箇所代表居住市民有志の參加あり協和會九十分會代表と共に天壽の無窮を祈りつゝ歡宴未曾有の盛宴を張つた

古川大隊長代理三浦署長の祝辭あり宴中滿洲國美妓の斡旋にて一段の興を添へた、天を衝く奉祝門=皇帝登極の佳き日を慶祝するため大石橋市民電灯會社滿洲日報社合同の奉祝門が中央通正面に建設された、其の壯大なる美觀各戸の奉祝燈と相映じ三百の裝飾電燈と共に不夜城の盛觀を呈してゐる

新皇帝の御威嚴に 滿洲國民衆の感激
寫眞ニュースに集る群衆

【奉天】滿洲國宮廷から下げられた大滿洲國新皇帝陛下の御寫眞は各新聞紙上に於いて發表され滿洲國通信社では逸早く玉座を始め皇帝卽位の儀式其の他新帝の御寫眞を各樞要地域に貼出したが寫眞ニュースの前には多數の群衆が集まり眼のあたり宮中の盛儀と新皇帝を拜しいづれも大滿洲國皇帝たる御威嚴と仁慈を備へられし御風貌に齊しく感激し其の御威稜にうたれぬものはなかつた、皇帝陛下の凜々しい大元帥の御正裝に大元帥刀を御握りしめになつてゐるその神々しい御正裝の胸間には一國の皇帝としては恐れ多い話ではあるが勳章を佩用遊ばされて居られず唯一つ御佩用されてゐるのは勳章ではなく建國の徽章であつた滿洲國では賞勳局官制の制定されてゐぬ爲でむしろ新興滿洲國の意義深きものあることを民衆は深く感銘し群衆はいづれも新皇帝の御正裝から受けた大滿洲國建國の精神を語り合つて感激してゐた

歡呼の叫びに 慄へる吉林
◇朝から夜中まで◇

【吉林】東天は漸く曉りからさめ籠曉は暗を破つて曉を報じた天の岩戸は遂に開かれたのである打上げる爆竹の音花火の聲省城十四萬餘の國民は總立して溥儀皇帝陛下のお登極を祝し又股肱の臣として起つた瑞雲天に漲り瑞氣地に滿ちて萬民儀を盡して王德を謳歌して居る、今日許りは松花江の氷面さへ銀光を放ちて慶祝の渦中に埋もれて居る、各家の內外には日滿を問はず美化裝飾が施され省城全民は夢の如き幸福感にひたり、歡喜の渦中に投じて萬倫なく新皇帝君臨と帝政實施の喜びに踊れ舞へ歌へと歡樂に狂つて居る、當に曠古の盛事たる御大典慶祝大會は城內民衆運動場に於て十二時のサイレンと共に開會の幕は切つて落された

一齊に放たれた花火、爆竹の爆音高く集ひたる民衆すし詰めとなつて列席實に三萬餘國旗掲揚國旗敬禮に次いで國歌合唱有り三浦總長高壇に上りて省長代理の朗讀を行ひ、それより森岡總領事、佐藤中將代理中村少將各閣下の奉祝詞が有り、大滿洲國萬歲、皇帝陛下萬歲を三唱した時正に午後零時五十分

後一時大會場を出發軍樂隊の奏樂勇ましく先頭に立て、省公署前に集合これより約二里餘に亘る長蛇の如き旗行列は糧米行より新開門、日本領事館、大馬路、大東門、北新開門、警備司令部前、稅務監督署四胡同、通天街、三道碼頭北胡同、河南街より會場に戻り萬歲三唱同三時半頃解散した午後五時半よりは市政公所前を振出しに提灯行列を行ひ外に各所では映畫、講演、芝居其の他種々の餘興を演ぜられ日本側でも美妓多數を乘ぜた屋臺自動車が市街を練りドンチヤン〳〵と一夜は人の渦人の洪水を來しつゝ歡樂の巷に醉ひつぶれて居る

空は絕好の快晴に惠まれ稍冷氣あるも春風和らかに吹き渡る中を午

國鐵運送規則 四月より實施

【奉天】鐵路總局では旅客及荷物運送には從來各路局の區々な經營を踏襲し多大の不便を感じて居たが鐵路總局運送規程の制定に次いで此の程鐵路總局鐵路旅客及荷物運送規則並に同取扱手續を制定し同運送規則は來る四月一日の職制大改革と共に實施さることゝなつた

在鄉將校會

【遼陽】遼陽在鄉將校會は三日午後五時から滿鐵社員俱樂部で春季總會を開催の上細矢會長の毒瓦斯に對する講話、貴志軍犬育成所長の軍事に關する講話を聽き終つて懇親宴を催したと

工業實習所
入所者六十九名を發表

【撫順】撫順工業實習所では昭和九年度の入所許可者、機械科二〇名、電機科一五名、土木科一四名、採礦科二〇名、計六九名の氏名を二日左の如く發表した

▲機械科——大井源三、葛福久米雄、三宅司、岩根以德、西川清島田竹士、武友清、荒川次義、中保隆吉、大槻實、森滿法、草部二雄、淵江實、伊豆野清道、森內義弘、大村勇、渡邊良人、池田勉、末松滿治、本田重作

▲電機科——細田忠夫、寺田稔、西岡弘、高尾武次郎、茂木清藏、川久保純一、東仁一郎、三代信勝、金屋敷三雄、溝部善三、鬼塚秀雄、中村展巳、上田和夫、藤崎久雄、今里貞人

▲土木科——末永實男、能見中、岡見敏男、東條義治、中村利弘、有澤信孝、吉田民之助、長井東一、原田政行、小川定雄、柳田末茂、手島正英、鶴田和平、勝野勝

▲採礦科——宮本信雄、池田勝、佐々木公明、上田吉蔵、井手森茂、待永利治、久保國政、能仁基隆、前田里見、橫內義計、阿部正則、末永源五、足立功、品川節三、山木博臣、佐古榮、橘本勇、土山誠之、勝野茂次、米原孝政

軍事功勞者を陸相から表彰

【奉天】滿洲における軍事功勞者として今回陸軍大臣から五名表彰されたがその一人として市內琴平町七番地滿毛百貨店社員矢作房次(四〇)は感謝狀、銀盃、功勞章を授與された、同氏は千葉縣の出身で奉天獨立守備隊隊附後大正十年滿毛織會社に入り更に前記百貨店に轉勤した人でその間奉天靑訓生の指導員として盡捧し成績をあげてゐることは何人も須知の通りで感謝狀を贈られたのは滿洲では同氏一人である

慶祝畫報

1公主嶺の賜餐會場(公學堂) 2慶祝の渦(營口) 3奉祝塔(營口) 4奉祝行列(大石橋) 5滿洲帝國大國旗掲揚式(大石橋) 6奉祝門(大石橋) 7行列市中行進(ハルビン)

藝酌婦の檢黴

【奉天】附屬地料理店藝酌婦の檢黴はこれまで毎月一回乃至は五回施行されてゐるが事變前に比しその數二倍以上の四百四十名に激增してゐる今日二人の醫師で一日午後一時から四時までの間に檢黴をなしてゐてはとても醫師は過勞し綿密な檢黴は出來ないので毎月初回に限り二日にして之を施行することゝなつた

路立小學校の敎員を養成

【奉天】鐵路總局地方科では路立小學校の經營に意を用ひ十二小學校は三月の新學年に入つたので既に南滿敎育會敎科書編輯部の編纂になる滿洲國讀本、修身、歷史、地理、算術、日本語讀本等の敎科書を所管各路局へ配布して居るが之等國策的敎育には優秀な滿人敎員の養成を必要とするので特に總局の手により毎年五、六名の敎員を南滿中學堂に學生として入學せしめ一ケ年の課程を以て日本語の敎授を主として其の敎育に當るべく目下手續中である

僞醫者捕はる

【奉天】二日午前五時五十分奉山線にて朴橋子より來奉せる怪しい鮮人を驛警務が發見、取調べの結果彼は平壤南門居住金全元(三〇)と稱し醫師とか賣藥營業者とか申立てゐるがその證明となるべきものなく彼は日本醫師と稱し田舍に立廻り住民に醫療をなし暴利を貪つてゐるもので本署に引致嚴重取調中であるが被害多數ある見込みである

外人教育者懇談會

【奉天】日、滿、歐、米その他在奉外人教育者を以て相互に親睦を圖り教育の向上發展に資する懇談會は曩に滿洲醫大教授久野氏宅に於て開かれ大いに意義あらしめて散會したが第二回懇談會は來る十日午後四時から日、滿その他外人專門學校、中等學校、小學校の各學校長三十名は城內小河沿醫專校長テイラー氏宅に參集し教育上の問題につき種々懇談をなすと

旅順放送

▲關東廳各課長、米岡市長、岸田助役、村上議長及び市會議員一同は二日大連における福本稅關長の名を以て招待された大連ヤマトホテルにおける賜餐宴に臨席した

▲御卽位當日街頭へ進出日滿親善國旗章頒布は當日非常な好成績で一千四百餘個を賣上げその目的達成を爲した、尙ほ本利益金は支部の事業資金に充てる由

▲體育研究所旅順體育協會共同主催にて來る十日陸軍記念日當日午後一時からクロスカントリーレースを開催する參加資格者は學生々徒を除きたる一般男女十七歲以上五十五歲以下の者で山野無軌道跋涉のコースは當日指示する又コースの距離は八千米(約二里)で一時間半以內の歸着者全員へ授賞又外に年齡別着順賞を授與する由

▲愛妻を失つた奴壽し羽田直助君は近かく內地へ歸省再び來旅の上更生の商賣かへをなす事となつたので奴壽し店舖は今回竹內元三、笠松イト夫妻へ引繼ぎ從前の如く營業を行ふ事となつた

▲一日衛戍病院に於て死去した陸軍步兵伍長記室吉之進氏告別式は二日午前四時多數官民列席の上同病院內に於て擧行さる

▲乃木町三ノ二二鈴木政治氏長女初枝(二〇)さんは一日死亡

北滿向の內地蜜柑 輸送成績良好

日數二日を短縮、破損凍傷も少し 試驗の結果上々吉

【奉天】京圖線の開通と拉濱線の開通による經濟的貢獻の一つの現れとして從來ハルビン向けの五萬個の蜜柑は滿鐵社線及び浦鹽經由によつて居たが敦賀、淸津、新京を經て北鮮京圖線拉濱線を經て濱江に達する蜜柑の試驗輸送を二月に行つた、これによると從來大阪大連、寬城子を經たものはハルビン迄九日を要して居たが、今回の輸送試驗によると七日間でハルビンに到着し所要日數において二日を利するのみならず輸送中の破損率に於て社線經由の際は從來六百三十個に對して十個乃至二十個を出して居たが北鮮經路による場合一個しかない外凍傷等も南滿經由より淸津經由の方が遙かに少く、新經路の非常な有利を實證するに至つた淸津に於ける目下の輸送申込のものが一車あるも來年度よりは北滿の發展と共に從來の五萬個の蜜柑需要も二三割の增加を見るべく之等の大部分は北鮮拉濱線經由の新經路によるべく關係方面より多大の期待が掛けられて居る

國線の荷動き 强調に向ふ

二月下旬の出廻狀況

【奉天】國線の二月下旬の一般出廻及び貨車繰狀況は舊正氣分の薄らぐにつれ荷動き漸次盛返し下旬末に於ける持込は各局を通じ殆ど舊正前の狀態に復し就中吉長、吉敦局に於ける特產物及び木材類の荷動き目覺しく最近は每日一萬餘噸の持込を見つゝあるため一日の御大典氣分で本旬初めは一服の狀態に在るが漸次特に最近傳へられる北滿大豆減收說に刺戟され拉濱線發のものと共に荷動きは益々强調に向ひ貨車繰の逼迫は奉山線を除いて更に拍車を加へるものと豫想される、斯くして奉山、四洮、洮齊索、呼海各局に於ける荷動きに對しては各自局車及社車の返路を利用して之に順應し得る見込であるが、吉長局內に於ける堆貨は二月二十六日現在四萬五千六百餘噸を擁し瀋海局內持込も亦相當優勢を豫想されるので社線より瀋海局へ三九車、吉長、吉敦局へ七二車の廻車を受くる外主として拉濱線發貨物輸送用として瀋海局所屬車五十輛を吉長、吉敦局に融通し三月上旬各局の必要は全的に充たさるゝ筈である、なほ現在車數及上旬一日使用車數の割當は次の如くである

	運用車現在車數	使用車數
吉長吉敦	一、一七九車	四〇五車
吉海	一二〇	二六
瀋海	四八六	一六八
奉山	七六八	一六七
四洮	三七六	一一二
洮齊索	七一四	一一八
呼海	二五五	五五
計	三、八九八	一、〇五一

總局の日滿語 獎勵金

【奉天】鐵路總局では三月一日の創立を記念として鐵道從業員の人材養成のため鐵路學院を設ける外日滿局員にして滿人は日本語を日本人は滿洲語を勉强せしめる獎勵の意味から獎學金を支給することになり一定の標準語學檢定試驗に合格したものにこれを給與する由で、滿鐵で行つてゐる語學の獎學方法を滿人從業員に採用するが近くその具體的の發表をするさ

旅順 市九年度豫算 三萬餘圓減

總額十四萬九千餘圓

【旅順】旅順市に於ける昭和九年度歲入歲出豫算は去る二十四、六日の市會に於て可決確定を見たがその歲入部經常費は十一萬七百二十一圓、臨時費千五百圓、歲出部經常費八萬七千五百四十圓、臨時費二萬四千六百八十一圓合計金十一萬二千二百二十一圓の外特別會計市營住宅經營歲入歲出額七千百九十四圓にて前年度に於ける一般會計歲入歲出額十四萬九千二百四十二圓に比し三萬七千二十一圓の減額を示してゐる、これは主として市廳舍建築資金が無くなつた爲めである、而して九年度に於ける歲入歲出經常費及び臨時費細項目及び金額は左の如し

▲歲入部經常費
▲財產より生ずる收入一五五圓▲使用料及手數料一二、〇八二圓▲繰越金八、〇〇〇圓▲雜收入二一、八〇三圓▲市稅六八、六八一圓(法人四〇戶、一戶平均六七一圓四六錢、個人四、二五〇戶、一戶平均九圓七七錢)▲合計一一〇、七二一圓

▲同臨時費
▲物件賣却代二〇〇圓▲寄附金一、三〇〇圓▲合計金一、五〇〇圓

▲歲出部經常費
▲市役所費二七、三三四圓▲會議費二、六三九圓▲第一小學校費七、七六六圓▲第二小學校費五、三四四圓▲旅順公學堂費五、四七九圓▲學事諸費一〇〇圓▲衛生費二一、四五一圓▲途上給水費一、四四六圓▲屠場費四、二〇二圓▲火葬場費一、五五二圓▲救助費一、五五五圓▲社會事業費一、一二〇圓▲財產費一、三七七圓▲公金取扱費五〇〇圓▲雜支出四、〇七五圓▲豫備費三、〇〇〇圓▲合計金八七、五四〇圓

▲同臨時費
▲營繕費二、二五〇圓▲傳染病豫防費二、七六二圓▲積立金一、〇四〇圓▲公債費八、四二八圓▲寄附金六、二〇〇圓▲補助費五〇〇圓▲宣傳費八〇〇圓▲記念植樹維持費一〇〇圓▲下水材料製作費二〇〇圓▲雜支出一、四〇二圓▲衛生に關する諸設備費一、〇〇〇圓▲合計金二四、六八一圓

今は歷史的遺跡

執政迎立決定の場所

【奉天】滿洲國の生れるまでの重要な會議場となつてゐたのは瀋陽故宮殿內にある法學研究會であつた、丁度二年前の三月一日の滿洲執政を迎立する會議はこの一室で行はれ張景惠、趙欣伯、熙洽、臧式毅その他の幹部は茲に參集して迎立を決定した、それから恰度二年の今日皇帝登極の盛典があげられたが法學研究會はこの重大なる歷史的遺跡である(寫眞は法學研究會)

今後の奉天民會 前途は益々多忙

理事就任を前に 中原氏語る

【奉天】中原總領事館警察署警務主任は樋口前民會理事の後任として現職を辭し就任することに決定してゐるが氏は語る

警察官界に身を置いて今日まで來たが社會に立つては一年生で理事となつてから大に各方面からの指導を受け成るべく圓滿な眞の社會人として活動したい考へてゐる、居留民會は一種の公法團體であるから今後滿洲法權が撤廢されても公共團體として益々其の機能を發揮せねばならぬので特に鐵西に工業地區が設けられ居留民會管內にはいるのであるから工業地の各工場にたいする將來の民會としての方針も考慮せねばならぬ、勿論民會賦課金は徵收するが其れがいかなる形式で扱ふかは愼重に考究し合法的に行ひたいと思うてゐる、現在の民會は城內の居住邦人增加に伴ひ益々狹隘となつて來たので新らしく建設せねばならぬであらう、豫定地としては無料宿泊所の隣接地を利用されゝばよいであらうが、兎に角居留民會としては教育と衛生についても留意せねばならぬ問題で現在傳染病患者の如きは赤十字病院に四十一名收容され每日一名宛二圓十錢の入院料を支拂つてゐるやうな狀態で一日八十圓餘の經費を捻出せねばならぬ實狀にあるが居住邦人が增加すればこの點も亦大に考へねばならぬ

瀋海沿線の交通 一年間に大飛躍

小室勸業係員視察談

【奉天】滿鐵地方事務所小室勸業係員は二月三日より二十八日迄瀋海沿線の經濟調査のため出張中であつたが歸任左の如く語る

附近一帶は水田が發達してゐますし又こゝには滿洲國側の機關車もあり水質も好い樣です、料理店も數軒あります、通化には朝鮮人蔘が出、營口を經て上海方面へ大分出てゐる樣です、物產は渾江を利用し水運にて安東へ出ます、淸原を振り出しに山城鎭、柳河、通化、海龍、朝陽鎭、磐石、東豐西安、西豐を經て開原へ出て歸りました、瀋海沿線の治安交通は一年間の間に驚くべき發達を遂げ、瀋海列車も時間において一時間も短縮されてゐます、そして山城鎭より柳河通化へバスが出ますが唐聚五の勢力範圍にあるので危險視されてゐます又唐の發行した私帖が八百枚程あり回收が出來ず困つてゐる有樣です、從つて國幣も少なく財政狀態は餘りよくありません、磐石の驛前には淺野セメントの石灰山あり將來資金一萬五千圓に擴張する筈です、西安は御承知の炭礦あり現在一日一千二百噸位出してゐます、炭質も撫順炭に匹敵するもので次第〳〵に電化されつゝあり、安電燈會社も現在の電燈公司と西安電燈とを買收し將來は日滿合辦で百萬圓、一千キロ位にするさうです、カフエーも奉天から進出してゐますし、將來を相當期待されてゐます、同沿線は日貨が非常に進出し外貨としては僅か石油、マッチ位です、そして英米トラストと東亞煙草は非常に激しい競爭をしてゐます、又國際の進出も目覺ましく金融も兼業してゐます、滿銀が朝陽鎭、山城鎭に支店を置き、正隆が西安に支店をもつてゐます、衛生施設は未だ完備されず、山城鎭に中屋氏が醫院を經營、西安炭礦附屬醫院、海龍に鮮醫、朝陽鎭にキリスト教の滿人醫がゐるだけです、學校も山城鎭に今度出來る筈でそれ以外には海龍に鮮人の學校があるだけである、瀋海線の將來は鑛產によつて維持されるのではないだらうか、淸原方面は非常に風景もよくつゝじは見物です

全滿 地委聯合會

【奉天】全滿地方委員會定時聯合會は來る十二、三の兩日奉天滿鐵社員俱樂部で開催されるが沿線二十一ケ所より多數議案が續々奉天地方事務所に提出されてゐる、今回は時節柄重要議案が討議される筈で各方面から非常に注目されてゐる

郵便料金改正

【營口】從來滿洲相互間(州內を除く)及び中華民國宛の郵便料金は書狀(封緘葉書を含む)二〇瓦迄每に四錢通常葉書二錢往復葉書四錢であつたが三月一日より右書狀を一五瓦迄每に三錢通常葉書を一錢五厘往復葉書を三錢に何れも日本內國郵便料金と同率に改正せられ從來の料金不同一の不便を除去された

婦人會の兵士慰問

【鳳凰城】鳳凰城自治會並鳳凰城婦人會では討匪のため出動中である獨立守備第〇〇隊將兵に對し其勞を犒ふため慰問品を贈るべく目下取纏め中である

勇士の慰靈祭

【奉天】三日午後七時より奉天佛教團主催の下に第〇〇團遺骨二體及び飛行隊一體、獨立守備第〇〇隊一體、合計四體の慰靈祭を運華寺に於いて行ひ、同夜八時五十五分發にて大連經由故國へ凱旋する

蒙古指導員 訓練所閉鎖

【海拉爾】昭和八年二月當時の特務機關長橋本中佐により開設を見た蒙古指導員訓練所は主事佐藤富江氏及岩上友添鈴木の各教官の熱烈なる意氣と犧牲的精神により偉大なる日本精神を注入多大の効果を擧げつゝあつたが偶々一身上の都合により主事以下の各員總辭職の結果この報國的な教化事業も一頓挫の形となり遂に一周年の今日閉鎖の止むなきに至つた

蒙古人啓發の急務たるや言を俟たぬ現下においてその尖鋭の本事業にして斯く形を滅した事は誠に遺憾に見られ蒙人側には殊に惜しまれてゐる

商業實習所 遼西に活躍

【營口】營口商業實習所にては營口背後の遼西一帶と熱河全省が營口に取つて樞要の物資供給地たるは何人も否む事の出來ない御得意先であるので今回同地方に見學を兼ねて實習旅行を爲すべく同所第一部生九名を野本指導員が引率して三月三日午前一時三十分營口を出發し先づ奉天に出て奉天午前六時四十分發午後零時半錦州に着、城內縣公署大倉利を訪ひ同地に一泊翌四日錦州出發實習を遂し〇〇朝陽に入り同地に一泊、五日朝陽を發し錦州に歸り更に山海關に向ひ同地守備隊、長城戰跡を訪ひ歸途實習を試み九日奉天に歸り同日午前十一時五分歸營の豫定で七日間の實習旅行は學生に與ふる實地學問特殊教育の要諦に觸れた結構なる催しである

女の部屋 (107)

林芙美子作 一木弴畫

誹謗(一)

不義の一夜は、然し非常に賑かに明けた。自由は人の心を麻痺させる阿片なのかも知れない。イヴェットの額にも、秋山の額にも、享樂の後の輕いたるみこそ見えるが、一點の曇りもなかつた。

カーテンを引くと秋の陽が、窓一杯にさし込んで來る。

——私の可愛いゝココ、ゆつくりれんれ、出來て?

——有難う。私のココットは?

——妾もよ。天國で聖ヨセフに抱かれて寢たやうに、ほんとに安心して寢たわ。

——朝飯は何?

——あなたは?

——君は?

二人はふつくらとしたベッドの中で先づ朝のお喋りを始めた。

——妾はね、シコレ入りの珈琲ミルクに、トーストと殼つき卵。

——ハムは?

——いらない。

——果物を少し?

——えゝ。

秋山は女の身體ごしに手をのばして、床頭机から電話を取りよせると食堂に持つて來るやうに朝飯の注文をした。

イヴェットは下から彼の腕の下を探つた。

二人は同じ巣の犬つころのやうに一塊りに縺れ合つてきやつきやつと騷いだ。

ばつたりとその騷音が止んで、二人が急に眞面目に

——あんた妾をほんとに愛して?

——うん。君は?

——妾は死ぬ程。あんたは?

——僕は死んでも死に切れぬ程

等と囁きかはしてゐる時、窓の外では、雲雀だの駒鳥だの、木の頂邊だのに屯して止つてゐた雀達が、途端にほがらかになつて靑春の諸を囀り始めてゐた。

秋山は太い溜息をつくと、やをら身を起して

——イヴェットの牝豚はほんとにお馬鹿さんだよ!

と呟き乍ら別室になつてゐる湯槽の方に行つて栓を捻つた。

——ノボルの方が餘程豚だわよ。妾死んでてよ!

だが勢ひよく迸り出て見る見る中に浴槽をやゝ蒼味を帶びた湯で充たして行く湯栓の音にかき消されて、イヴェットの愛の雜言は秋山の耳迄は聞えて來なかつた。

イヴェットもしどけなく亂れたピジャマの紐をしめ直して、のんしやらんとベッドを降りた。そして暖かさうな窓際に行つて其處から外を眺めた。

宿の庭園のすぐ向ふはだんだらの蜜柑畑になつてゐて、半分黄色に熟しかけた蜜柑が鈴なりになつてゐる。山の根を縫つてうねうねと、熱海の方へ、小田原の方への びてゐる白つぽい道には時々黑い小虫のやうな自動車が尾に白煙の土埃を捲きあげて疾走する。その土埃の中から、ひよつこり黑い豆のやうな人間や、のろい芋虫のやうな荷馬車が現れたりする。

その向ふには油のやうにとろんとした蒼い海が、銀鱗の白い帆艫をうかべて見渡す限り擴がつてゐた。

イヴェットは、突然驚の聲でも聞いたやうに、幸福さに胸の疼くのを感じた。そしてけたゝましく浴室にかけこんで、室內着を脫いで湯に入らうとしてゐた秋山の首に突然ぶら下ると、いきなりその唇に喰ひついた。

大満洲国帝政記念

絢爛！七彩の星火 春宵中天に咲く
三日を迎へて歡喜愈よ高潮 帝都新京・最後の賑ひ

【新京特電三日發】滿洲帝國曠古の大典も三日の第二饗宴を以て茲に目出度く最後の幕を閉ぢた

思へば一日の郊祭登極の盛儀を初め二日、三日の賜宴の盛宴、日滿官民合同の慶祝大會、持旗提灯假裝等の各種の行列、市民の奉祝餘興等に引き續く大典行事餘興に全市は擧げて奉祝の

歡喜 に醉ひしれ新帝陛下の萬壽無窮を賀し曠古の大典を壽ぐ市民の喜びは最高潮に達し晝夜を分たず狂喜亂舞し續け、而も大典三日間打ち續く快晴に惠まれ澄み渡つた蒼穹からは滿洲帝國の前途を祝福するかのやうに輝かしい陽光が帝都新京の上に燦々と降り注ぎ滿洲帝國を表徵する五色の國旗は春風を孕んではたはたと飜つた

大典三日目市民の熱狂は連日の活躍にも拘らず疲れの色もなく益々加はるばかり今宵一夜を

最後 と華やかなイルミネーションと古典的な龍燈の夢見る光が交叉する町々を滿洲色豐な龍燈會、龍鳳踊りがこゝを先途と亂舞する、この間を絶え間なく打ち揚げられる煙花の快よさ、爆竹の音の賑かさ、美しい七彩の星火が春宵の沖天に絢爛の花を咲かせた、夜空の波に乘つて夜間飛行が快よい爆音を立てながら地上の觀衆に應へる、奉祝に醉ひしれた市民の群は手に手に五色の旗をかざして愉快な高脚踊につれて五色の燈火も彩られた、奉祝軒燈の下をぞろ〳〵と

練り 歩く、イルミネーションの光に照り出された市民の顏は晴れやかな微笑みに今宵一夜で最後の幕を閉ぢる名殘の宵を惜むかのやうに踊り狂ひ高脚踊を眺めてゐる、かくて夜も更け十二時近くともなればさすがに人の數も少くなり歡喜と興奮の波は熱狂した市民の歡呼の中に大典最後の夜は更けて行つた

圖書を獻上 一般官吏から

【奉天特電三日發】三月一日の皇帝卽位の大典に對し皇運の無窮を祈るとともに滿洲國曠古の御盛儀を祝すべく一般庶民は種々お祝品の準備をしてゐたが時節柄節約を顧慮され一般の祝品を差控へよとの御思召しがあつたと洩れ承はる新皇帝のこの御仁德に一般庶民は感泣してゐるが官吏は特別の關係があるので簡素を旨として慶祝の微意を表すべくさき程卽位事務籌備委員會で決定し文武官より醵金その總額をもつて新皇居內に書庫を建築し圖書を備へて獻上することになつた、卽ち特任官月報額の百分の四、簡任官同百分の二、薦任官委任官同百分の一、上將百分の四將官百分の二、軍士以下百分の一を醵出し三月末までに國務院秘書處長宛に送附することになり、これがため奉天省公署においても各官吏はこの光榮に浴すべく旣にそれ〳〵醵金をなしつゝあり

設立打合會 大連交通安全協會

大連交通安全協會の設立に關しては旣報の如く數度關係者會合協議中であつたが旣に規約の成案、役員顏觸れの內定を見るに至つたので五日午後一時から大連署講堂で設立打合會を開き引續き創立總會を開催する段取となつた

內定の役員顏觸れは會長に大場關東廳警務局長、顧問に御影池大連民政署長、小川大連市長、山西滿鐵理事、入江滿電專務を推し評議員には飯島大連憲兵分隊長を始め各關係機關の首腦者二十九名を推薦、更らに幹事長には寺田大連署長その下に加來滿電電鐵課長及び三警察署長を幹事に据ゑる筈でその活動は各方面から非常に期待されてゐる

田口省吾氏 去る一月十六日、大連を出發し、全滿の皇軍慰問の旅に上つた熊本市求道館沙門田口省吾氏は凍結せる北滿の長い旅を終へて二日夕再びひよつくりと來連した

"あいや待たれよ" 春宵ストップ
大連署・不意打ちの車體檢査 運ちやんの大狼狽

春から夏へかけて增加するこれからの交通事故シーズンを控へて大連署保安係では二十八日午後七時から八時までの一時間不意打ちの自動車檢査を行ひ運轉手をふるひ上らせた、當夜は岩井保安主任指揮の下に土屋警部補の第一班を中央公園內に、川原部長の第二班を春日町ミドリ溫泉前に配置し疾走する自動車を片ッ端しから檢べた結果、通過車四百十五臺のうち違反八十一件を摘發した、違反の主なるものは

後部燈不明瞭四十一件を筆頭にスピード超過卅件、免許證の書換を要するもの四件、記號番號不明瞭三件、制動機不完全二件音響器不良、窓硝子破損の各一件及び無免許運轉が一件あつた

同署では今後引續き交通頻繁な街路で不時檢査を行ひ徹底的に「街の暴君」を取締る筈である

銃砲所持者檢査 大連署では旣報の如く滿洲國大典に際し銃砲火藥の取締完璧を期するため管內銃砲所持者千數百名に對し一齊檢査を行つた結果無免許の拳銃所持者一名を發見したのみで成績極めて良好であつたが、更に今後における不祥事防止のため拳銃所持者も奧地出張する場合でもいちいち所轄派出所に屆出てますことゝなり旣に携帶出張中の者に對しては調査を開始してゐる

青年・死の拳銃
祝賀の賑ひの中に 一切を闇に隱して

【奉天特電三日發】二日午後十二時頃商埠地天津大同社旅館二階三十七號室に投宿中の邦人甘利三郎(二七)が拳銃自殺を遂げてゐるのを旅館で發見し直に第八署に屆出てたので同署より司法係中島警部は領事館警察署へこの旨通知があつたので同署より現場に赴き檢視を遂げた、右の姓名は變名で身許一切判明せずベッドの上に寢たまゝ前額部をブローニング拳銃で一發射ち自殺のまゝ卽死を遂げ兩親、奉天署、旅館宛に簡單な三通の遺書があり他に新京のすし竹、金泰洋行等を記入せる紙片と所持金三十圓あるのみでその他は一切判明せず死體は假埋葬に附された

旅館側で語るところによると同人は三月一日午後五時頃投宿し同夜は南市場の密淫賣王某(二八)なる滿洲美人と樂しい夢を結び翌朝八時頃女に十圓を與へて歸し間もなく自殺を遂げたものゝ如く同日は各所に祝賀爆竹があげられてゐたゝめ拳銃の音に誰も氣がつかなかつたものである

兩親宛ての遺書は

御兩親樣、兄弟、僕の知るすべての人樣よ、さう〳〵僕は氣が狂つてしまつた、兩親さま何もいはない、たゞ永い間有りがたう御座いました、死に行く今の氣持は幸福であるといふことをはつきり認識して死につゝあります、では皆樣さようなら

M Y 生

目下身許調査中である

砂層にぶつかつて 俄然難工事となる
一部の工事計畫變更に迫らる 老松嶺のトンネル

滿鐵が滿洲最長のトンネルとして昨年來その貫通に努めてゐる圖們松花江線の老松嶺隧道(全長一八〇〇米)工事は鹿島、飛島兩組の手によつて南北兩入口から進められ本年六月完成の豫定で最初は兩方面共花崗岩の岩層で工事も順調に進捗を見てゐたが、俄然飛島組受持區が約四百米の奧まで掘込んだ時巨大な砂層に衝突し出水多量のため意外の難工事となりしかもこの砂層は相當深い見込が立つたゝめ建設局としてもこれが對策を講ずる必要から種々調査報告をまとめると共に佐藤局長また二月末日自ら現地の視察を遂げるところがあり、これ等數回に亘る調査の結果建設局としても一部工事計畫變更の必要を感じたものゝ如く、この點に關して八田副總裁の承認を必要とする關係から佐藤局長は急遽西川計畫課長帶同二日午後四時二十分大連發列車で新京に急行八田副總裁と會見、工事の現況を詳細說明すると共に今後の設計變更について種々打合せするところあつた、從つて同トンネルの貫通期は豫定を大分遲れるものと見られその工事の前途は相當難工事を豫想されるに至つた

金の生る木なら たとひ惡でも
一圓五十錢入り蟇口を盜む 金滿家の家主さん

二十數戸の貸家を持ち資產數萬圓の大家主、市內加賀町三六番地若田久幾(六九)は家賃滯納の店子に對し住んでゐる家の戸口に大きい「貸家」の札を斜に貼つて嫌がらせたり、結婚當夜といふに[illegible]いて追ひ立てを食はせたりして借家人との爭ひが絶えなかつたが昨年末店子である洗濯業某の

水道 を斷水し遂に營業妨害で大連地方檢察局の取調べを受け嶺前屯刑務支所に收容され最近保釋出所したばかりであるのに、今度は僅かに一圓五十錢在中の蟇口を盜んだ嫌疑で二日午後一時大連署に留置された――被害者は市內奧町鹿兒島館方附添婦須田ハル(三二)さんで、昨年九月末から若田方の一室を借りて同居中去る二十七日午後五時三十分ごろ金錢上のことから若田と口論、ハルは憤慨して家出したが蟇口を置き忘れたので取りに戻つたところ、ストーブの

横に 置いた筈の一圓五十錢在中の蟇口がなく若田は知らぬと頑張るので敷島廣場派出所に屆出た、直に安東巡査が若田方の家宅搜査を行ふと果して簞笥の抽斗から紛失した蟇口が現れたので若田を窃盜被疑者として本署に同行須貝刑事取調べの結果嫌疑濃厚となり、平常の惡家主振りもたゝつて遂に留置となつたものである(寫眞は若田久幾)

十九路軍 船中で兵變
南京に輸送の途中船員を脅迫 陳濟棠策動の現れ

【東京二日發國通】確實なる筋に達した情報に依れば第十九路軍二個團は二十日浦口附近三江口より南京に輸送の途中船中で兵變を起し船員を脅迫して廣東に向つた、尙十九路軍の元第五十四師長果は蔡廷楷の命令を受けて福建省に侵入し散在中の十九路軍敗殘兵を集めて廣東に赴かんとしてゐるが右は陳濟棠の策動ぜんとするあらはれでこれに對し蔣介石が福建省を鎭壓した餘威をかつて武力を以て廣東に向はんとしてゐると

眺望絶佳の古谿莊
溥儀新皇帝へ献上

滿洲國新皇帝卽位に對し長尾欽彌氏は靜岡縣富士川町岩淵の別莊「古谿莊」を溥儀新皇帝に献上することゝなり二十六日午後滿洲國公使館に丁公使を訪問しその言上方を依賴した「古谿莊」は今を去る卅年前田中光顯伯が別墅として營み、その後[illegible]長尾氏に讓つたもので面積約二萬坪、建坪九百坪、北に富嶽を睇め、南に駿河灣を抱いてその眺望は駿河隨一といはれ、新皇帝が御渡日の砌はこの地に安息を給はりたい――といふ氏の希望によるもので、日滿兩國國民外交の上に極めて意義ある企てといふことが出來やう(寫眞は富嶽を望む古谿莊)

通俗學術聯合講演會
來る廿三日第二回開催

本社後援の通俗學術聯合講演會は昨年十二月第一回を大連協和會館に於て開催し好評を博したが、今回第二回及び第三回の講演會及び講演者所屬學會の打合會を去る二月九日技術會館集會室に十二學會各代表者(滿洲農事協會、滿洲冶金學會は缺席)出席して開き、第二回の講演場所及び講演者所屬學會は左記の通り決定し、第三回も豫定として左記の通り新京に於て開催することになつた

第二回通俗學術聯合講演會
一、日時 三月廿三日(金曜日)
一、場所 大連協和會館
一、講演者所屬學會 技術協會、滿洲畜產學會、建築協會

第三回通俗學術聯合講演會
一、日時 四月中旬又は下旬
一、場所 新京高女講堂
一、講演者所屬學會 滿洲藥學會、電氣學會支部 滿洲農學會

なほこの機會に滿洲に於ける全學會を網羅すべく、鞍山鐵鋼協會に對し聯合參加を勸誘する筈である

陸軍記念日に 防空演習擧行
在齊畑○團にて

【チチハル三日發國通】當地畑○團では來る陸軍記念日の催しとして九日防空演習を行ひ十日には午前十時より在齊部隊の一部が龍江飯店より大南街に整列、憲兵隊の前にて畑○團長の閱兵の下に分列式を擧行する筈である

最後的取調 寫眞機商組合事件

全滿寫眞機材料商組合長樋口思七氏にからまる業務妨害事件は、法律的にも又社會問題としても重要性あるものがあるので大連署司法係では愼重な態度を以つて取調に當り組合が協定破棄者淺村洋行こと淺田新之助氏に對して取引停止を通告した大阪市南區長堀橋筋一丁目合資會社小西六商店に對し實情調査のため大阪府島之內警察署に依賴中のところ三日同署司法係から小西六商店支店長代理杉山國二氏の訊問調書及び證據品として組合が發送した取引停止の決議文が到着した

これによつて栢菅警部補は兩三日中に樋口組合長を召喚のうへ最後的取調を行ひ同時に不穩當な組合規約の自發的改正を慫慂する模樣である、なほ旣報の如く寫眞機商組合と同樣の刑事々件を惹起してゐる全滿蓄音器商組合に對しては寫眞機商組合の取調一段落を待つて嚴重取調に着手する筈である

門鐵從業員 献納命名式

【門司特電三日發】北風雪を交へて寒氣凛烈たる本日午後一時から門司市老松公園で門鐵二萬の從業員が一萬七千圓を醵出して陸軍に献納せる愛國一五號裝甲牽引自動車の献納命名式が擧行された陸相代理大谷十二師團長臨場、後藤門司市長を始め來賓百名、參觀者數千名、式は嚴かに且つ盛大に擧行され午後二時終了、それより裝甲車並に献納車の鐵條網突破の模擬演習があつた、献納車は純國產の九二式最新式全裝軌型にして軍用中小型のものに屬し輕快なる速度を以て各種の地形を征服する機運動性を有し戰場において戰鬪行爲に使用するの外各種牽引の任務にも服するものである

酌婦の失敗 市內元町五十二番地料理店福政こと小島タマ方では去る二月二日福岡縣福岡市から實松マサエ(二二)並に村上チヨカ(一八)の兩名をそれ〴〵前借六百圓三ケ年間の年期契約で抱へることにし、去る二月六日來連したが、着連後二人は病氣と稱して店に出ず十一日突然結髮にゆくといつたまゝ歸らず、遺書も發見したので福政方では逃亡と見込み沙河口署に搜査願ひを出した、ところがいろ〳〵と搜してゐたところこの程情夫江口信一(二六)と市內吉野町百番地柴野善次方に甘い戀の巢を營んでゐたところを探知、直に中屋刑事に捕つた

瀋海線バスの 遭難事件詳報

【奉天三日發國通】昨報、瀋海線バスの遭難事件に關しその後判明せる詳報次の如し

昨二日午前八時頃通化發山城鎭行き乘合バスが遇道河子を距る一キロの地點にさしかゝるや匪首宮龍及福龍の率ゐる合流匪約七十名の襲擊を受け警乘の警備員後藤正夫以下十名(內滿人三名)は直にこれに應戰約五十分にしてこれを北方に驅逐した、なほ運轉手田芝君は單身バスを運轉危險を冒して急を通化日本守備隊に報告した、よつて通化守備隊より約一個○隊山城鎭より警備隊○○名三林堡○○名直に出動該匪賊を追擊中である

醫師告發さる 天然痘患者を官廳の許可なく歸宅させた市內西公園町澁谷醫師は旣報の如く傳染病豫防規則違反者として二日午後一時大連署衞生係の取調を受けた結果遂に告發、一件書類を司法係に廻されたが近く卽決科料處分に附されることゝなつた

ルイズ孃 【上海三日發國通】再度櫻花の候の東京を訪問するフランスの女流飛行家マリー・ルイズ孃は一日午後四時油頭より飛來同四日京城經由東京に向ふ筈である

日曜講話 三月四日午後二時から本派本願寺關東別院で左の日曜講話がある
誓願 藤田布教使
安心 斯波輪番

安樂子

林滿鐵總裁は大學教授出身だけに「教育總裁」といはれてゐるが、滿鐵は元來が滿洲經濟の大動脈で教育はその事業の一つに過ぎぬといふ見地からこの綽名をあまり喜ばない。

◇

しかし綽は餅屋だけに滿洲の教育に興味を持つてゐることは非常なもので、時々學務課長を呼び出して「その後の教育狀況は?」と聞かれる

◇

三日もあすは上京とあつて忙しい時間を割いて有賀課長の說明を聽いた

◇

說明を終つて出て來た有賀課長の曰くが「總裁はいつも詳しくノートを取つて聞かれてこの前はこのところまで話を聞いたがその後はどうなつてゐるかと質れて來られるのでね」――さはこの頃の學務課長たるもの油斷が出

南蠻彩船 (60)

鈴木氏亨作　布施長春畫

曾呂利新左衛門 (二)

新左衛門はまた新左衛門で、あれだけいつたのだから、この侍も少しは謎が解けたらうと思つた。

そして、如何にも困難な仕事だといふ風に、首をかしげて凝と考へこんだ。

その實、腹の中では赤い舌をべろり、相手の胸中を偵察しながら次の出様を待つてゐた。

「御迷惑のことをお願ひいたしたにかゝはらず、直にお引受け下され拙者使として有難き仕合せと存じます。ついては、此度御成功下さるやう枉げてお願ひ申す次第ですが……それについては別に何か……」

「いや、別に、これと云つて…」

「しかし、いろ〳〵殿中でも、お味方を拵へる必要もあるでせうから、その方のことは、私までお任せ下されば……」

五郎三郎は、こゝまで云つて来て、さて最後の切札をどう出したものか惑つた。だが、思ひ切つて云つて見よう。もう大丈夫かもしれない――。

「そこで、主人とも、いろ〳〵熟議しました結果、甚だ失禮とは存じましたが、對面の儀御取計らひ下されますれば、千兩……千兩……いゝえ、何も別に、金が御盡力に對する感謝の代辨にはなりませぬが、たゞ、腹の中を打明けて申上たゞけて、お禮と云ふものを通貨に換算いたしますれば、或は、それでは濟まされぬことでせうがたゞ、例を取つて申上げたまでで……」

五郎三郎は語尾を濁した。

新左衛門は、占めたッ！と叫びたかつたが、ぐつとそれを押へつけて、わざとらしいまでに冷靜を裝ふ態度を見せた。そして、わは反り返つたものである。

「そのやうなことは決して御心配御無用と申し上げたいが――たゞ殿下がお許しになれば、これ千金萬金にも、換へ難いこと、助左衛門殿も名譽、拙者も働き甲斐があつたと云ふもの、これも、ものゝ譬へで御座いますれば、どうかお氣には留められず、單に、拙の意中を腹藏なく申上げたまでで御座います。ハイ」

「では、御執り成しが成功して、對面の儀許されますれば、御謝禮として一金一千兩差上ぐること、御承知下されませうな……」

「いや、それには及びませぬ」

曾呂利は、こゝで一應、斷つて見た。

「でも、主人助左衛門が、前々拙宅まで御越しを願つたとして、差上ぐる酒肴の料――と申して居りますので、他になんの意味もないことで御座います」

「と申して、それでは餘りに恐縮でございましく」

「いや、心おきなく承諾下され、有難き仕合に存じます」

山村五郎三郎は押しつけるやうに云ふと、立ち上らうとした。

「しかし、まだ、頂くとも……」

新左衛門、さうは云つて見たものゝ、心では一千兩占めた！と、取らぬ前に咽喉から手が出てゐるのである。

「では、對面の儀萬事よしなに御取計らひ下されたい。又御承諾の儀、主人まで申傳へねばなりませんから、これで御免を蒙ります」

五郎三郎は、慇懃に禮を下げると、急いで立ち上つた。

「でも、千兩のこと……」

と、新左衛門は、五郎三郎の申し出を承諾したやうな、また餘を押すやうなことを云つて、これも立上つた。そして、明日こそ太閤に對面して、この千兩の金をせしめてやらうと、滿悦に浸りながら五郎三郎を見送つた。

＝滿日俳句募集＝

▲次回課題　春めく、春の雪

　句數及び用紙に制限なし

▲投句所　東京市牛込區若松町八二　島田青峰宛

▲締切　三月十日

滿日柳壇課題

◇課題「春の街」「煙」「小言」

◇締切　三月五日（住所氏名明記）

◇句數　各題五句（各題別紙の事）

◇薄賞　佳吟に薄賞を呈す

◇宛名　本社編輯局川柳係宛

童話 テニスコート

石森延男作　武田一路繪

テニスコートは、ゆつくりと背のびをして、あくびをしました。あたりに生えてゐる樅の葉かげがいつぱいテニスコートの上におちてゐて、そこら中は、みどりつぽくなつてゐました。

三人の女學生が、まつしろな上衣をきて、ネットをもつてやつてきました。

はられたネットの上をゴム毬がはずんでとびました。

女學生は、蝶のやうにあつちにいつたり、こつちにきたりしました。

テニスコートは、青空の中に、白い雲でも仰ぐやうに、この女學生の姿をながめました。

×　×

日がくれました。

夜露がおりてきて、ひえびえしてきて、じんめりとしめりました。樅の葉をとほして、星がかがやいて風がちつともありません。女學生がおきわすれていつたハンカチが、コートのすみにおちてゐました。

まき風が吹いてきて、木の葉がちつてきました。コートの上を、落葉たちの群が、くるくるとまはつてはどこかへとんでいきました。晝間なのに、こほろぎが、なきました。

翅を傷つけたあげはの蝶が、ぱたぱたとおちてきて、コートの上に眠りました。

×　×

ある朝、目をさましたコートは肌に、霜が降つてゐるのに氣づきました。じーんとしみてくる寒さが、すみからすみまでとほりました。しづかに雪がやつてきました。

×　×

テニスコートは、ちゞまつて息を吐きだしました。白いものがもやもやと上つていきました。

さほいさほいところで獵銃がひびいてきました。つゞいて犬が吠えるのが、木靈してきました。

×　×

コートの上に、水が撒かれました。水はたちまち凍りついて、鏡のやうになりました。

黒い上衣をきた二人の女學生がスケートをはいて、鏡の上をすべりました。硝子をとほしてみる白い雲のやうに。

月夜は、きらきらと光つて、鏡をきたやうにこわばりました。

もくもくと腹の下をおすものがあります。あたゝかいものでした。テニスコートは、もう春が生れてくると氣づきました。

そしてまもなく鏡がさけはじめました。

ぬれた體を、なまあたゝかい風がかわかしてくれました。油繪具のチューブから、しぼりだしたやうな青い芽が、テニスコートを柔らかに踏んでくれました。

（上）北極へ北極へ……探檢船は進む　（下）これから使はれる最新式の潛水機

寶探し 地の中・海の中

海水に含まれてゐる金を採れば 世界中の人々が 五萬圓の金持に

尋常四年の國語讀本にコロンブスの卵といふ課がありますね、皆さんはコロンブスといふ人がアメリカ大陸を發見したお話をよく知つてゐますね、今のやうにひらけた世の中に住んで居るものから考へると全くおかしくなつてしまひます。

今では地球の上で人の役に立つものでは、もう大概のものが知りつくされてしまひました。一年の半分は晝が續くと云ふあの北極や南極も方々の國から探檢隊が何度も出かけていつて、その様子がよくわかるやうになりました。そんなにどこもここもすつかり解つてしまつたら、もう此の世の中には人間の役に立つものを見付け出すことは出來ないのかと云ふと、それは大まちがひです。私達の足の下には直徑一萬二千七百キロメートルもある地球があるではありませんか。この地球の中はまだたつた數尺の下でさへ何もよくしらべられてはゐないのです。さうしてその土の中の様子がどんなであるかといふこともよくわかつてはゐません。

それでこれからの寶さがしは何んといつても地中です。人間が土を掘つて中に這入つて行つてどの位の深さまで生きてゐられるものかといへば、約四キロメートルの所までは平氣ですが、四キロメートルは地球の半徑六千三百五十キロメートルに比べると千五百分の一にも足りません。ですから色々の工夫をしてこれからもつと／＼深くまで入つて行くことが出來るやうになれば地の中に深く埋まつてゐて、人間の役に立つ色々の寶がうんと見つけ出されるでせう。それから未だ手をつけられてゐないものには海があります。廣さが三億六千五百五十萬平方キロメートルもあつて平均した深さが三キロメートルもある、世界中の此の廣い海の中には取りつくせない魚や海草のあることは申すまでもありませんが、海の水の中には澤山の金が含まれてゐます。

海の中にある全體の金は丁度世界中の人に五萬圓づつ分けてやることが出來る程だといひますから大したものではありませんか。

こどもの考へ物 —第八十八回—

積つた春の雪 風は何風 ハテナ、北か南か

朝起きて見ると、町の電信柱や標識柱には、寫眞でごらんになるやうに、雪がドッサリついてゐました。雪が降つてゐるとき、何風が吹いてゐたのでせうか。わかつた方は來る三月十一日までに、大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄係」あてに、ハガキでお答へください。正解者には、いつものやうに二十名に限りご褒美をさしあげます。

第八十六回の答 お船の目盛

第八十六回の考へものは、お船が水中に沈んでゐる程合ひを知る目盛りでした。今度はいつもより、ズッと當つた方が多かつたのですが、籤をひいて次の方々にご褒美をあげることにしました。大連市内の當籤者には新聞社から通知のハガキをあげますから、それと引きかへに本社でご褒美をお受けとりください。沿線の方には直接郵便でお送りいたします。それまでたのしみにおまちなさい。

當籤者

▲公主嶺村越望▲撫順江頭文江子▲奉天石川旗男▲鞍山大西富美子▲遼陽山寺公平▲海城根田米夫▲金州疋田實▲旅順芳井敬一▲大連伊藤博重▲同森恭子▲同風呂崎セイコ▲同山崎齊▲同山上進▲同森イシ子▲同今津始▲同吉田元子▲同立山峰子▲同青木敏子▲同花田博喜▲同上田はり子

カナリヤ

クレヨン デ ヌルエ

コドモグラフ

タツタ二つの日傘やさん

日傘をつくりだすのは日本だけだなんてびつくりしてゐたら大まちがひです。こんどアメリカのクリバランドといふ所のヘルバーといふ六十一になるおぢいさんがさかんにつくり出しました。一本二十銭といふので、それがとぶやうに賣れてゐるさうです。ところが生れてまだ一年二ケ月にしかならないこの人の子供も、一生懸命にお父さんのお手傳ひしてゐるといふのです。

アメリカの雪だるま

雪がつもると、私たちはまづ第一に雪だるまをつくるのが何よりのたのしみです。それは日本ばかりではありません。アメリカあたりでもやはり同じです。アメリカのロサンゼルスでは冬になると、ふり積つた雪の上でさかんなカーニバルといふおまつりをします。その時はきまつたやうに雪だるまをつくります。「所かはれば品かはる」と言ひますが、あちらの雪だるまは、日本のとはまるでかつこうがかはつてゐて、手も足もチヤンとあるものなのです。

フウキン ガ オスキ

マダ 二ツ デスガ、ガツキ ヲ ナラスノガ、オヤツ ヨリモ スキダ ト イフ ノガ コノ オデヤウチヤン デス。フウキン ニ カケテハ オトナ ヨリモ ジヤウズ ダ ト イフカラ オドロクデハ アリマセンカ。イツモ ジブン ノ カラダヨリモ、オホキナ フウキン ヲ テバナシタ コト ガ ナイ ト イフノデス。コンド ニューヨーク ノ オンガククワイ デ オトクイ ノ トコロ ヲ ヤツテ ミセル サウデス。

逃げることを知らぬ ドイツの騎兵隊

歯をむき出したいかいしやれこうべと太ももの骨を交へたすごい徽章を帽子につけ、同じ印の旗を先頭に勇ましく進んで行つて退却することを知らないドイツの騎兵隊、戦争の時は死んでも後へ引かないといふことを合ひ言葉にしてゐます。

珍らしい印刷機械

ドイツのマインツといふ博物館にはこの寫眞で見るやうな昔式の印刷機械がかざられてゐます。これは今から五百年ほど前グーテンベルヒといふ所で、はじめて使はれたもので、第一番にこの機械ですられたものはキリスト教の聖書なのです。こゝにひろげてあるのはその時の聖書です。

女聖人のおまつり ローマ法王様

ローマ法王ピウス十一世は、こんど聖人とよばれる人をきめておまつりしました。その聖人といふのは、今から百五十年ほど前、多くの人々の病氣をなほしたり、學問を教へたりして、一生を世の人のためにさゝげたギボンナ・アンライダ・ソーレットといふ女の人なのです。この寫眞はバチカンの町の有名な聖ペテロ寺院でおごそかに行はれたその時の式の有様です

ファインダーをのぞいて春を拾ふ

蘭

る

薫

窓下の娘貧しきに囀れり

春愁や檻に
轉がる菓子一つ

春めぐや友呼ぶ聲の朗かに

目貼り剝ぐ南の縁や友來る

手も足も伸びし子供や園の春

ナンセンス物語　ギャング退治珍案

濱田邦輔作　武田伊知呂畫

【一】

「あゝ愉快々々、實に愉快、何とも愉快、いや實に愉快で〳〵たまらない！」

と鱚井澄雄君が玄關から大聲で言ひながら、飛込んで來た勢ひで、そこへ何事か起つたのかと、眼を圓くしてあたふた出て來た妻君を捕へ、いきなりフォックストロットを踊りながら、廣くもない書齋へ這入つて行つた。

「まあ、あなたは氣でも狂つたんですか、いきなりあたしをつかまへて、ブン〳〵振り廻して、眼が廻るぢやありませんか、あたしは普通の身體でない事を、あなたは忘れたんですか」

「あつさ、いけない、さうだつたつけ」

「さうだつたつけぢやありませんよ。御覽なさい、斯んなに動悸が高くなつたぢやありませんか」

「謝る〳〵、ツイ愉快なことがあつたもんでから、スッカリ亢奮して了つて、いや、決してその、惡氣でやつた譯ぢやないんだ。抑々夫婦は苦樂を共にすべきものであるといふことは、君が常に口癖のやうに言つて、僕の耳にはたこが出來てゐる事柄であることは、君は決して否定しないであらう」

「そんな事、當然過ぎる當然ぢやありませんか」

「その當然過ぎる當然であるが故にこそだ、僕は今夜の愉快を君に分つべき義務があると思つて、五十錢のタキシーを四十錢に値切つて、一分間でも早く我が家の玄關に辿りつかんものと……」

「口先ばかりで誤魔化さうとしたつて、ちやんと分つてゐるから駄目です。あなたは內證でダンスホールへ行つて、散々踊つて、一人で愉快になつて、家へ歸つて來て肩で息してゐる私の顔を見ると、急に良心が咎めたから、踊つたり喋舌つたり、照れ隱しばかりしてゐるのでせう」

「待ちたまへ〳〵、如何に女性はデリケートな神經の所有者であるからと言つてさうまで神經過敏になつてくれては困るぢやないか」

「神經過敏になるやうには、一體誰がしたのです。お醫者樣は何と言ひました？兎角婦人は妊娠中は無暗と神經過敏になり、物事に亢奮し易いから、夫たる者は十分に注意をして、姙婦の神經を昂ぶらせないやうに、毎日の出勤歸宅は最も時間を正確に、特に少しでも歸宅の時間が遅れるといふことは姙婦に取つては堪へられないことであるから、その點は大いに注意しないと、どんな不慮の大事が起るかも知れないと、あんなにまで注意されてゐるぢやありませんか。それだのにあなたはもう一體幾時になると思ふのです。九時を二十分も過ぎてゐますよ。會社を五時に退けて六時、七時、八時、九時、四時間と二十分經つてゐるぢやありませんか、四時間もダンスホールに踊つてゐたら、チッケットは何十枚、いや何百枚も買つたでせう。一枚二十錢、百枚で二十圓、二百枚で四十圓、三百枚で六十圓、四百枚で八十圓、さ、月給袋を見せて御覽なさい、九十五圓の月給で、積立金とお辨當代を差引かれても、八十圓は無ければならないのですから……」

「おい〳〵、息もつかないで、よくもそんなに雄辯が發揮出來たもんだな。君の雄辯には平素から相當に敬意と遠慮を拂つてゐるのだが、今晩の大雄辯に至つては、結婚して以來十一ケ月、將に第二世が三ケ月後に生れんとする今日に至るまで、未だ曾て聞いたことのない大雄辯だ。所で君は何を證據に、僕が內證でダンスホールへ行つてチッケットを二百枚も、三百枚も買つたと斷定するのかは知らないが……」

「あなたが狂氣じみたはしやぎ方をするからです」

「さ、そこだ、僕が狂氣じみたはしやぎ方をしたからと言つて、それを以て直にダンスホールで二三百回續けさまに踊つたといふ結論は、生れて來ないぢやないか。いや、若しそんな無茶な歡樂に耽溺したとして見たまへ、所謂歡樂盡きて哀愁だ、ホールを出る時からスッカリ憂うつになつて、決して狂氣じみたはしやぎ方など出來るものではない、兎に角まあ君の命令を尊重して、月給袋を見せることにする、さ、檢査してくれたまへ、果して幾何がダンスホールのチケットとなつて消え去つたか」

鱚井君は嚇かムッとなつて上衣の內ポケットから月給袋を取り出した。妻君もソロ〳〵神經の亢奮が鎮まりかけてゐるので、多少きまり惡げに、それでもまだスッカリ不安が拭ひ去られたわけではないから、或る程度の權利の自覺もさに、月給袋を極めて見て、

「あら！」

「十圓殘つてゐるかい、二十圓殘つてゐるかい」

「ちやんと八十圓あるわ」

「ちやんと八十圓あることが、君には、あら！といふ驚歎に値する現象なのかい」

「だつて……」

「まあいゝ、それでダンスホール行きの冤罪だけは晴れたわけだ。そしてそれだけ君の神經の亢奮は鎮靜出來たわけだ」

「あたし、どうしてあんなに氣を廻したんでせう！全く自分でも分らないわ。あんた憤つて？勘忍してね！」

「いや別に憤りはしない。僕としてはまだもう一つ君の前に、あかしを立てなければならない事柄が殘つてゐる。それは四時間と二十分歸宅が遅れたことについてだ」

「もういゝわ。あたしが惡かつたわ」

「いや、君が惡いのでも何でもない。併し僕もう何だか張合がなくなつちまつた。君に話をすれば、どんなに朗かに笑ふだらう、どんなに腹部筋肉の運動になり、從つてどんなに胎兒によき刺戟を與へるだらうと、本當に樂しみにして歸つて來たんだけど……」

「ですから、あたしが惡かつたと謝つてるぢやありませんか、ね、あなた、憤つちやいや！」

そこで鱚井君が心を取直し、元氣を揮ひ起して、彼れの所謂愉快で〳〵たまらなかつた今日の出來事について語り出した。

【二】

話は今日の晝飯時、會社の喫煙室の雜談から始まる。鱚井君を中心に、氣の合つたのが五六人一團となつてゐた。

「れ、鱚井君、君は近頃一切銀ブラをやらなくなつたからいゝが、今日なんかポケットには月給袋が入つてるし、久しぶりだなどといふので、フラ〳〵となつて出掛けたりしない方がいゝぜ」

と誰が忠告ともからかいともつかない調子で言つた。

「なぜ、急にそんな事を言ひ出すんだい」

「いや、實はね、昨夜或所で聞いた話なんだが、三江物産の或る社員が銀ブラをやつてゐて、逆も漂いギャングにやられたんだ、丁度その日は月給日で、上衣の內ポケットが月給袋で膨らんでたから堪らないさ。そつくりそのまゝ持つて行かれちやつて……」

「なんて、だいゝ、だらしが無いんだらうなア」

鱚井君は思はず吐き出すやうに言つた。

「そりやだらしも無かつたらうけれど、併し君、薄暗い橫丁で、脇腹へブローニングの銃口を當てられて見たまへな、月給袋位眼をつぶつて持つて行かせる氣にならうぢやないか」

「だから、それがだらしがないといふんだ。大體ギャングだつて、無闇に人を射殺するのが目的ぢやないんだから、ブローニングを當てられたつて、必ずしも引金を引かれるものとはきまつてゐないんだ、だから、そこには何とか臨機の策があらうと思ふんだがね」

「これは君第三者の云ふことで、實際は誰だつて突嗟には、思案も策も浮ばないのが本當ぢやあるまいか。現にその被害なんかも、ギャングが行きかけに、甚だお粗末だがこれを進呈すると云つて太い葉卷を一本異れたさうだ、ギャングが葉卷を異れた、どうも變だなと思つて、心が鎭まつてからよく〳〵考へると、どうも最初脇腹へ押し當てられたブローニングの銃口といふのが、その太い葉卷のやうな恰好をしてゐたといふんだ」

「チエッ、葉卷がブローニングに見えるんぢや世話はないや」

話はそれから米國のギャングの物凄いことなどに移つたが、兎に角帝都の眞中で、月給日の會社員の月給袋がギャングに狙はれるなんどは、模範的警察制度を有する日本帝國の恥辱である、それといふのも、要するに各人に度胸がなく、勇氣がなく、平素の心構へが出來てゐないからである。

「ひとつ吾一同でギャング退治をやらうではないか」と鱚井君が發議した。

「ギャング退治？」

一同眼を圓くした。

「それ、それだからギャングが跋扈跳梁するんだ、僕に名案があるから、今晩早速實行しよう」

と鱚井君は、その名案なるものを詳しく說明した。

「成るほど、それなら吾々自身には何等の危險がなく、うまくギャング退治が出來さうだ」

相談が一決したので、會社が引けると、鱚井君は一同を喫煙室に待たせておいて、何れかへ姿を消した。凡そ二時間ばかりして、彼れはバスケットに何物かを入れて歸つて來た。

「さ諸君、さつき說明した通り用意してくれたまへ。本當の月給は別な封筒に入れて、ワイシャツの內側へ、サル又の邊へ落ちないやうに仕舞ひ込んでおくんだよ」

そして月給袋には、適當な古新聞紙を切つて入れ、それを上衣の內ポケットへ仕舞ひ込み、何は鱚井君がバスケットから取出したものを、各自其の上から押込んでボタンを掛けた。

「何だか變にムヅ〳〵するね。ポケットが破れやしないかな」

「大丈夫だよ。餘り其處を氣にしない方がいゝぜ」

一同は勇んで銀ブラに出掛けた。其所等で簡單に空腹だけを滿たして、別れ〳〵になつてショウ・ウインドなどを覗きながら歩いた。

鱚井君が不圖背後を見ると、確にギャングらしいのが、鳥打帽を變な風にかぶつて、つかず離れずといふ態度でやつて來る。

「は、ア、お出でなすつたな、よし、こゝらで薄暗い橫町へ切れてやらう」

と何喰はぬ顔をして橫町へ曲り、太い電柱の蔭で、立小便でもしさうな樣子をすると、ツカ〳〵とやつて來た鳥打帽、いきなり鱚井君の橫ッ腹へピストルを突きつけた

「聲を立てると、引金を引くぞ」

鱚井君はピストルをまじ〳〵と見た。どうも玩具のピストルらしい。

「手を上げろッ」

「ホールダップかね」

「分つてるぢやねえか、月給袋を貰つてやるんだ」

「貰つて誰にやるんですか」

「俺が貰つてやるんだ」

「上衣の內ポケットに這入つてます。だけどそれを持つてかれると僕困るんだがなア」

「何言つてやがるんでえ」

ギャングは左手で鱚井君の上衣の內ポケットのボタンを外し、グッと指先を突込んだが、ゴチヤゴチヤ色々な物が入つてゐるので、ゴソ〳〵やつてゐた。

「あッ、痛ッ、たッ、、、」

悲鳴を上げて引出したギャングの指先には、月給袋の代りに、大きな鋏を持つた紅蟹がブラ下つてゐた。手を振りながらギャングは逃げて行く。振れば振るほど強く鋏むのが蟹の習性である。忽ち彌次馬が追つかけて、ギャングは袋叩き。

「悲鳴を聞いた時の愉快さつたら僕はこれを君に話して、共に愉快を分たうと思つて、大急ぎで歸つて來たんぢやないか」

「まあ！」

……をはり……

一年前の回顧

學良の手先を發見　（三月四日）

滿洲國攪亂の重大使命を持つた張學良の手先は今迄も度々滿洲に忍び込んで來たが、また〳〵嚴重な警戒を怠らない玄關口大連で、四日午後十時頃、奧町派出所員細野巡査が支那宿の臨檢を行つたところ擧動の怪しい支那人四名が投宿してゐることが分つたので嚴重に取調べた結果、學良から或る重大な使命を背負はされて來たものであることを自白しました。

凍傷の我勇士凱旋　（同五日）

熱河討伐中凌源攻擊に參加中、不幸凍傷に罹つた四十名の勇士は五日午前九時十分の列車で旅順着、衞戍病院に收容されました。又北滿熱河方面の戰ひで名譽の戰傷を負つたり不幸從軍中病氣に冒されたもの百六十名は八時四十分着の列車で大連につきました。旅順大連とも官民、學生、婦人團等の感激の出迎へがありました。

罹災者に御下賜金　（同六日）

三陸地方の大震災に對し秩父、高松兩宮殿下を始め奉り各皇族殿下におかせられては痛く御同情遊ばされ、一道三縣の罹災者に御救恤並に御慰問の思召で金一封を御下賜遊ばさるゝことになりました。

學良軍用車積込船　（同七日）

張學良の軍用トラック百臺はフォード會社神奈川工場でつくりましたが、之を積み込んだ問題の大同海運チャーター春丸が七日早朝大連に入港しましたが日本船員達は敵軍學良の御用を知らずにつとめさせられたといきり立ち、中島火夫長は下級船員を代表し「我々はさうと解つたら斷然日本海員としての態度を決定する」と同船で火のやうな熱辯を揮ひました。

要害古北口陷る　（同八日）

長瀨先遣部隊は灤平を發してから強行軍を續け猛進又猛進、飛行機の掩護の下に敵を急追し乍ら一路古北口めがけて殺到し、八日の早朝から空陸協同して敵に猛擊を加へ、遂に二無二突進したので、午後二時七分遂に熱河から北平までの咽喉にあたり長城の最要關である古北口を占領しました。

米緊急金融案上程　（同九日）

米國に起つた未曾有の金融恐慌は世界の經濟界に大きな波紋を描き、米國の銀行は大部分休業の狀態に置かれてゐましたが、米國では此の事態を決定する爲め第七十三回特別議會を開催しました。それによつて大統領から提出された緊急金融對策は卽日議會を通過し十日から各銀行が一齊開業することになりました。

アメリカの大地震　（同十日）

アメリカのカリフォルニアの南方に午後五時五十分と同六時六分同六時十分の三回に亘り激震がありました。地震は火災を伴ひ被害は非常にひどいものでした。火災や下敷となつて死んだものは二百名餘、負傷者は千五百名餘もあり、市內の電燈は全部消滅し、下町方面の建物と云ふ建物は全く崩壞してしまひました。

窓に罪ありでさア　佐方幸ゑがく

ボクンチノパパ　矢崎茂四

戊年ゆえに　鈴木そのえ

今週ノオ献立　中山利子

	朝	晝	晩
日	トースト、ハムエッグ、紅茶、果物	五目すし、かまぼこと新菊の清汁	蛤の汐汁、まぐろ刺身、木の芽田樂
月	豆腐味噌汁、燒海苔	ソーセーヂ、らつ京	魚のフライ、ロールキャベツ、もやし胡麻酢
火	若布味噌汁、金山寺	牛肉味噌漬、大根なます	鯛の吸物、うど、くわい、八つ頭、いかのうま煮、ほうれんそうしたし
水	大根味噌汁、鮒甘露煮	燒豆腐と蓮の煮つけ	かきのスープ、パン、コーンビーフ、野菜サラダ
木	卵の花汁、煮豆	鯖すし、とろゝ昆布清汁	すき燒、赤貝三杯酢
金	しゞみ味噌汁、鹽昆布	燒豚、刻みキャベツ	比目魚さしみ、筍と鶏のそぼろ汁、かきの土手燒
土	サツマ汁、小蕪あちやら	・ホットケーキ、牛乳、果物	よせ鍋、いかの木の芽和へ